

富谷市第2期障がい者計画（中間評価）・
第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉
計画策定に向けた実態把握調査結果報告書

令和8年3月

富 谷 市

目次

I 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査対象.....	1
3 調査期間.....	1
4 調査方法.....	1
5 回収状況.....	1
6 調査結果の表示方法.....	1
II 調査結果.....	2
あなた（あて名の方）のことについて.....	3
相談先や支援体制について.....	23
生活の状況について.....	27
仕事や日中の過ごし方について.....	35
福祉サービス等の利用について.....	58
権利擁護について.....	75
災害時の避難等について.....	82
暮らしやすくなるために.....	87

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、富谷市第2期障がい者計画の中間評価、富谷市第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画策定に向けた基礎資料作成のため、福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向等を把握することを目的としています。

2 調査対象

市内在住の身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者(65歳未満) ※全数

3 調査期間

令和7年12月16日～令和8年1月9日

4 調査方法

郵送による発送・回収

5 回収状況

配布数	回収数	回収率
963件	425件	44.1%

※障がい種別回答率内訳(回答人数/対象者数)

身体障がい者：51.9% (182人/351人)

知的障がい者：50.2% (138人/275人)

精神障がい者：40.9% (138人/337人)

6 調査結果の表示方法

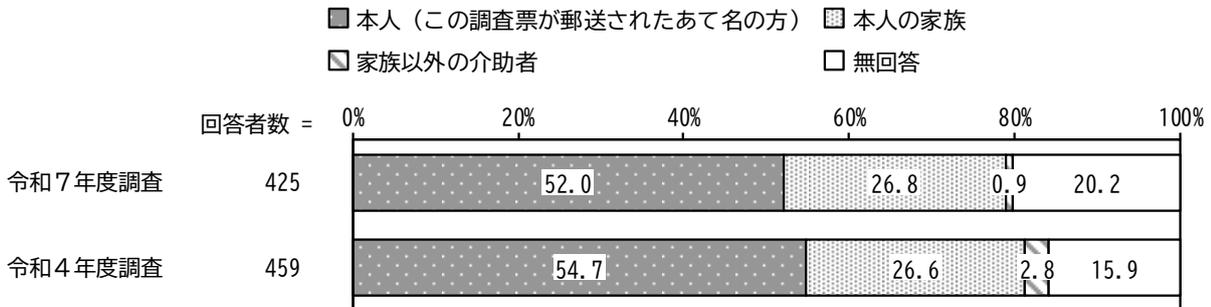
- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

Ⅱ 調査結果

問1 お答えいただくのは、どなたですか。(○は1つだけ)

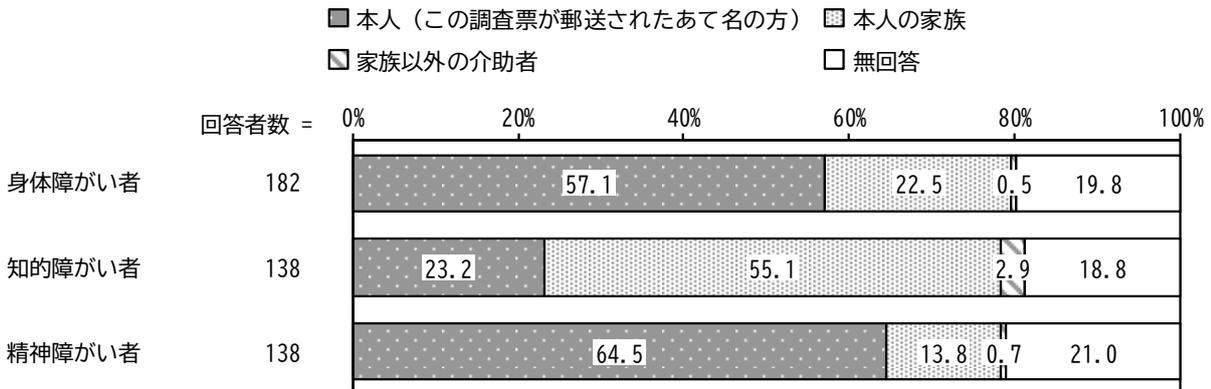
「本人（この調査票が郵送されたあて名の方）」の割合が 52.0%、「本人の家族」の割合が 26.8%、「家族以外の介助者」の割合が 0.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【障がい種別】

障がい種別にみると、精神障がい者で「本人（この調査票が郵送されたあて名の方）」、知的障がい者で「本人の家族」の割合が高くなっています。



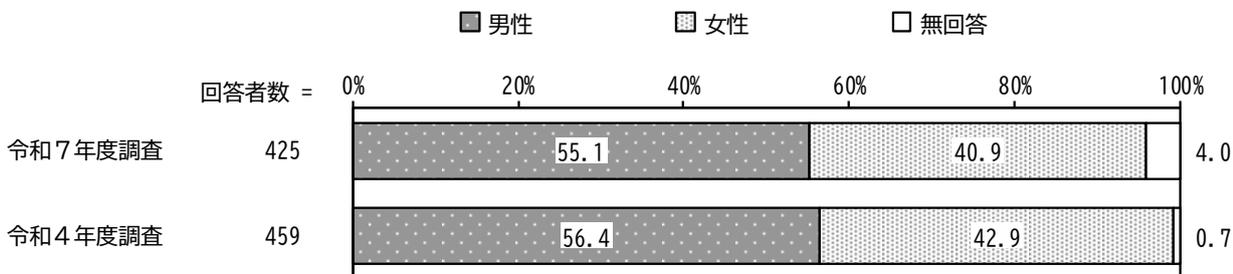
あなた（あて名の方）の ことについて

問2 あなたの性別、年齢についてお伺いします。

(1) 性別（○は1つだけ）※戸籍上の性別をお答えください。

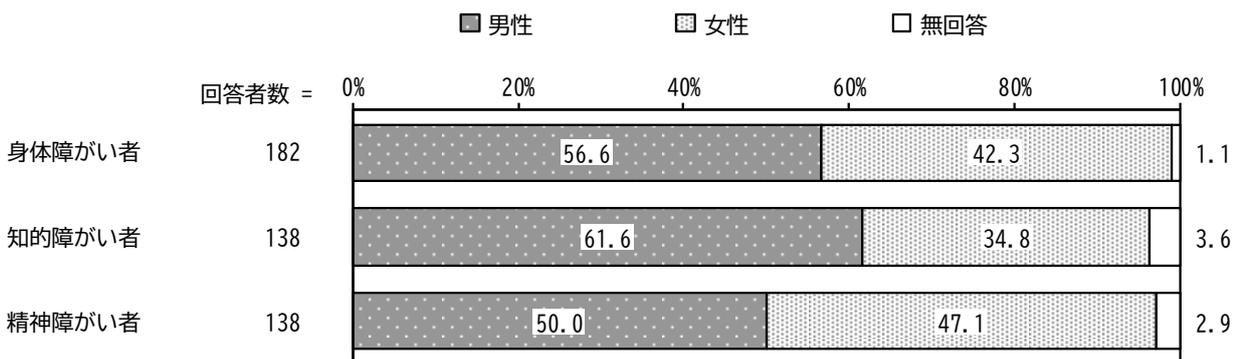
「男性」の割合が 55.1%、「女性」の割合が 40.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【障がい種別】

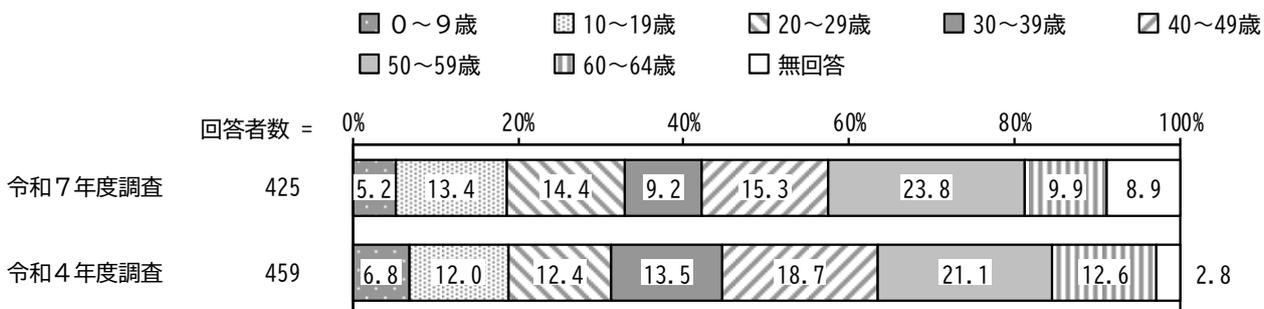
障がい種別にみると、知的障がい者で「男性」、精神障がい者で「女性」の割合が高くなっています。



(2) 年齢（数字を記入）※令和7年12月1日現在

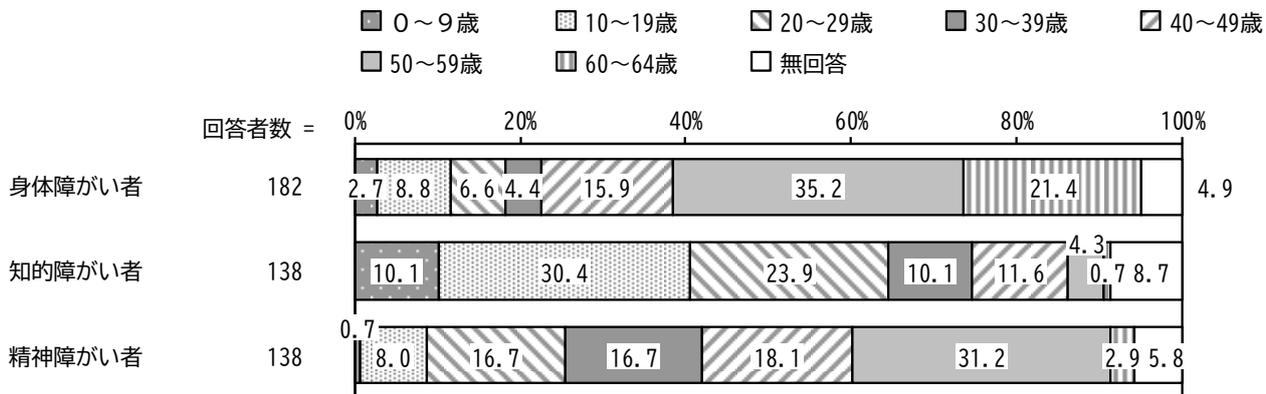
「50～59歳」の割合が 23.8%と最も高く、次いで「40～49歳」の割合が 15.3%、「20～29歳」の割合が 14.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【障がい種別】

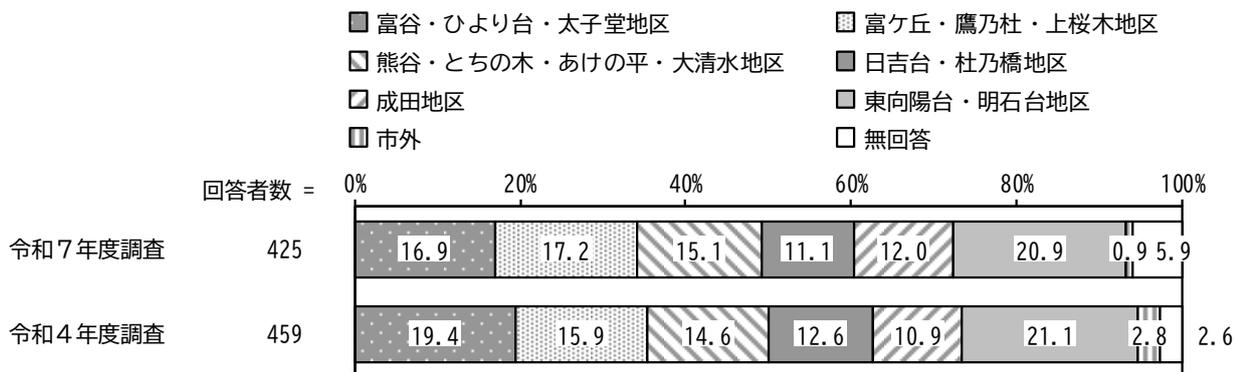
障がい種別にみると、知的障がい者で「10～19歳」、身体障がい者で「50～59歳」「60～64歳」の割合が高くなっています。



問3 現在のお住まいはどの地区ですか。(○は1つだけ)

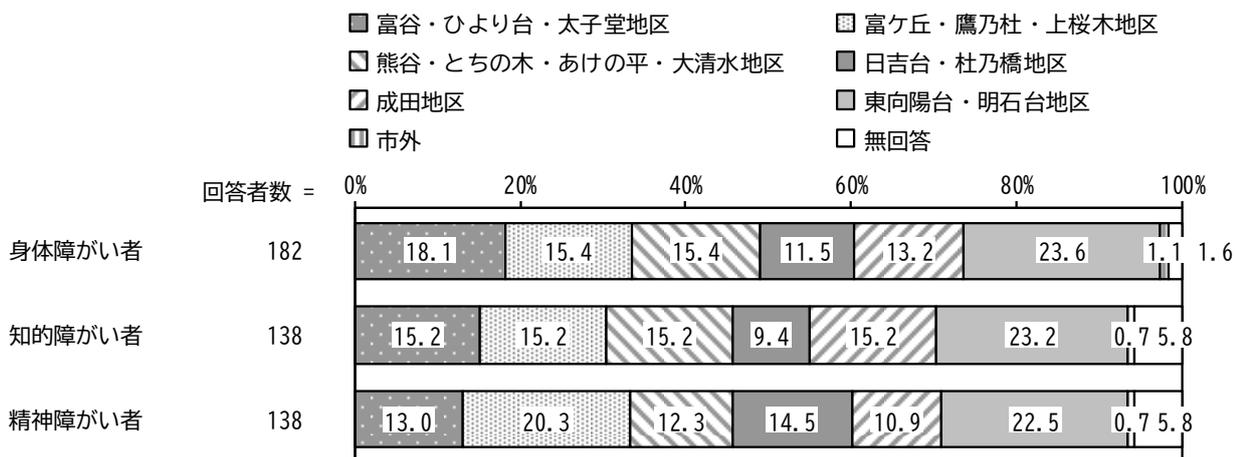
「東向陽台・明石台地区」の割合が20.9%と最も高く、次いで「富ヶ丘・鷹乃杜・上桜木地区」の割合が17.2%、「富谷・ひより台・太子堂地区」の割合が16.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【障がい種別】

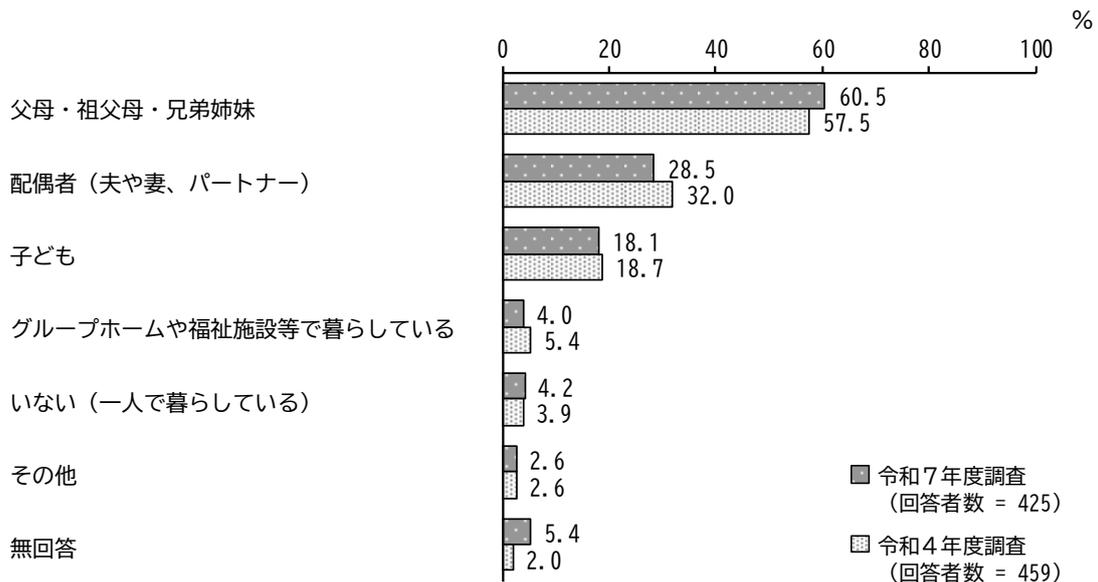
障がい種別にみると、大きな差はみられません。



問4 あなたと一緒に暮らしている人は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

「父母・祖父母・兄弟姉妹」の割合が60.5%と最も高く、次いで「配偶者（夫や妻、パートナー）」の割合が28.5%、「子ども」の割合が18.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【障がい種別】

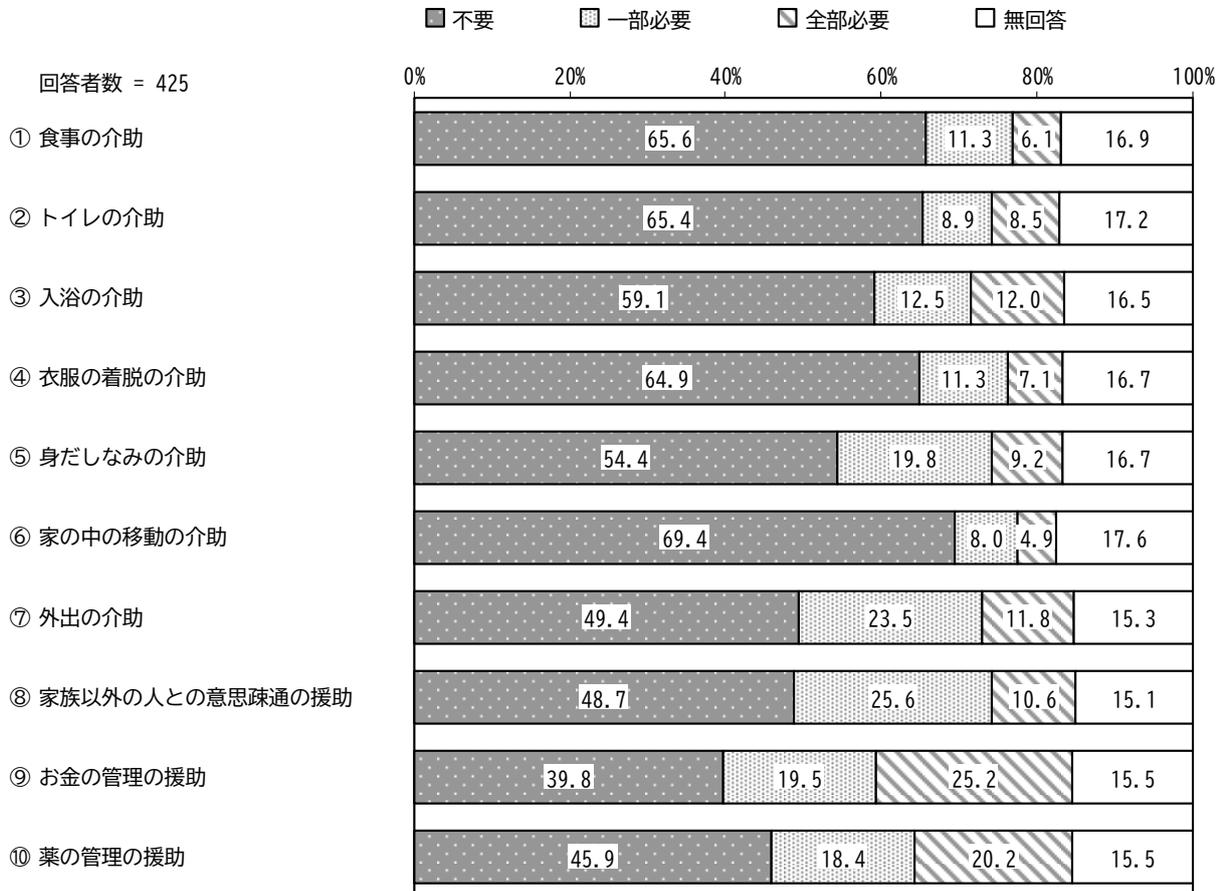
障がい種別にみると、知的障がい者で「父母・祖父母・兄弟姉妹」、身体障がい者で「配偶者（夫や妻、パートナー）」「子ども」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	父母・祖父母・兄弟姉妹	配偶者（夫や妻、パートナー）	子ども	グループホームや福祉施設等で暮らしている	いない（一人で暮らしている）	その他	無回答
全体	425	60.5	28.5	18.1	4.0	4.2	2.6	5.4
身体障がい者	182	42.9	46.2	30.2	4.4	5.5	3.3	2.7
知的障がい者	138	86.2	5.1	2.2	5.8	1.4	2.9	5.1
精神障がい者	138	64.5	25.4	16.7	3.6	4.3	0.7	6.5

問5 日常生活の中で、次の支援が必要です。①から⑩のそれぞれにお答えください。(①～⑩それぞれに○を1つ)

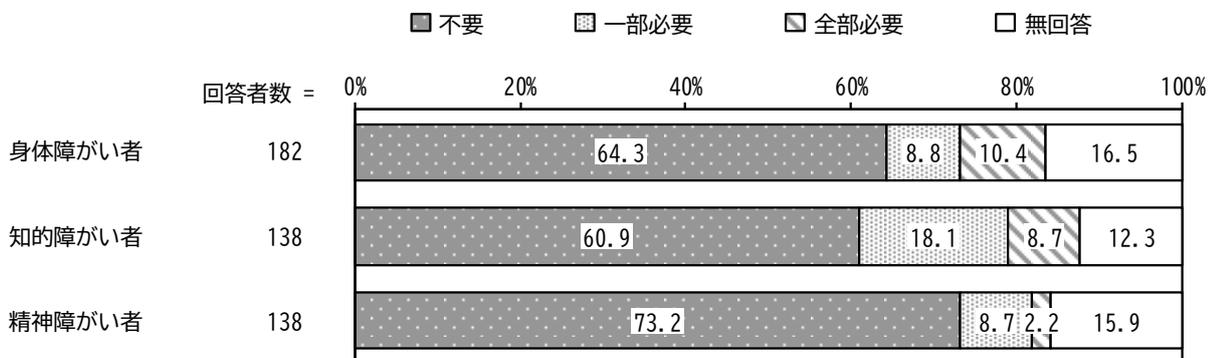
『⑥家の中の移動の介助』で「不要」が、『⑧家族以外の人との意思疎通の援助』で「一部必要」が、『⑨お金の管理の援助』で「全部必要」が高くなっています。



①食事の介助

【障がい種別】

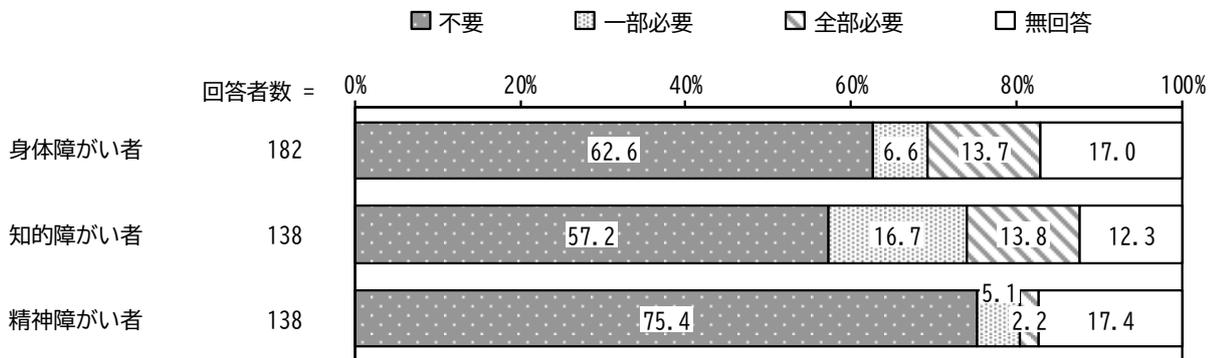
障がい種別にみると、精神障がい者で「不要」、知的障がい者で「一部必要」の割合が高くなっています。



②トイレの介助

【障がい種別】

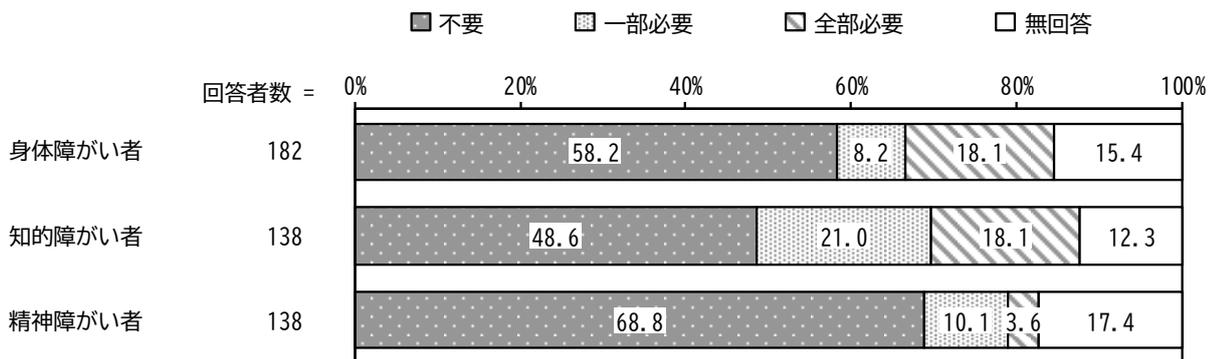
障がい種別にみると、精神障がい者で「不要」、知的障がい者で「一部必要」、身体障がい者、知的障がい者で「全部必要」の割合が高くなっています。



③入浴の介助

【障がい種別】

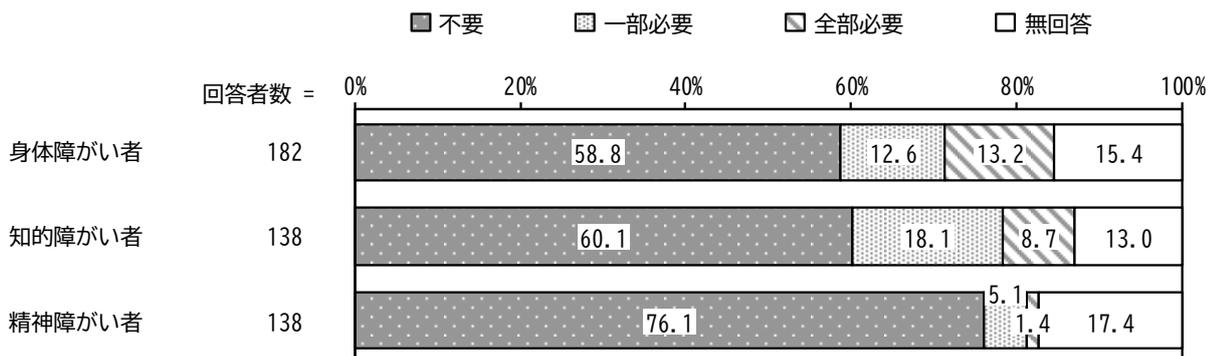
障がい種別にみると、精神障がい者で「不要」、知的障がい者で「一部必要」、身体障がい者、知的障がい者で「全部必要」の割合が高くなっています。



④衣服の着脱の介助

【障がい種別】

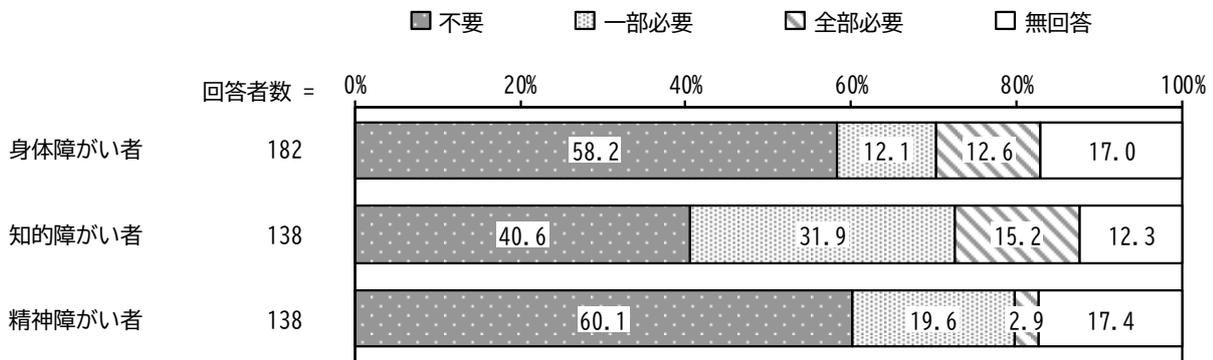
障がい種別にみると、精神障がい者で「不要」、知的障がい者で「一部必要」、身体障がい者で「全部必要」の割合が高くなっています。



⑤身だしなみの介助

【障がい種別】

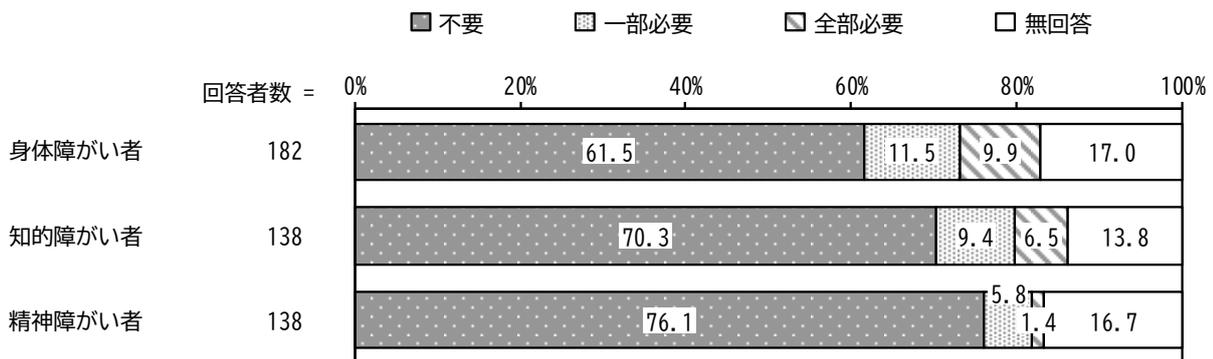
障がい種別にみると、知的障がい者で「一部必要」の割合が高く、「不要」の割合が低くなっています。



⑥家の中の移動の介助

【障がい種別】

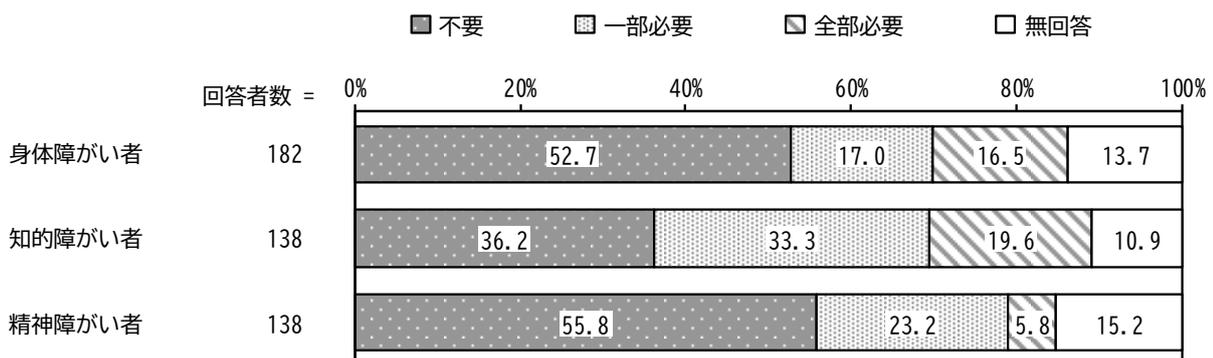
障がい種別にみると、精神障がい者で「不要」、身体障がい者で「全部必要」の割合が高くなっています。



⑦外出の介助

【障がい種別】

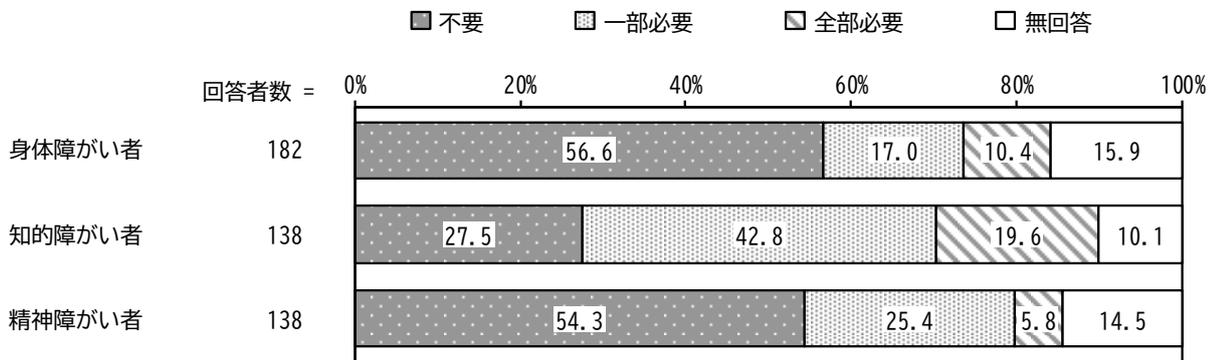
障がい種別にみると、精神障がい者で「不要」、知的障がい者で「一部必要」「全部必要」の割合が高くなっています。



⑧家族以外の人との意思疎通の援助

【障がい種別】

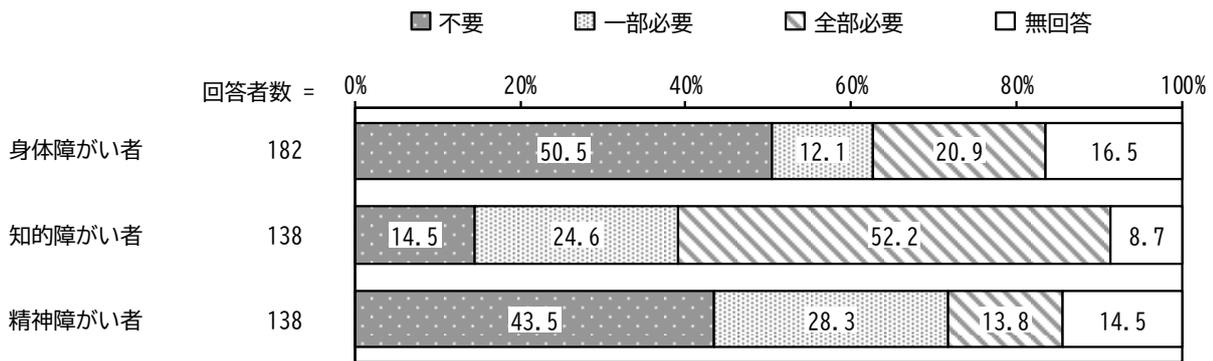
障がい種別にみると、知的障がい者で「一部必要」の割合が高く、「不要」の割合が低くなっています。



⑨お金の管理の援助

【障がい種別】

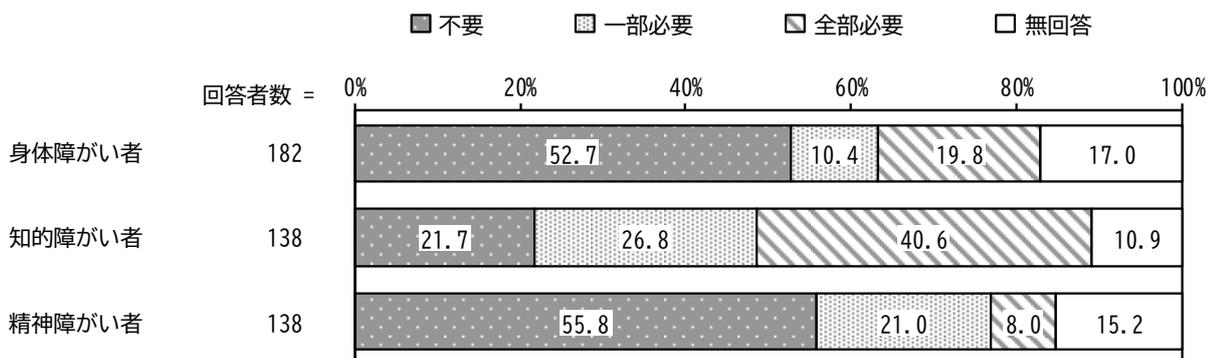
障がい種別にみると、身体障がい者で「不要」、知的障がい者で「全部必要」の割合が高くなっています。



⑩薬の管理の援助

【障がい種別】

障がい種別にみると、知的障がい者で「全部必要」の割合が高く、「不要」の割合が低くなっています。

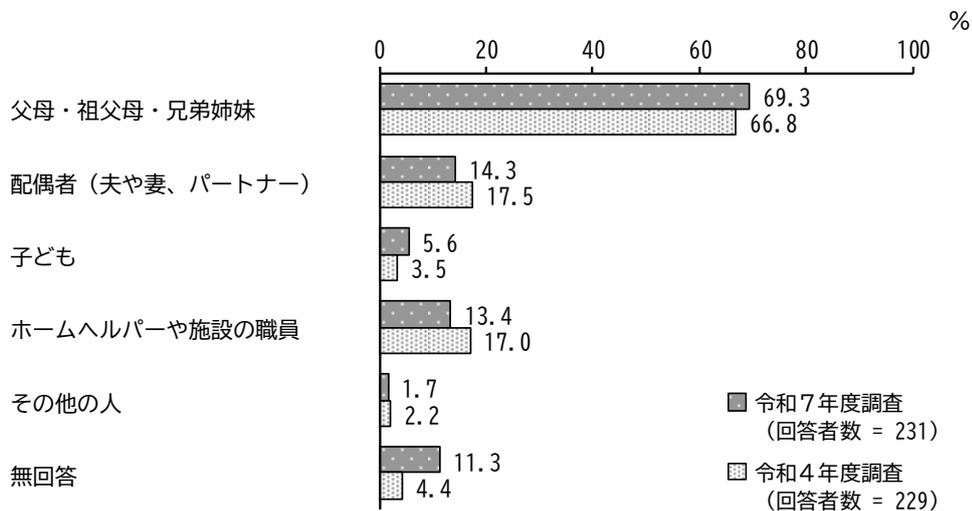


問5①～⑩のいずれかで「一部必要」または「全部必要」を選択した方にお伺いします。

問6 あなたを支援してくれる方は主にどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

「父母・祖父母・兄弟姉妹」の割合が69.3%と最も高く、次いで「配偶者（夫や妻、パートナー）」の割合が14.3%、「ホームヘルパーや施設の職員」の割合が13.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【障がい種別】

障がい種別にみると、知的障がい者で「父母・祖父母・兄弟姉妹」、身体障がい者で「配偶者（夫や妻、パートナー）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	父母・祖父母・兄弟姉妹	配偶者（夫や妻、パートナー）	子ども	ホームヘルパーや施設の職員	その他の人	無回答
全体	231	69.3	14.3	5.6	13.4	1.7	11.3
身体障がい者	81	53.1	25.9	14.8	19.8	2.5	11.1
知的障がい者	107	88.8	1.9	0.0	15.9	2.8	5.6
精神障がい者	73	68.5	23.3	2.7	11.0	1.4	5.5

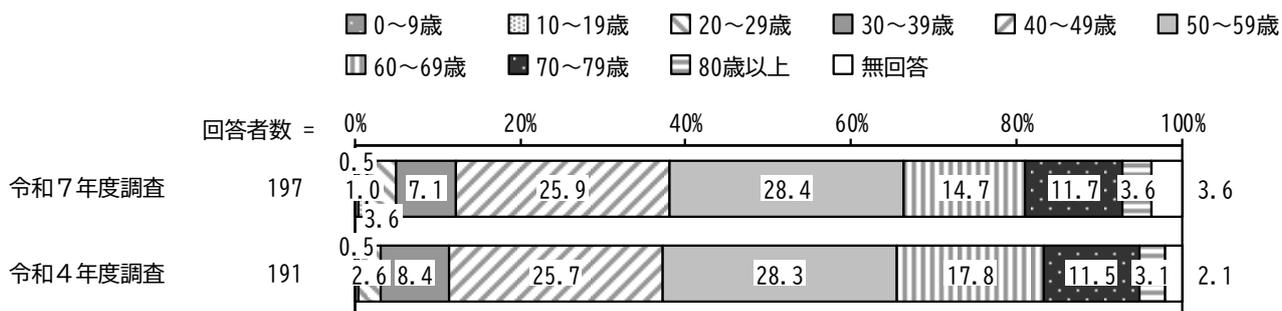
問6で「父母・祖父母・兄弟姉妹」、「配偶者（夫や妻、パートナー）」、「子ども」を選択した方にお伺いします。

問7 あなたを支援してくれる家族で、主な方お一人の年齢、性別、健康状態をお答えください。

①年齢（令和7年12月1日現在）（数字を記入）

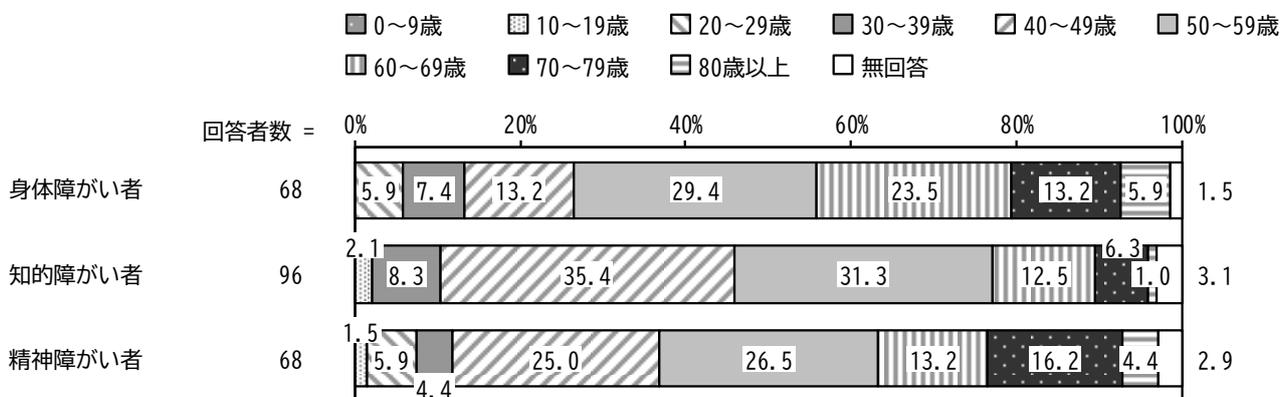
「50～59歳」の割合が28.4%と最も高く、次いで「40～49歳」の割合が25.9%、「60～69歳」の割合が14.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【障がい種別】

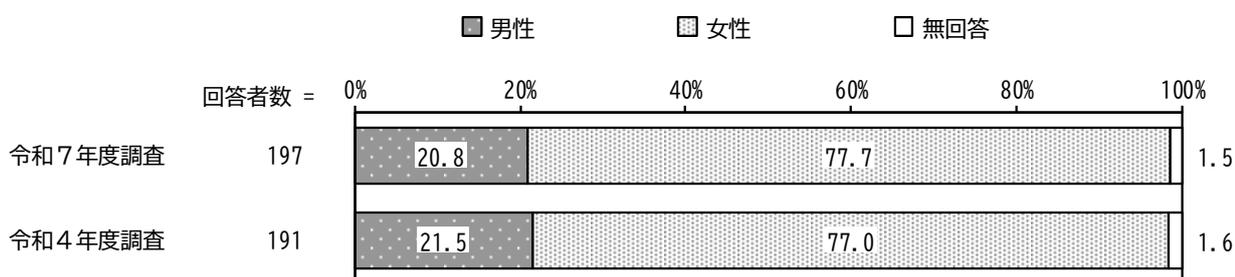
障がい種別に見ると、知的障がい者で「40～49歳」、身体障がい者で「60～69歳」の割合が高く、知的障がい者で「70～79歳」の割合が低くなっています。



②性別（○は1つだけ）（戸籍上の性別をお答えください。）

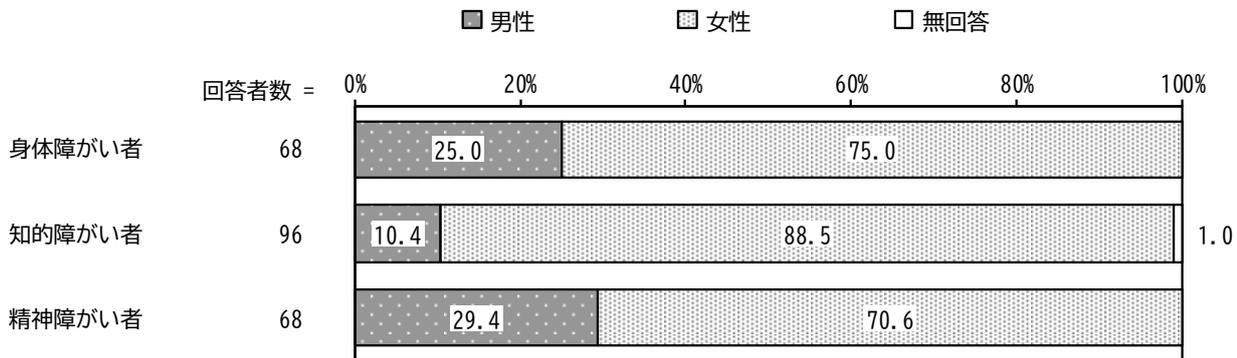
「男性」の割合が20.8%、「女性」の割合が77.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



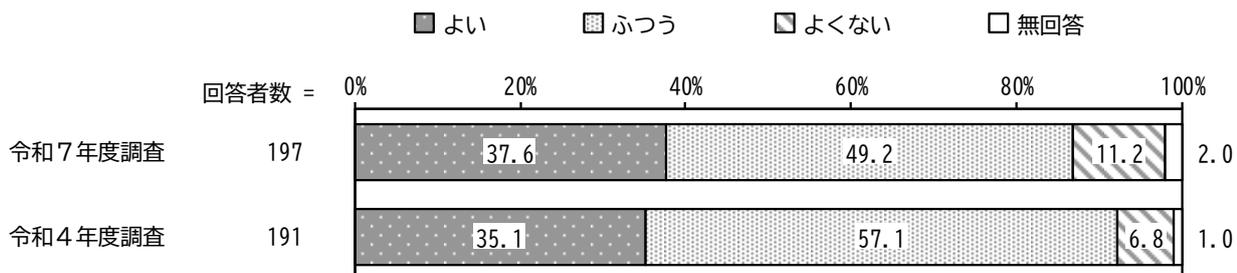
【障がい種別】

障がい種別にみると、知的障がい者で「女性」の割合が高くなっています。



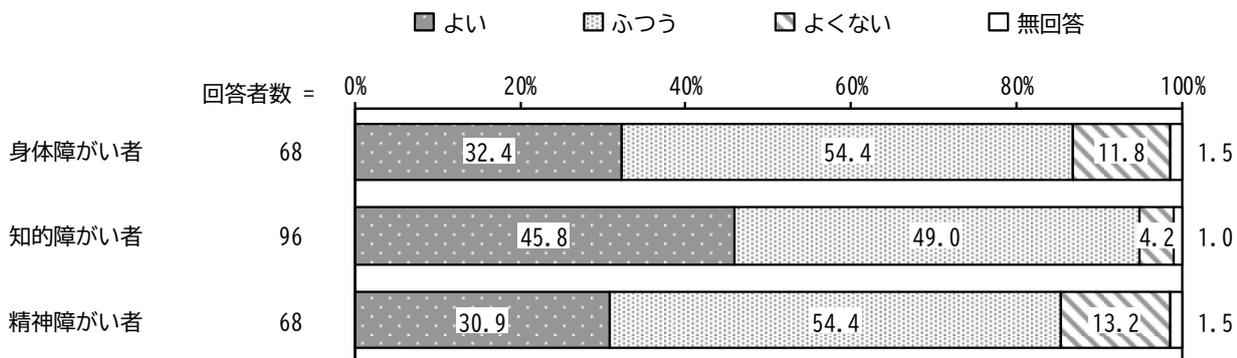
③健康状態（○は1つだけ）

「よい」の割合が37.6%、「ふつう」の割合が49.2%、「よくない」の割合が11.2%となっています。令和4年度調査と比較すると、「ふつう」の割合が減少しています。



【障がい種別】

障がい種別にみると、知的障がい者で「よい」、身体障がい者、精神障がい者で「ふつう」の割合が高くなっています。

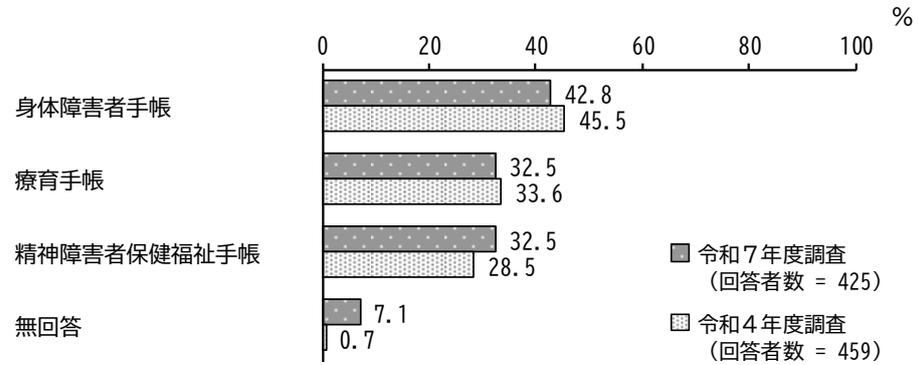


問8 お持ちの手帳などの種類と等級をお答えください。

手帳の種類（あてはまるものすべてに○）

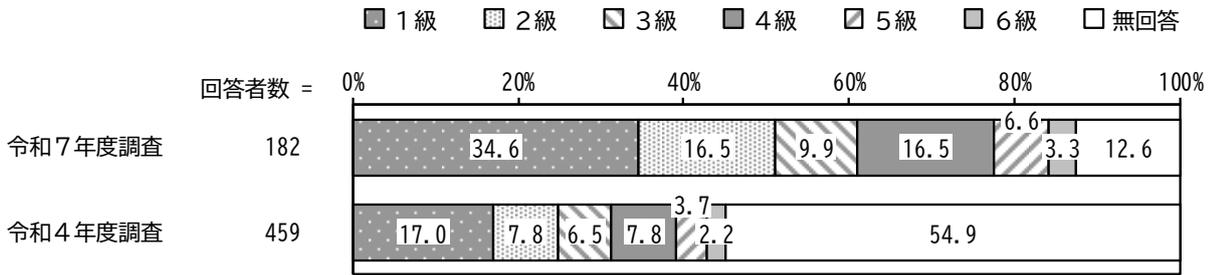
「身体障害者手帳」の割合が42.8%、「療育手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」の割合が32.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



身体障害者手帳の等級（○は1つだけつけてください）

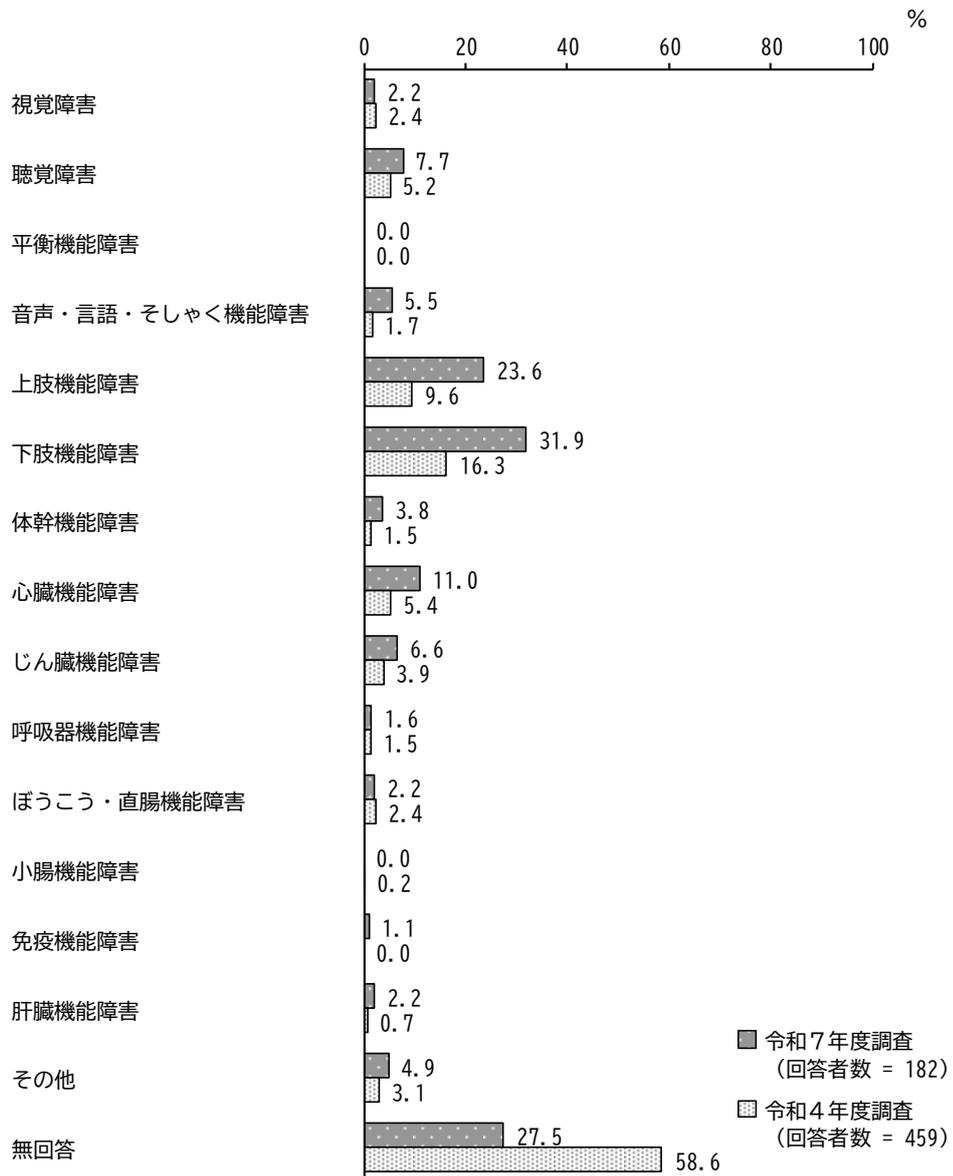
「1級」の割合が34.6%と最も高く、次いで「2級」、「4級」の割合が16.5%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、「1級」「2級」「4級」の割合が増加しています。



障がいの種類（あてはまる答えにすべて○をつけてください）

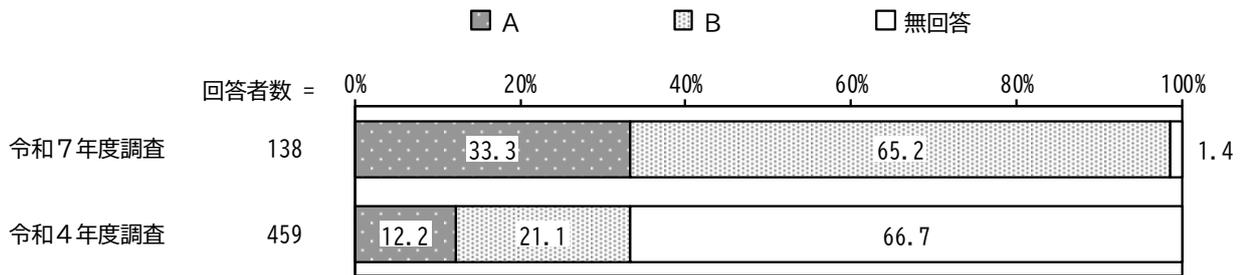
「下肢機能障害」の割合が31.9%と最も高く、次いで「上肢機能障害」の割合が23.6%、「心臓機能障害」の割合が11.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「上肢機能障害」「下肢機能障害」「心臓機能障害」の割合が増加しています。



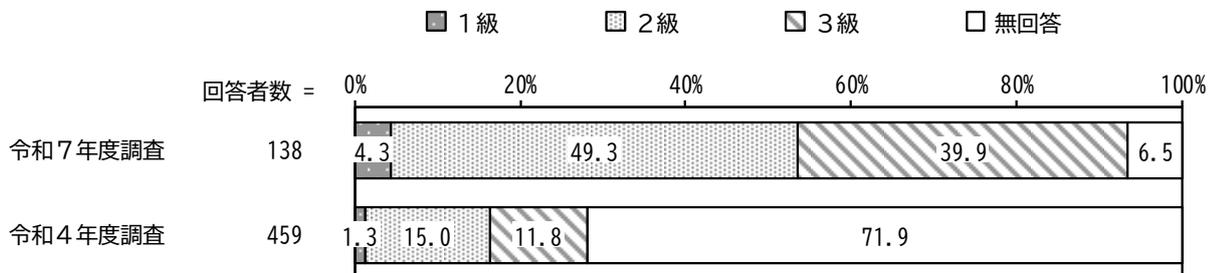
療育手帳の等級（〇は1つだけつけてください）

「A」の割合が33.3%、「B」の割合が65.2%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、「B」の割合が増加しています。



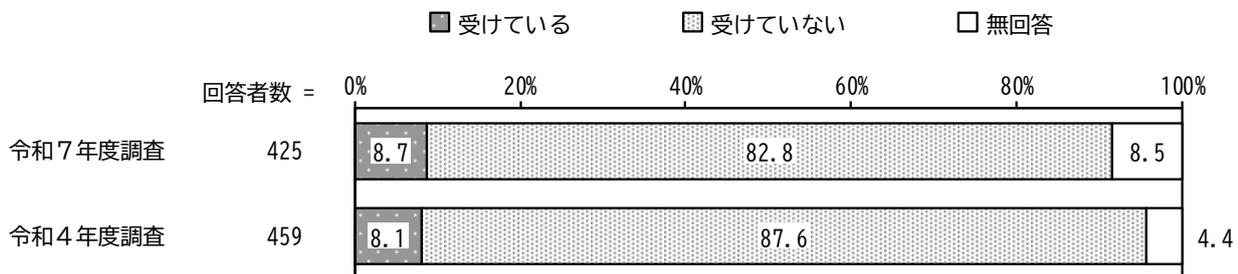
精神障害者保健福祉手帳の等級（〇は1つだけつけてください）

「1級」の割合が4.3%、「2級」の割合が49.3%、「3級」の割合が39.9%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、「2級」「3級」の割合が増加しています。



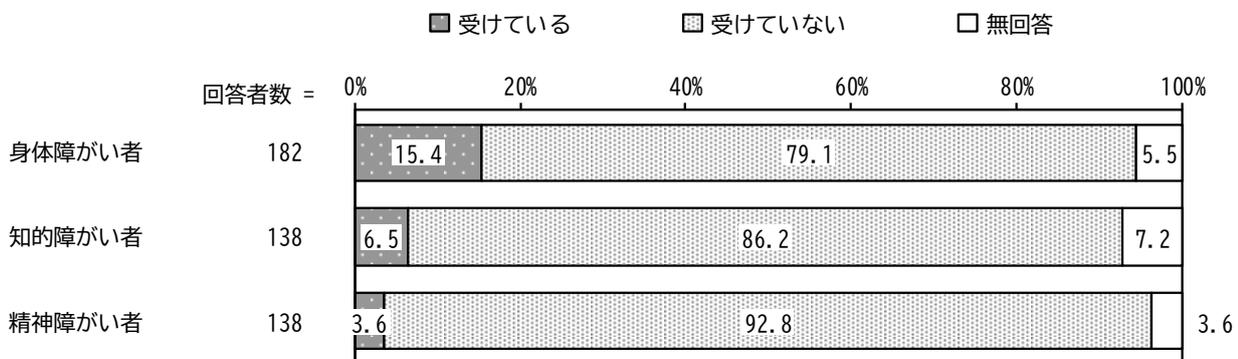
問9 あなたは難病（指定難病）の認定を受けていますか。（○は1つだけ）

「受けている」の割合が8.7%、「受けていない」の割合が82.8%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



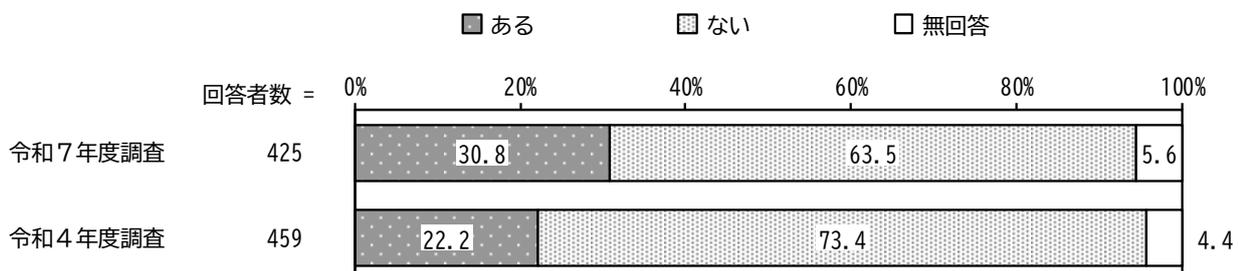
【障がい種別】

障がい種別にみると、精神障がい者で「受けていない」の割合が高くなっています。



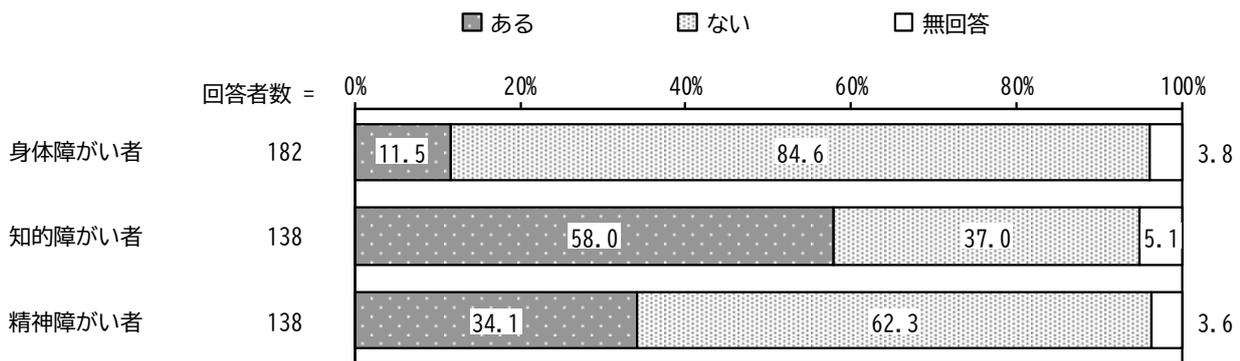
問10 あなたは発達障害として医師に診断されたことはありますか。（○は1つだけ）

「ある」の割合が30.8%、「ない」の割合が63.5%となっています。
令和4年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。



【障がい種別】

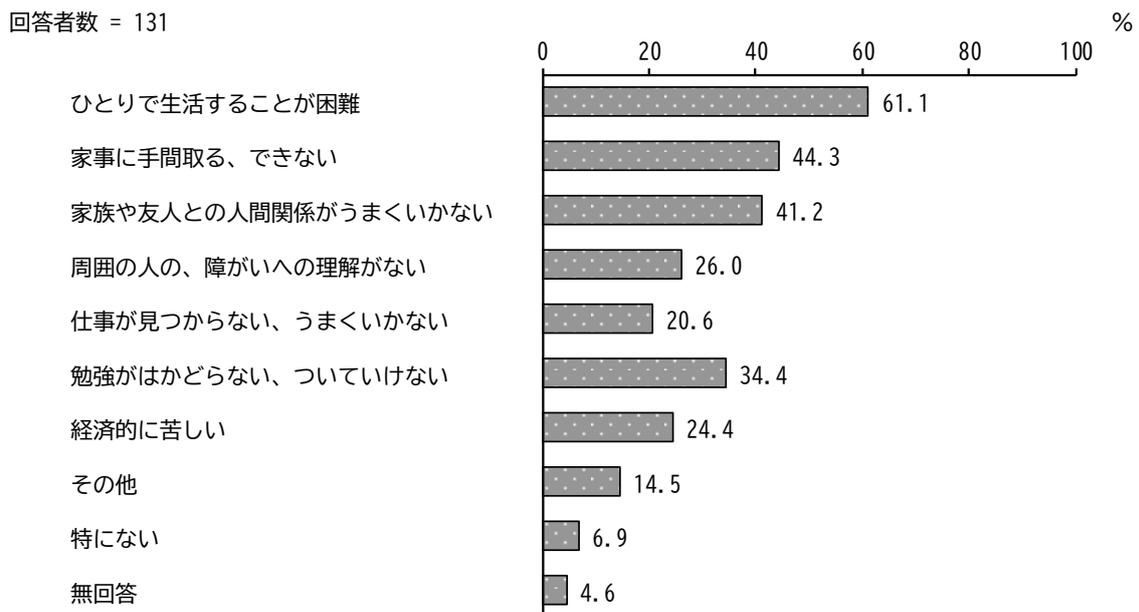
障がい種別にみると、知的障がい者で「ある」の割合が高くなっています。



問 10 で「ある」を選択した方にお伺いします。

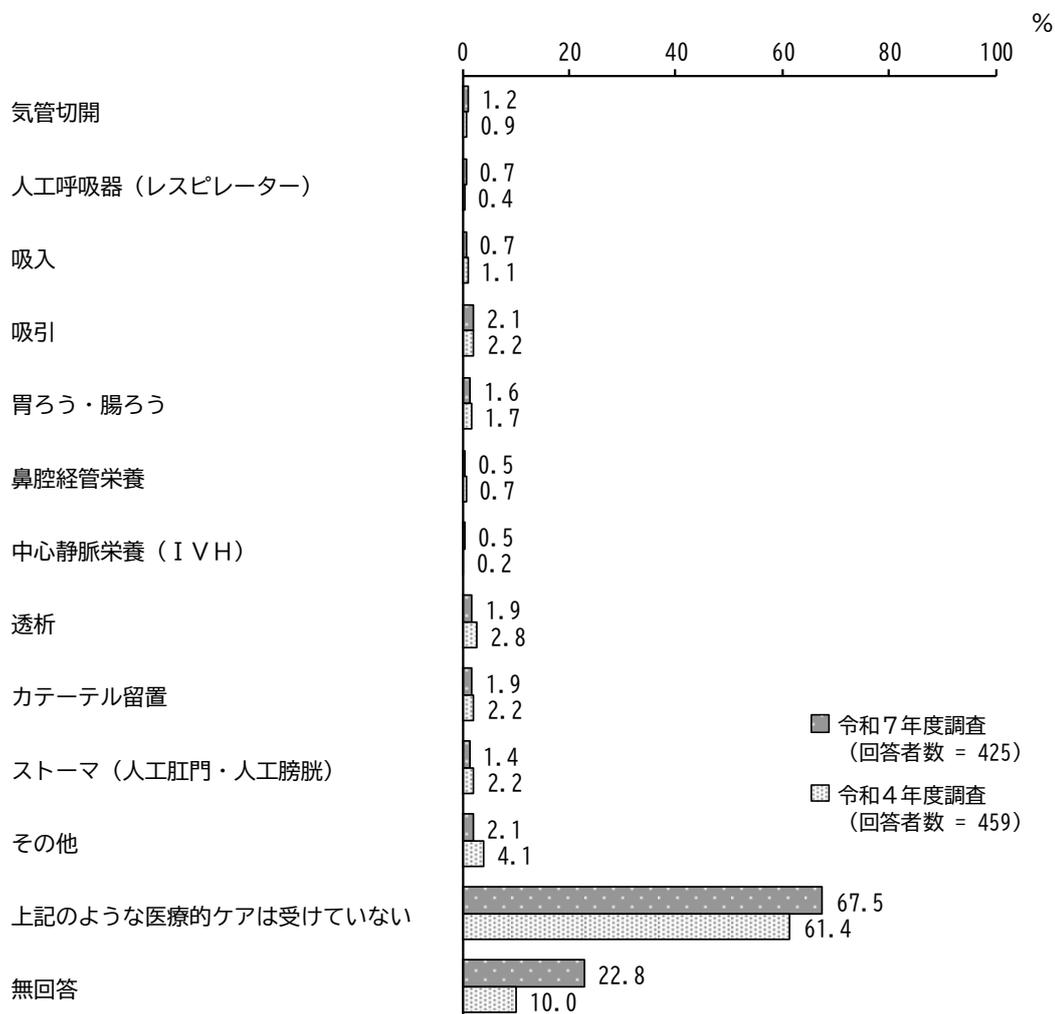
問 11 障害の特性があることで、日常生活の中で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「ひとりで生活することが困難」の割合が 61.1%と最も高く、次いで「家事に手間取る、できない」の割合が 44.3%、「家族や友人との人間関係がうまくいかない」の割合が 41.2%となっています。



問12 あなたは現在以下のような医療的ケアを受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

「吸引」の割合が2.1%と最も高くなっています。
 令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【障がい種別】

障がい種別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	気管切開	人工呼吸器 (レスピレーター)	吸入	吸引	胃ろう・腸ろう	鼻腔経管栄養	中心静脈栄養 (IVH)	透析	カテーテル留置	ストーマ (人工肛門・人工膀胱)	その他	上記のような医療的ケアは受けていない	無回答
全体	425	1.2	0.7	0.7	2.1	1.6	0.5	0.5	1.9	1.9	1.4	2.1	67.5	22.8
身体障がい者	182	2.7	1.6	0.5	4.9	3.3	0.5	1.1	4.4	3.3	3.3	3.8	66.5	14.8
知的障がい者	138	1.4	0.0	0.7	3.6	2.2	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0	2.2	67.4	24.6
精神障がい者	138	0.0	0.0	0.7	0.7	1.4	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	1.4	75.4	20.3

【災害時の困難事例別】

災害時の困難事例別にみると、補装具の使用が困難になるで「吸引」「胃ろう・腸ろう」「中心静脈栄養（IVH）」「カテーテル留置」、補装具や日常生活用具の入手ができなくなるで「ストーマ（人工肛門・人工膀胱）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	気管切開	人工呼吸器(レスピレーター)	吸入	吸引	胃ろう・腸ろう	鼻腔経管栄養	中心静脈栄養(IVH)	透析	カテーテル留置	ストーマ(人工肛門・人工膀胱)	その他	上記のような医療的ケアは受けていない	無回答
全体	425	1.2	0.7	0.7	2.1	1.6	0.5	0.5	1.9	1.9	1.4	2.1	67.5	22.8
投薬や治療が受けられない	148	1.4	0.7	0.7	3.4	1.4	0.0	1.4	5.4	2.7	2.0	3.4	68.2	16.2
補装具の使用が困難になる	23	4.3	4.3	0.0	13.0	8.7	0.0	8.7	4.3	13.0	4.3	13.0	47.8	13.0
補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	34	0.0	0.0	0.0	5.9	2.9	0.0	2.9	2.9	5.9	14.7	5.9	52.9	17.6
救助を求めることができない	71	1.4	0.0	2.8	5.6	1.4	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	4.2	66.2	19.7
安全なところまで、迅速に避難することができない	129	1.6	0.0	1.6	3.9	2.3	0.8	0.0	1.6	3.9	0.0	3.9	65.1	22.5
被害状況、避難場所などの情報が入手できない	78	1.3	0.0	0.0	5.1	1.3	1.3	0.0	0.0	2.6	0.0	3.8	74.4	16.7
周囲とコミュニケーションがとれない	115	0.9	0.0	1.7	3.5	1.7	0.0	0.0	0.9	1.7	0.0	3.5	67.0	22.6
避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安	148	0.7	0.7	0.0	3.4	1.4	0.7	0.7	1.4	4.7	2.0	4.1	70.3	17.6
避難所では生活ができない	127	3.9	2.4	1.6	7.1	4.7	0.8	1.6	3.9	3.9	1.6	5.5	59.8	18.9
その他	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	28.6
特になし	68	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	1.5	77.9	19.1

【避難所で生活できない理由別】

避難所で生活できない理由別にみると、自宅のベッドから動けないからで「気管切開」「人工呼吸器（レスピレーター）」「吸引」「胃ろう・腸ろう」、避難所がバリアフリーになっていないからで「カテーテル留置」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	気管切開	人工呼吸器 (レスピ レーター)	吸入	吸引	胃 ろう・ 腸ろう	鼻 腔 経 管 栄 養
全 体	127	3.9	2.4	1.6	7.1	4.7	0.8
自宅のベッドから動けないから	11	36.4	18.2	0.0	27.3	18.2	0.0
生命維持のための医療機器が必要だから	8	62.5	25.0	0.0	37.5	25.0	0.0
間仕切りや個室の部屋がないから	55	3.6	0.0	3.6	7.3	3.6	1.8
トイレが使いにくいから	48	2.1	2.1	0.0	8.3	4.2	0.0
避難所がバリアフリーになっていないから	18	11.1	0.0	5.6	16.7	5.6	5.6
障がいに対する周囲の理解がないから	56	0.0	0.0	1.8	3.6	0.0	0.0
避難所には障がい者を理解している支援者がいないから	43	0.0	0.0	0.0	4.7	2.3	0.0
人に迷惑をかけてしまうことが心配だから	73	1.4	0.0	0.0	4.1	2.7	0.0
その他	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

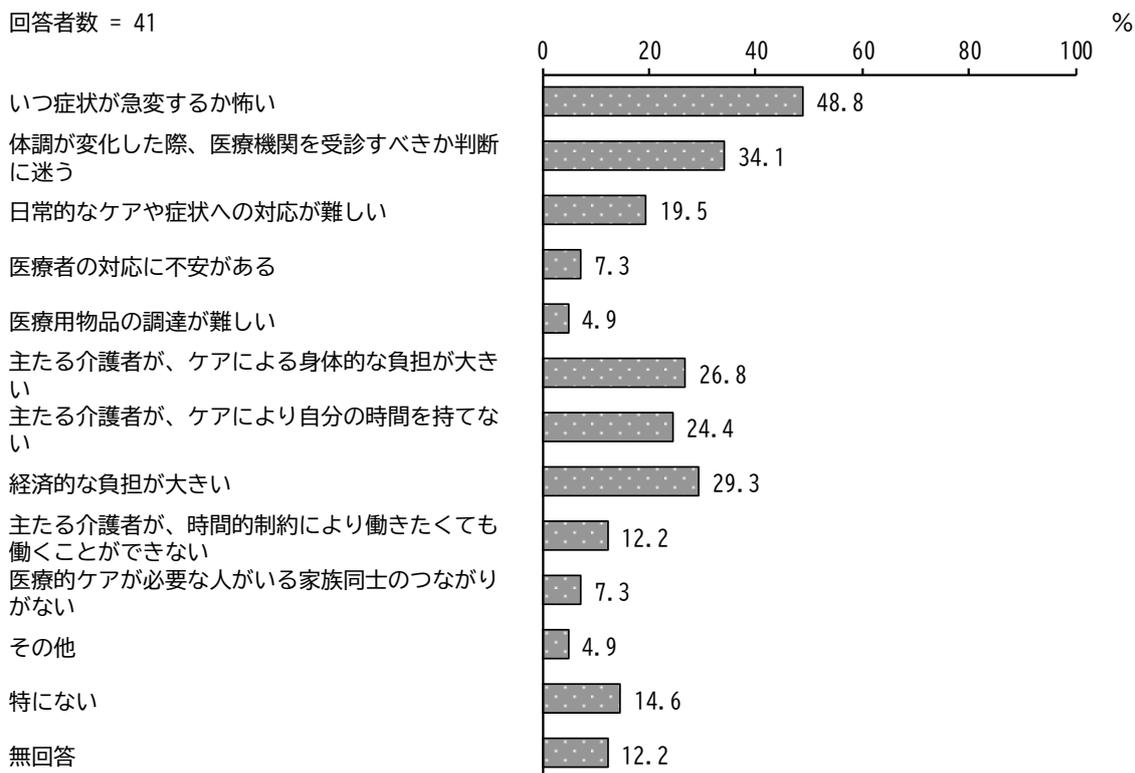
区分	H) 中心 静脈 栄養 (I V)	透 析	カ テ ー テ ル 留 置	ス ト ー マ (人 工 肛 門・ 人 工 膀 胱)	そ の 他	上 記 の よ う な 医 療 的 ケ ア は 受 け て い ない	無 回 答
全 体	1.6	3.9	3.9	1.6	5.5	59.8	18.9
自宅のベッドから動けないから	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	36.4	9.1
生命維持のための医療機器が必要だから	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
間仕切りや個室の部屋がないから	1.8	3.6	5.5	1.8	3.6	58.2	20.0
トイレが使いにくいから	2.1	2.1	6.3	4.2	6.3	60.4	16.7
避難所がバリアフリーになっていないから	0.0	0.0	16.7	0.0	11.1	44.4	11.1
障がいに対する周囲の理解がないから	0.0	1.8	7.1	0.0	7.1	58.9	23.2
避難所には障がい者を理解している支援者がいないから	0.0	0.0	7.0	2.3	4.7	60.5	23.3
人に迷惑をかけてしまうことが心配だから	1.4	0.0	5.5	1.4	6.8	68.5	17.8
その他	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	64.3	28.6

次の問いは、何らかの医療的ケアを受けている方、医療的ケアに携わっているご家族のことについてお伺いします。

問13 あなたは、困っていることや不安に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「いつ症状が急変するか怖い」の割合が48.8%と最も高く、次いで「体調が変化した場合、医療機関を受診すべきか判断に迷う」の割合が34.1%、「経済的な負担が大きい」の割合が29.3%となっています。

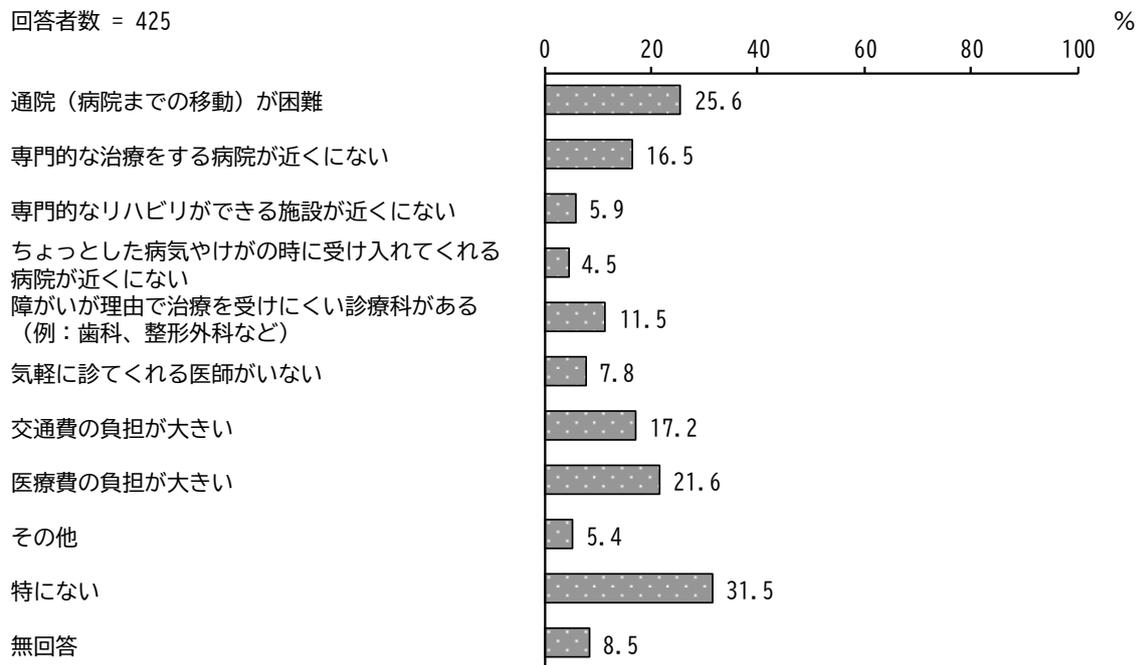
回答者数 = 41



問 14 病院に行ったり、医療を受ける際の困りごとについて、具体的に教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「通院（病院までの移動）が困難」の割合が 25.6%と最も高く、次いで「医療費の負担が大きい」の割合が 21.6%、「交通費の負担が大きい」の割合が 17.2%となっています。

回答者数 = 425

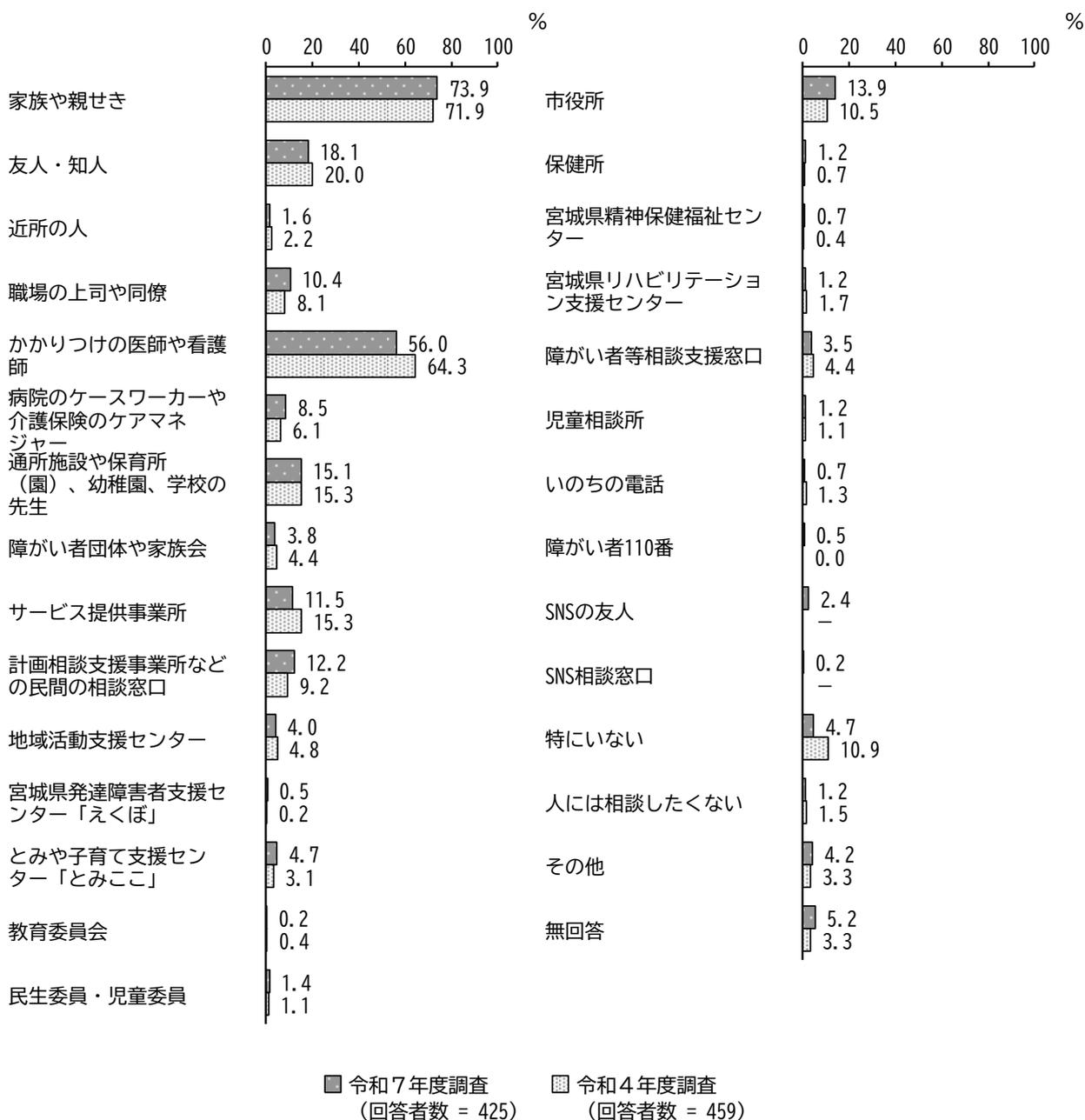


相談先や支援体制について

問15 あなたは、障がいや発達の不安や悩みをどなたに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

「家族や親せき」の割合が73.9%と最も高く、次いで「かかりつけの医師や看護師」の割合が56.0%、「友人・知人」の割合が18.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「かかりつけの医師や看護師」の割合が減少しています。



※令和4年度調査では、「SNSの友人」、「SNS相談窓口」がありませんでした。

【障がい種別】

障がい種別にみると、精神障がい者で「かかりつけの医師や看護師」、知的障がい者で「通所施設や保育所（園）、幼稚園、学校の先生」「サービス提供事業所」「計画相談支援事業所などの民間の相談窓口」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族や親せき	友人・知人	近所の人	職場の上司や同僚	かかりつけの医師や看護師	病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	通所施設や保育所(園)、幼稚園、学校の先生	障がい者団体や家族会	サービス提供事業所
全体	425	73.9	18.1	1.6	10.4	56.0	8.5	15.1	3.8	11.5
身体障がい者	182	72.0	14.3	0.0	8.8	56.0	11.0	6.0	2.7	6.0
知的障がい者	138	76.8	21.0	1.4	8.0	39.9	6.5	37.7	8.0	22.5
精神障がい者	138	73.2	21.0	1.4	13.8	78.3	10.9	8.7	4.3	12.3

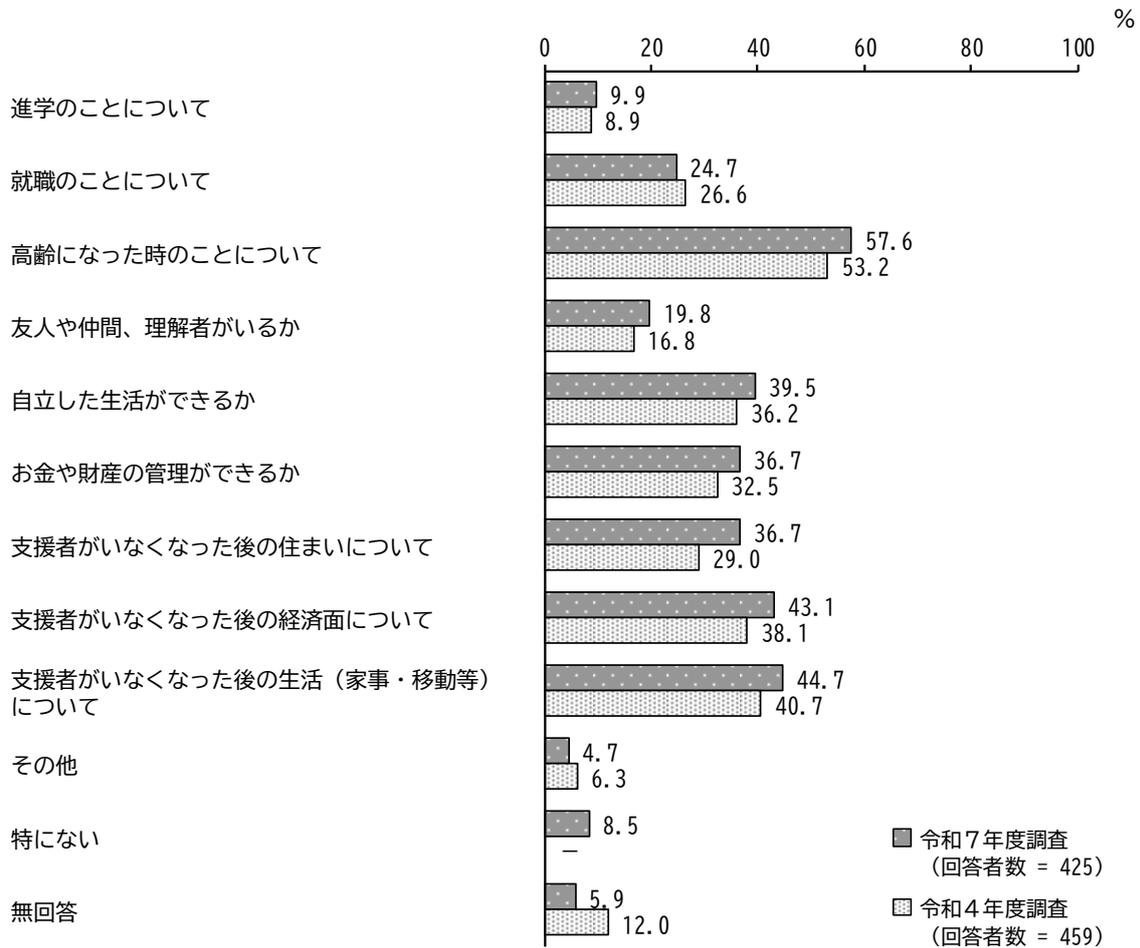
区分	計画相談支援事業所などの民間の相談窓口	地域活動支援センター	宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」	とみや子育て支援センター「とみっこ」	教育委員会	民生委員・児童委員	市役所	保健所	宮城県精神保健福祉センター	宮城県リハビリテーション支援センター
全体	12.2	4.0	0.5	4.7	0.2	1.4	13.9	1.2	0.7	1.2
身体障がい者	5.5	3.3	0.0	3.3	0.0	1.6	7.7	1.1	0.5	2.2
知的障がい者	27.5	4.3	0.7	11.6	0.7	3.6	13.8	1.4	1.4	1.4
精神障がい者	10.1	5.1	0.0	0.7	0.0	0.7	23.2	0.7	0.7	0.7

区分	障がい者等相談支援窓口	児童相談所	いのちの電話	障がい者110番	その友人	その相談窓口	特にない	人には相談したくない	その他	無回答
全体	3.5	1.2	0.7	0.5	2.4	0.2	4.7	1.2	4.2	5.2
身体障がい者	2.2	0.0	0.5	0.5	2.2	0.0	7.7	0.5	1.6	5.5
知的障がい者	5.1	2.9	0.0	0.0	1.4	0.0	1.4	1.4	6.5	4.3
精神障がい者	2.9	0.7	2.2	0.7	4.3	0.7	3.6	1.4	5.1	2.9

問16 将来のことで不安に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「高齢になった時のことについて」の割合が57.6%と最も高く、次いで「支援者がいなくなった後の生活(家事・移動等)について」の割合が44.7%、「支援者がいなくなった後の経済面について」の割合が43.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「支援者がいなくなった後の住まいについて」の割合が増加しています。



※令和4年度調査では、「特になし」がありませんでした。

【障がい種別】

障がい種別にみると、知的障がい者で「進学のことについて」「友人や仲間、理解者がいるか」「お金や財産の管理ができるか」「支援者がいなくなった後の住まいについて」「支援者がいなくなった後の生活（家事・移動等）について」、知的障がい者、精神障がい者で「自立した生活ができるか」「支援者がいなくなった後の経済面について」の割合が高くなっています。

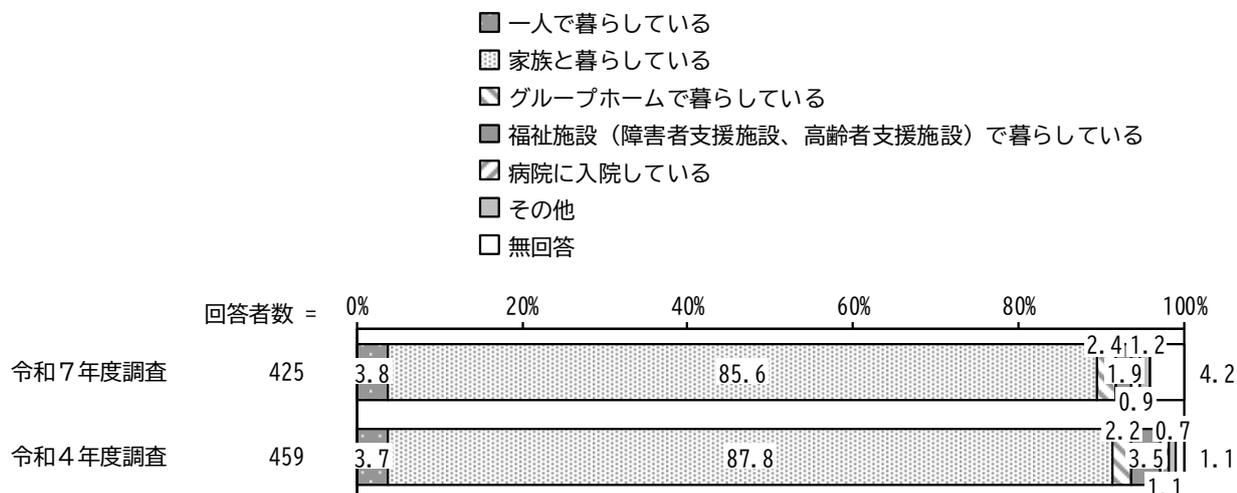
単位：％

区分	回答者数（件）	進学のことについて	就職のことについて	高齢になった時のことについて	友人や仲間、理解者がいるか	自立した生活ができるか	お金や財産の管理ができるか	支援者がいなくなった後の住まいについて	支援者がいなくなった後の経済面について	支援者がいなくなった後の生活（家事・移動等）について	その他	特にない	無回答
全 体	425	9.9	24.7	57.6	19.8	39.5	36.7	36.7	43.1	44.7	4.7	8.5	5.9
身体障がい者	182	6.6	13.7	60.4	8.8	25.8	19.2	23.6	24.7	31.9	2.2	11.0	4.4
知的障がい者	138	20.3	32.6	56.5	32.6	51.4	56.5	56.5	57.2	63.8	6.5	6.5	3.6
精神障がい者	138	6.5	34.1	59.4	26.1	50.0	44.9	40.6	57.2	46.4	5.8	5.1	2.9

生活の状況について

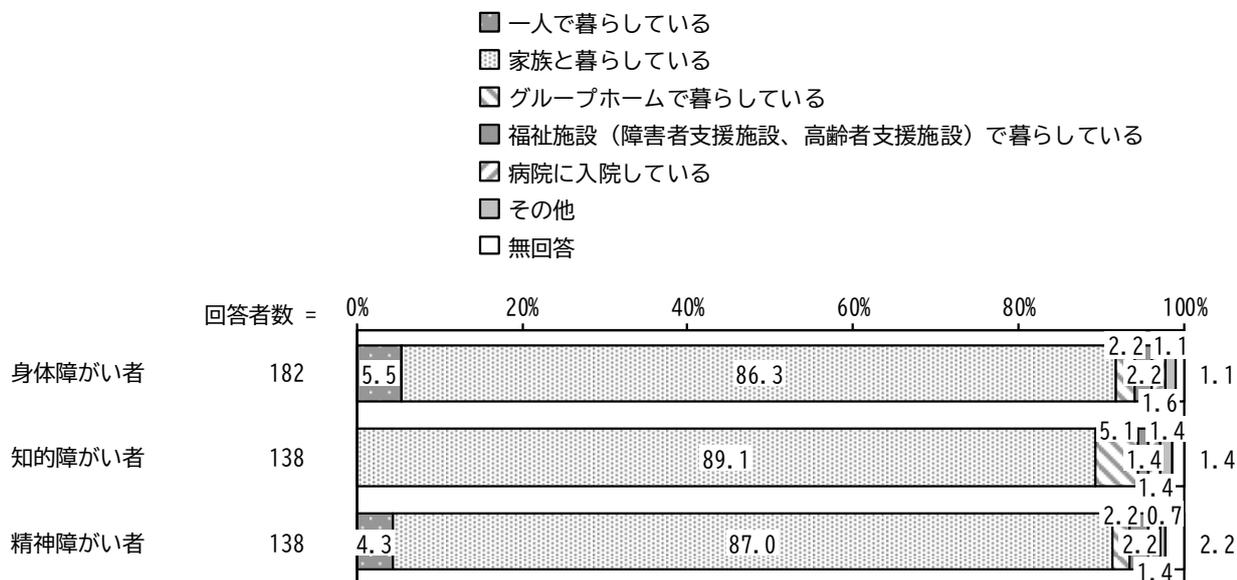
問 17 あなたは現在どのように暮らしていますか。(○は1つだけ)

「家族と暮らしている」の割合が 85.6%と最も高くなっています。
 令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【障がい種別】

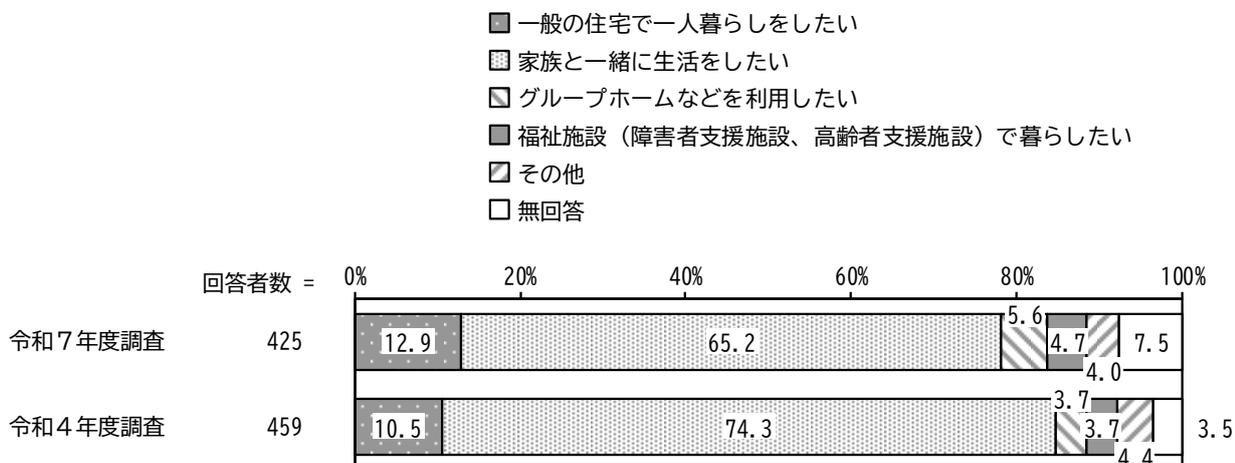
障がい種別にみると、大きな差はみられません。



問 18 あなたは今後 10 年以内にどのような暮らしをしたいと思いますか。(○は1つだけ)

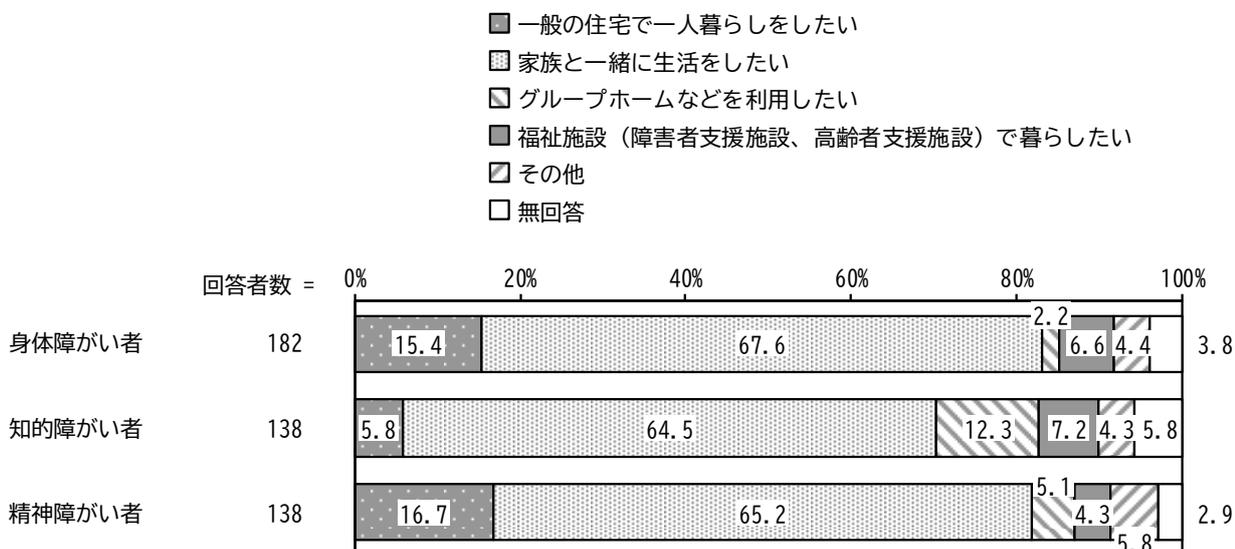
「家族と一緒に生活をしたい」の割合が 65.2%と最も高く、次いで「一般の住宅で一人暮らしをしたい」の割合が 12.9%となっています。

令和 4 年度調査と比較すると、「家族と一緒に生活をしたい」の割合が減少しています。



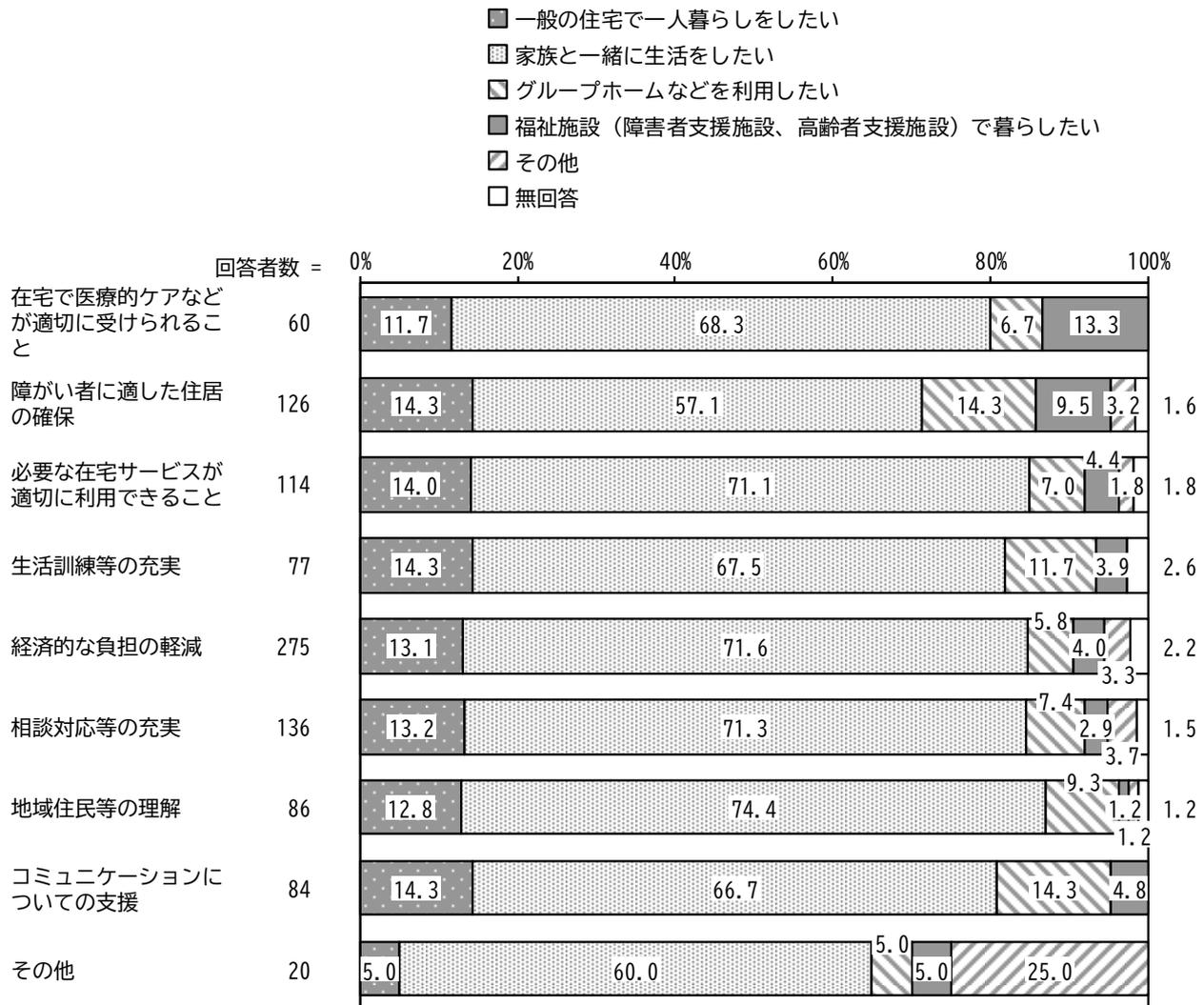
【障がい種別】

障がい種別にみると、知的障がい者で「グループホームなどを利用したい」の割合が高く、「一般の住宅で一人暮らしをしたい」の割合が低くなっています。



【希望する暮らしを送るために必要な支援別】

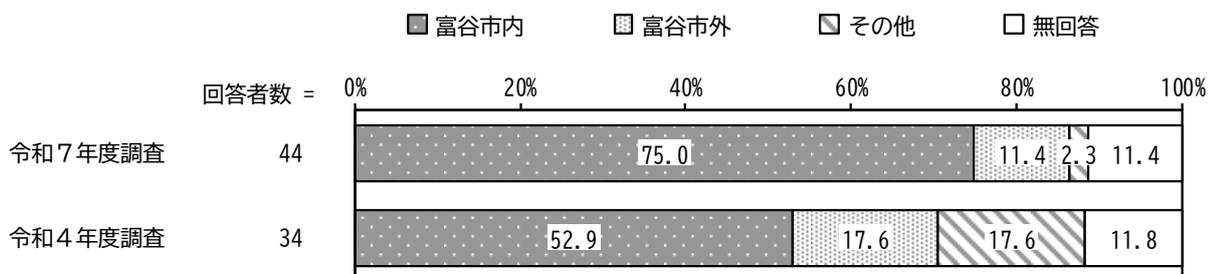
希望する暮らしを送るために必要な支援別にみると、経済的な負担の軽減、地域住民等の理解で「家族と一緒に生活をしたい」、障がい者に適した住居の確保、生活訓練等の充実、コミュニケーションについての支援で「グループホームなどを利用したい」、在宅で医療的ケアなどが適切に受けられることで「福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしたい」の割合が高くなっています。



問 18 で「グループホームなどを利用したい」または「福祉施設で暮らしたい」を選択した方にお伺いします。

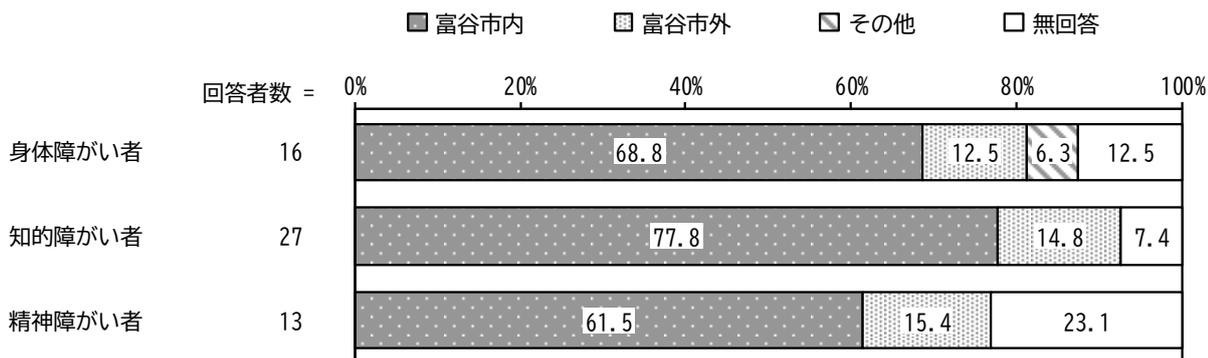
問 19 具体的にどこに住みたいですか。希望場所があれば、ご記入ください。(○は1つだけ)

「富谷市内」の割合が 75.0%、「富谷市外」の割合が 11.4%となっています。
令和 4 年度調査と比較すると、「富谷市内」の割合が増加しています。



【障がい種別】

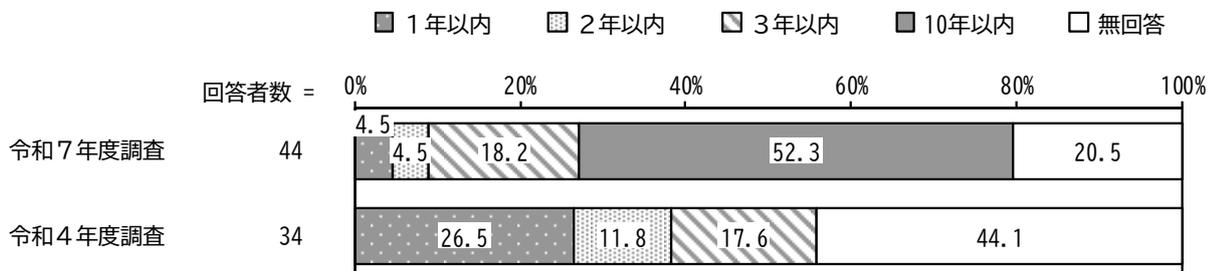
障がい種別にみると、知的障がい者で「富谷市内」の割合が高くなっています。



問 18 で「グループホームなどを利用したい」または「福祉施設で暮らしたい」を選択した方にお伺いします。

問 20 いつ頃入所（入居）したいですか。（○は1つだけ）

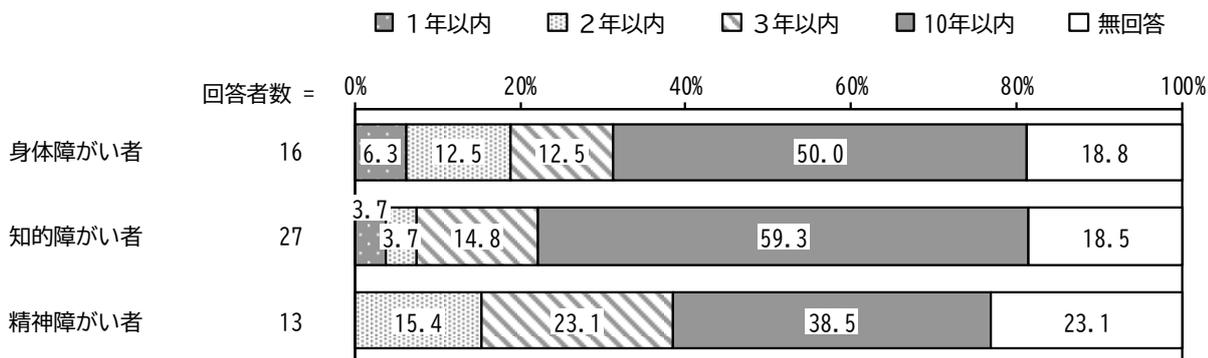
「10年以内」の割合が52.3%と最も高く、次いで「3年以内」の割合が18.2%となっています。令和4年度調査と比較すると、「1年以内」「2年以内」の割合が減少しています。



※令和4年度調査では、「10年以内」がありませんでした。

【障がい種別】

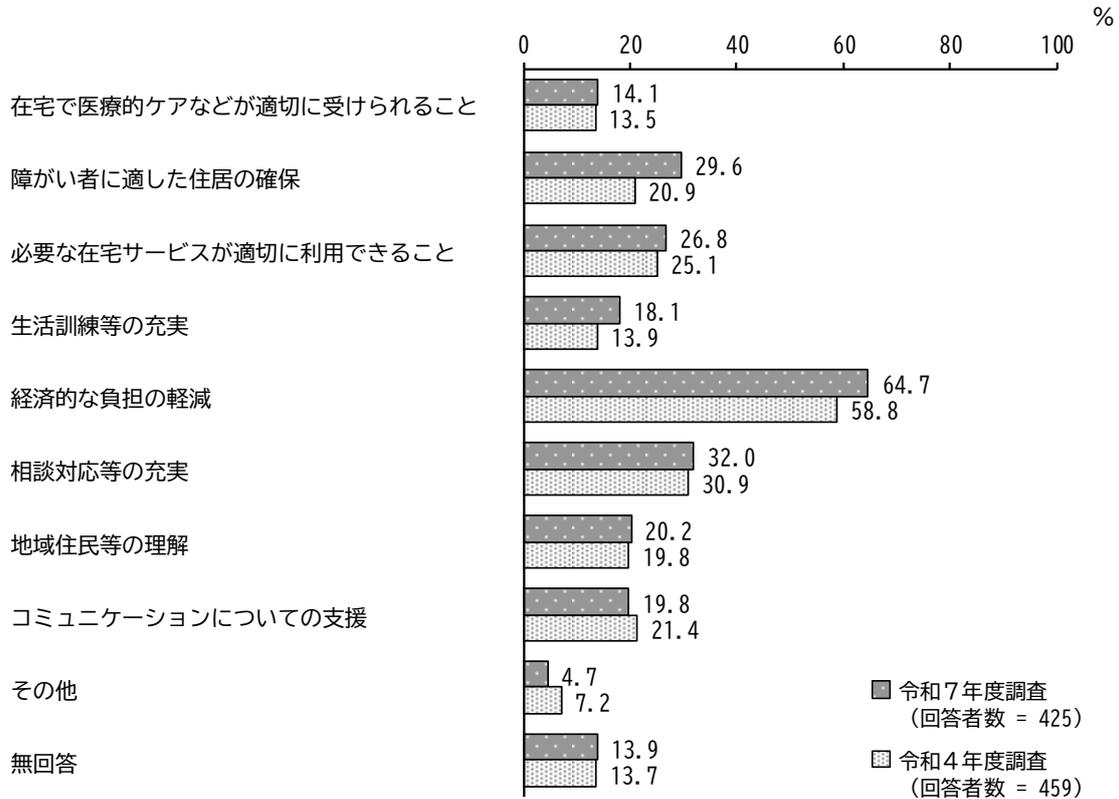
障がい種別にみると、精神障がい者で「2年以内」の割合が高くなっています。



問 21 希望する暮らしを送るためには、どのような支援があれば良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「経済的な負担の軽減」の割合が 64.7%と最も高く、次いで「相談対応等の充実」の割合が 32.0%、「障がい者に適した住居の確保」の割合が 29.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「障がい者に適した住居の確保」「経済的な負担の軽減」の割合が増加しています。



【障がい種別】

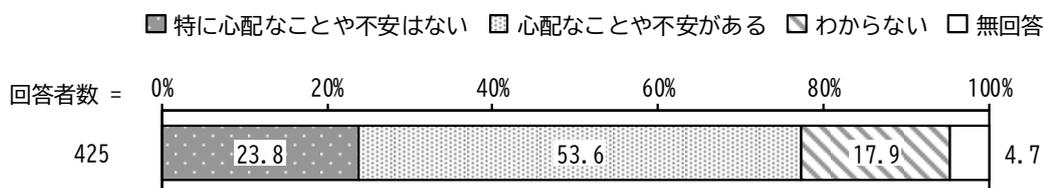
障がい種別にみると、知的障がい者で「障がい者に適した住居の確保」「生活訓練等の充実」「地域住民等の理解」「コミュニケーションについての支援」、知的障がい者、精神障がい者で「相談対応等の充実」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	在宅で医療的ケアなどが適切に受けられること	障がい者に適した住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練等の充実	経済的な負担の軽減	相談対応等の充実	地域住民等の理解	コミュニケーションについての支援	その他	無回答
全体	425	14.1	29.6	26.8	18.1	64.7	32.0	20.2	19.8	4.7	13.9
身体障がい者	182	19.8	24.7	28.0	11.0	57.7	20.9	11.5	11.0	6.0	14.3
知的障がい者	138	11.6	44.9	34.1	31.9	65.2	42.8	34.1	30.4	5.1	11.6
精神障がい者	138	13.8	23.9	18.8	14.5	74.6	44.2	17.4	20.3	5.8	9.4

問 22 あなたやご家族、介助してくれる方は、あなたの“親亡き後”や、将来の生活について、心配なことや不安がありますか。(○は1つだけ)

「心配なことや不安がある」の割合が 53.6%となっています。

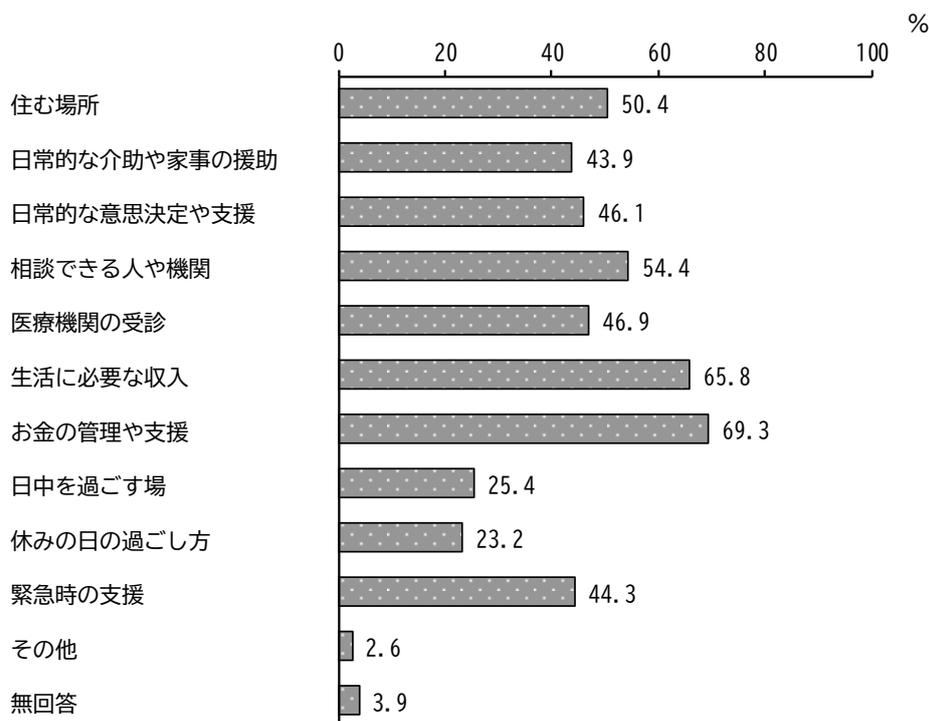


問 22 で「心配なことや不安がある」を選択した方にお伺いします。

問 23 あなたやご家族は、“親亡き後”の生活に関する次のことについて、心配や不安を感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

「お金の管理や支援」の割合が 69.3%と最も高く、次いで「生活に必要な収入」の割合が 65.8%、「相談できる人や機関」の割合が 54.4%となっています。

回答者数 = 228

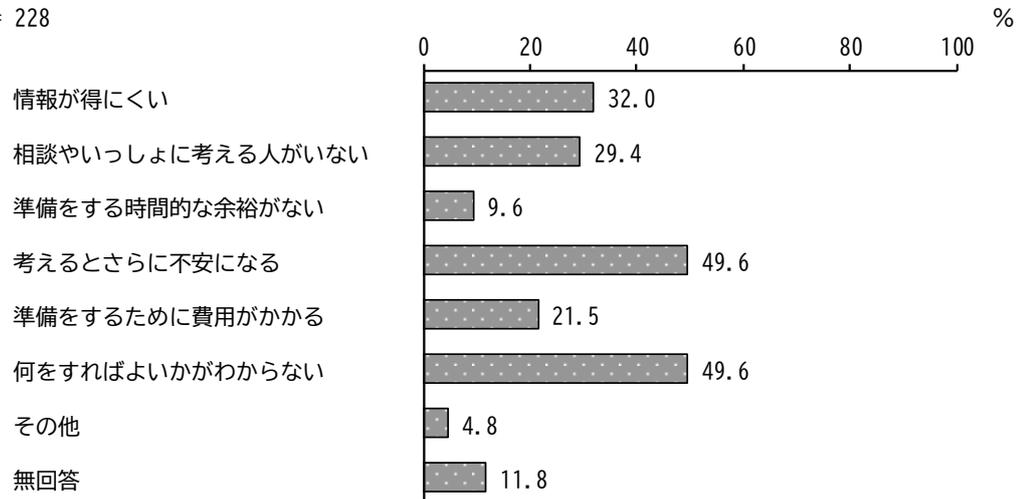


問 22 で「心配なことや不安がある」を選択した方にお伺いします。

問 24 あなたやご家族は、“親亡き後”への準備をするうえで、どのような困りごとがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「考えるとさらに不安になる」、「何をすればよいかかわからない」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「情報が得にくい」の割合が 32.0%となっています。

回答者数 = 228



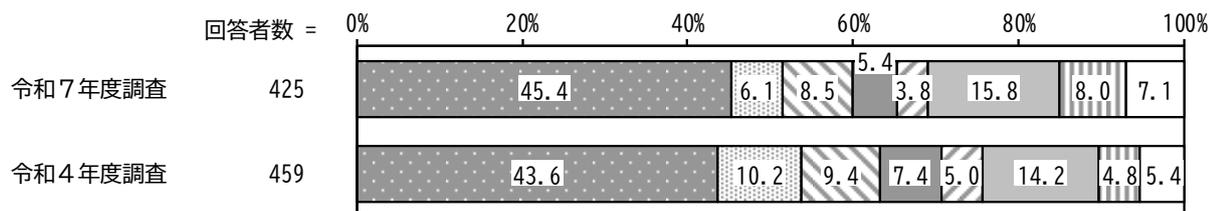
仕事や日中の過ごし方について

問 25 仕事の状況についてお伺いします。(○は1つだけ)

「現在、仕事をしている（就労定着支援事業、就労継続支援事業所（A型・B型）を含む）」の割合が45.4%と最も高く、次いで「現在、就学しているため、仕事の見通しはまだない」の割合が15.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

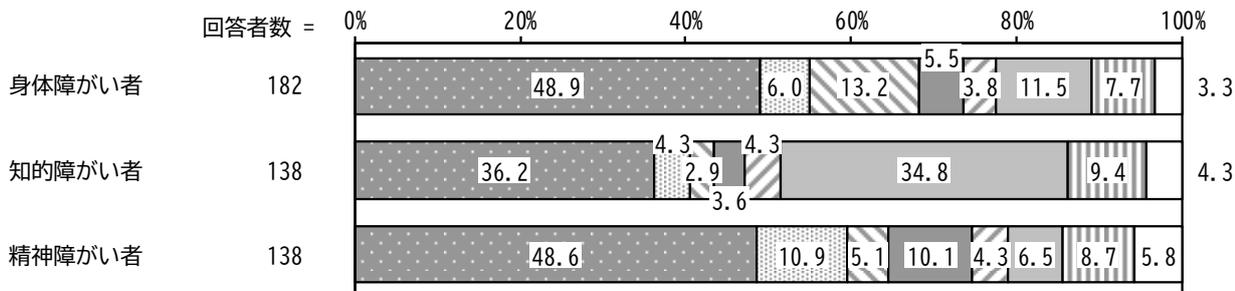
- 現在、仕事をしている（就労定着支援事業、就労継続支援事業所（A型・B型）を含む）
- 現在、仕事をしていないが、今後は仕事をしたいと思っている（就労移行支援事業所に通っている場合を含む）
- 現在、仕事をしておらず、今後も仕事の予定はない
- 現在、仕事をしておらず、今は仕事について考えられない
- 現在、仕事をしておらず、仕事をするのを考えたことがない
- 現在、就学しているため、仕事の見通しはまだない
- その他



【障がい種別】

障がい種別にみると、知的障がい者で「現在、就学しているため、仕事の見通しはまだない」の割合が高く、「現在、仕事をしている（就労定着支援事業、就労継続支援事業所（A型・B型）を含む）」「現在、仕事をしておらず、今後も仕事の予定はない」の割合が低くなっています。

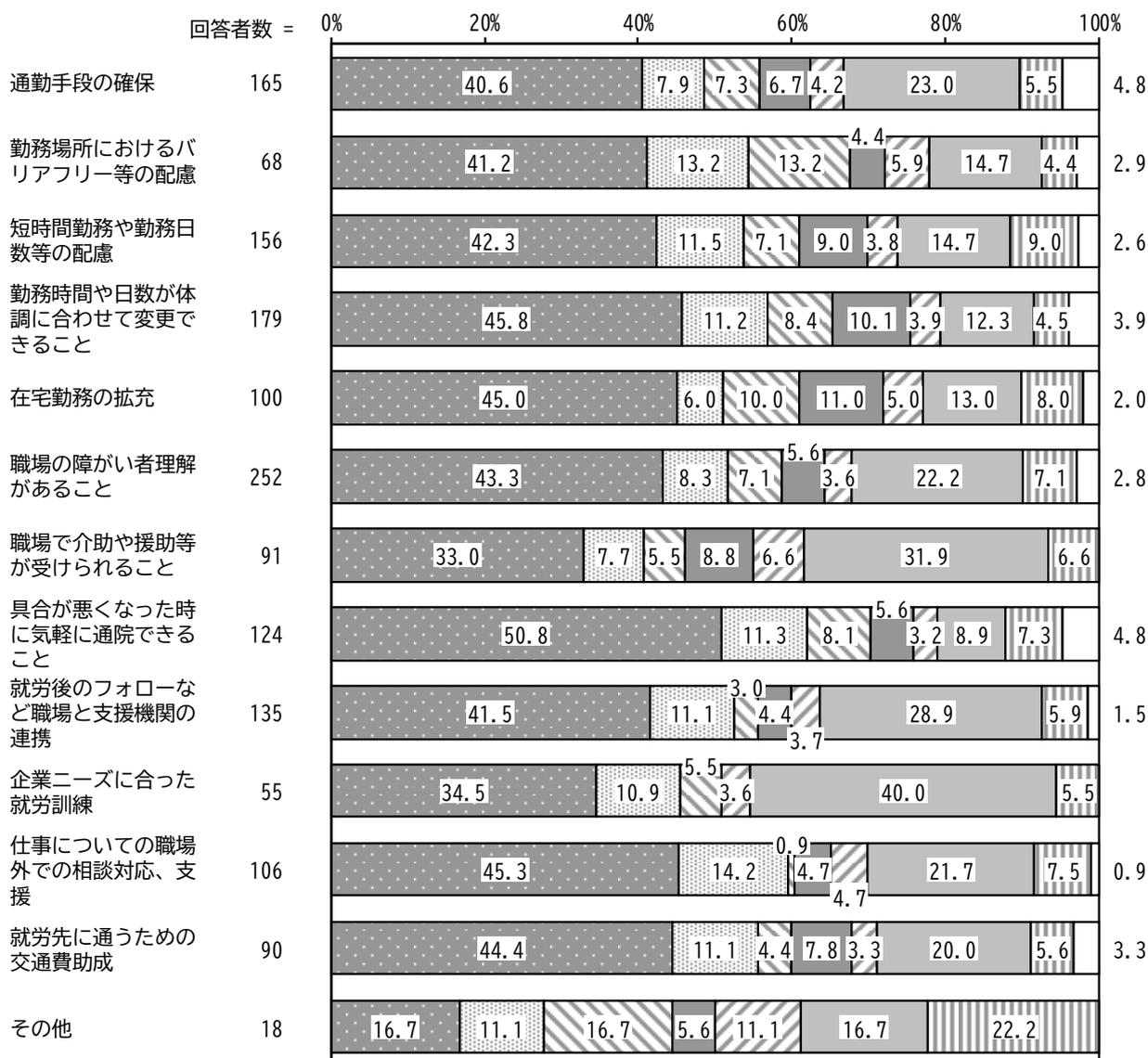
- 現在、仕事をしていないが、今後は仕事をしたいと思っている（就労移行支援事業所に通っている場合を含む）
- 現在、仕事をしておらず、今後も仕事の予定はない
- 現在、仕事をしておらず、今は仕事について考えられない
- 現在、仕事をしておらず、仕事をするのを考えたことがない
- 現在、就学しているため、仕事の見通しはまだない
- その他
- 無回答



【障がい者の就労支援にあたって必要なこと】

障がい者の就労支援にあたって必要なことにみると、具合が悪くなった時に気軽に通院できることで「現在、仕事をしている（就労定着支援事業、就労継続支援事業所（A型・B型）を含む）」、勤務場所におけるバリアフリー等の配慮、短時間勤務や勤務日数等の配慮、勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること、具合が悪くなった時に気軽に通院できること、仕事についての職場外での相談対応、支援で「現在、仕事をしていないが、今後は仕事をしたいと思っている（就労移行支援事業所に通っている場合を含む）」、在宅勤務の拡充で「現在、仕事をしておらず、今は仕事について考えられない」、企業ニーズに合った就労訓練で「現在、就学しているため、仕事の見通しはまだない」の割合が高くなっています。

- 現在、仕事をしている（就労定着支援事業、就労継続支援事業所（A型・B型）を含む）
- ▨ 現在、仕事をしていないが、今後は仕事をしたいと思っている（就労移行支援事業所に通っている場合を含む）
- ▩ 現在、仕事をしておらず、今後も仕事の予定はない
- 現在、仕事をしておらず、今は仕事について考えられない
- ▨ 現在、仕事をしておらず、仕事をするのを考えたことがない
- ▩ 現在、就学しているため、仕事の見通しはまだない
- その他
- 無回答



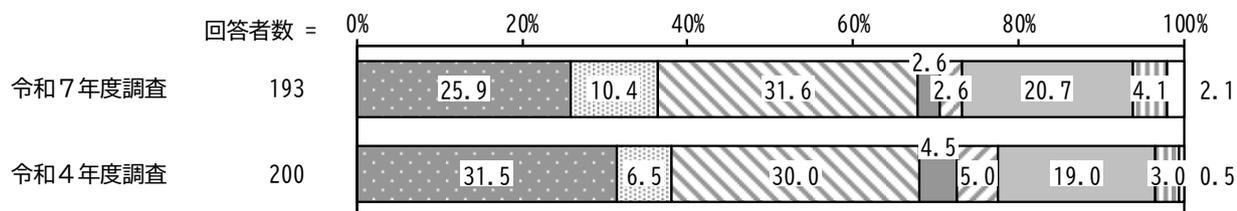
問 25 で「現在、仕事をしている」を選択した方にお伺いします。

問 26 どのような就労形態で就労していますか。(○は1つだけ)

「会社などでパート、アルバイト、非常勤職員、派遣社員として働いている」の割合が 31.6%と最も高く、次いで「会社などで正職員として働いており、他職員と勤務条件等に違いはない」の割合が 25.9%、「就労継続支援事業所（B型）で働いている」の割合が 20.7%となっています。

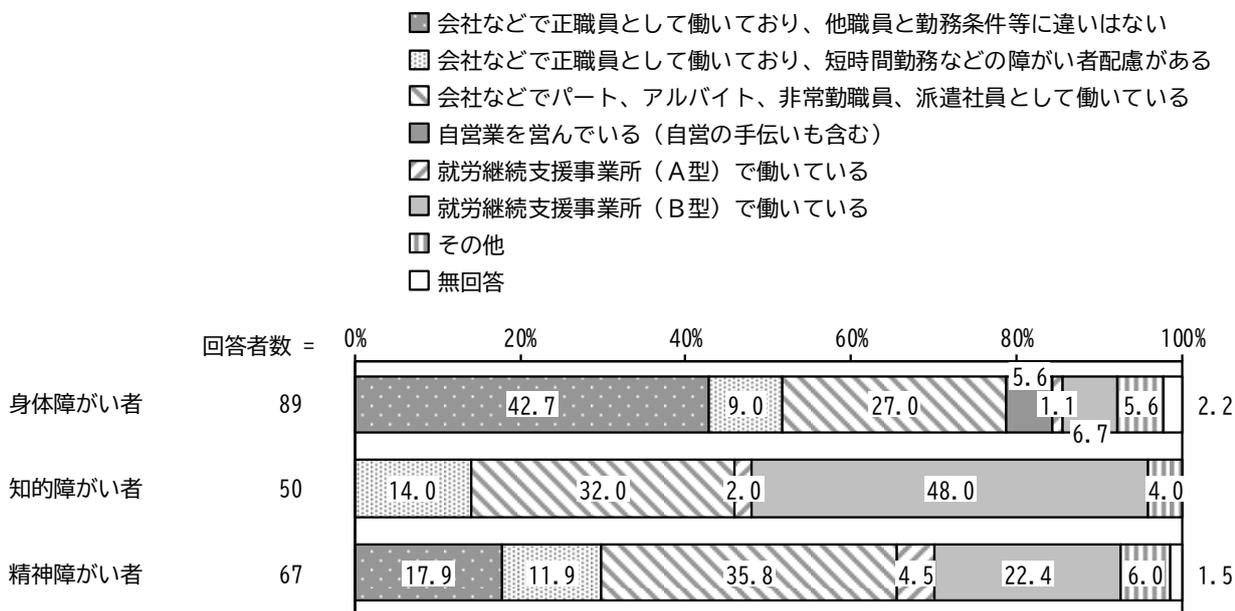
令和4年度調査と比較すると、「会社などで正職員として働いており、他職員と勤務条件等に違いはない」の割合が減少しています。

- 会社などで正職員として働いており、他職員と勤務条件等に違いはない
- ▨ 会社などで正職員として働いており、短時間勤務などの障がい者配慮がある
- ▩ 会社などでパート、アルバイト、非常勤職員、派遣社員として働いている
- 自営業を営んでいる（自営の手伝いも含む）
- ▣ 就労継続支援事業所（A型）で働いている
- ▤ 就労継続支援事業所（B型）で働いている
- その他
- 無回答



【障がい種別】

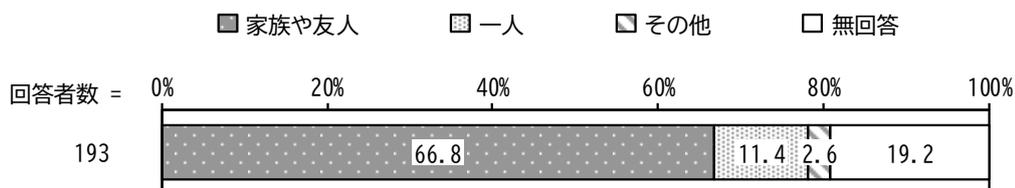
障がい種別にみると、身体障がい者で「会社などで正職員として働いており、他職員と勤務条件等に違いはない」、知的障がい者で「就労継続支援事業所（B型）で働いている」の割合が高くなっています。



問 25 で「現在、仕事をしている」を選択した方にお伺いします。

問 27 就労した日（働いた日）の、帰宅後は誰と過ごすことが多いですか。（○は1つだけ）

「家族や友人」の割合が 66.8%、「一人」の割合が 11.4%となっています。

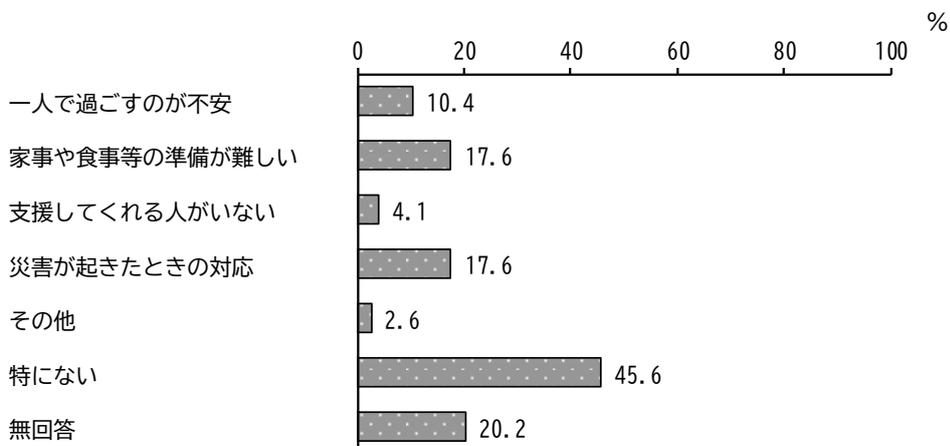


問 25 で「現在、仕事をしている」を選択した方にお伺いします。

問 28 帰宅後に困ることや難しいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「家事や食事等の準備が難しい」、「災害が起きたときの対応」の割合が 17.6%と最も高く、次いで「一人で過ごすのが不安」の割合が 10.4%となっています。

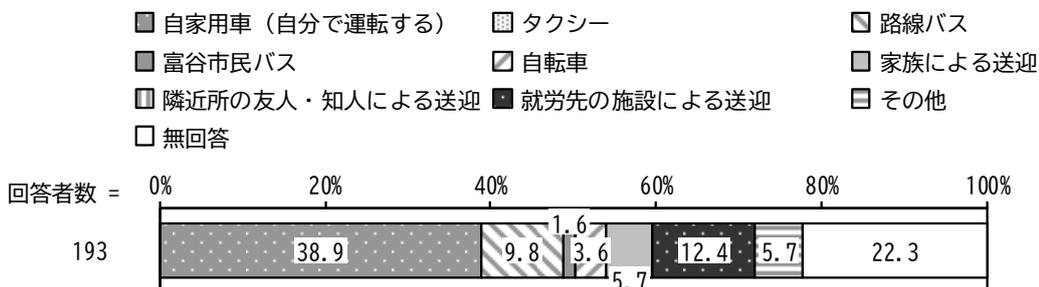
回答者数 = 193



問 25 で「現在、仕事をしている」を選択した方にお伺いします。

問 29 就労先への交通手段をお伺いします。(○は1つだけ)

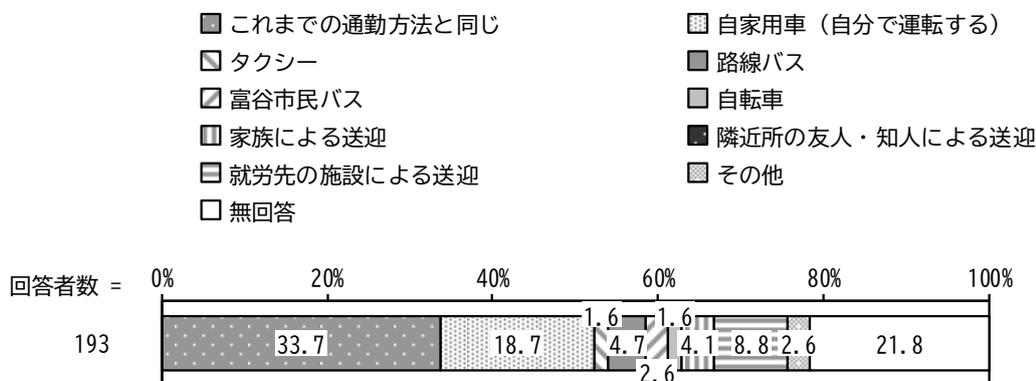
「自家用車（自分で運転する）」の割合が 38.9%と最も高く、次いで「就労先の施設による送迎」の割合が 12.4%となっています。



問 25 で「現在、仕事をしている」を選択した方にお伺いします。

問 30 本来希望する就労先への交通手段をお伺いします。(○は1つだけ)

「これまでの通勤方法と同じ」の割合が 33.7%と最も高く、次いで「自家用車（自分で運転する）」の割合が 18.7%となっています。

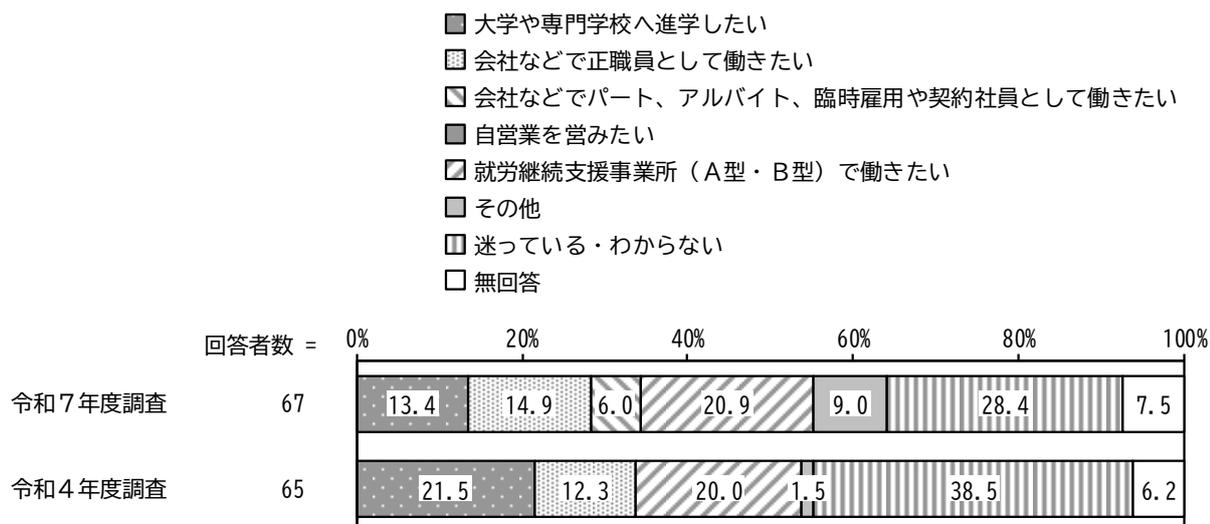


問 25 で「現在、就学しているため、仕事の見通しはまだない」を選択した方にお伺いします。

問 31 将来、高等学校などを卒業した後の進路について、希望するものはどれですか。(○は1つだけ)

「迷っている・わからない」の割合が 28.4%と最も高く、次いで「就労継続支援事業所（A型・B型）で働きたい」の割合が 20.9%、「会社などで正職員として働きたい」の割合が 14.9%となっています。

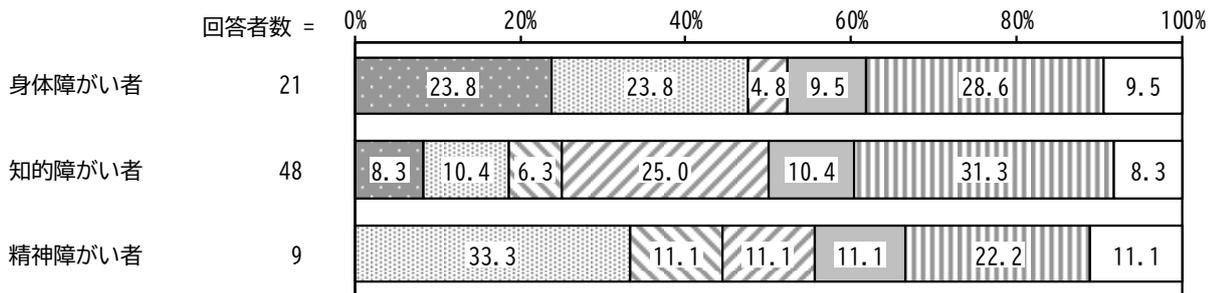
令和4年度調査と比較すると、「会社などでパート、アルバイト、臨時雇用や契約社員として働きたい」の割合が増加しています。一方、「大学や専門学校へ進学したい」「迷っている・わからない」の割合が減少しています。



【障がい種別】

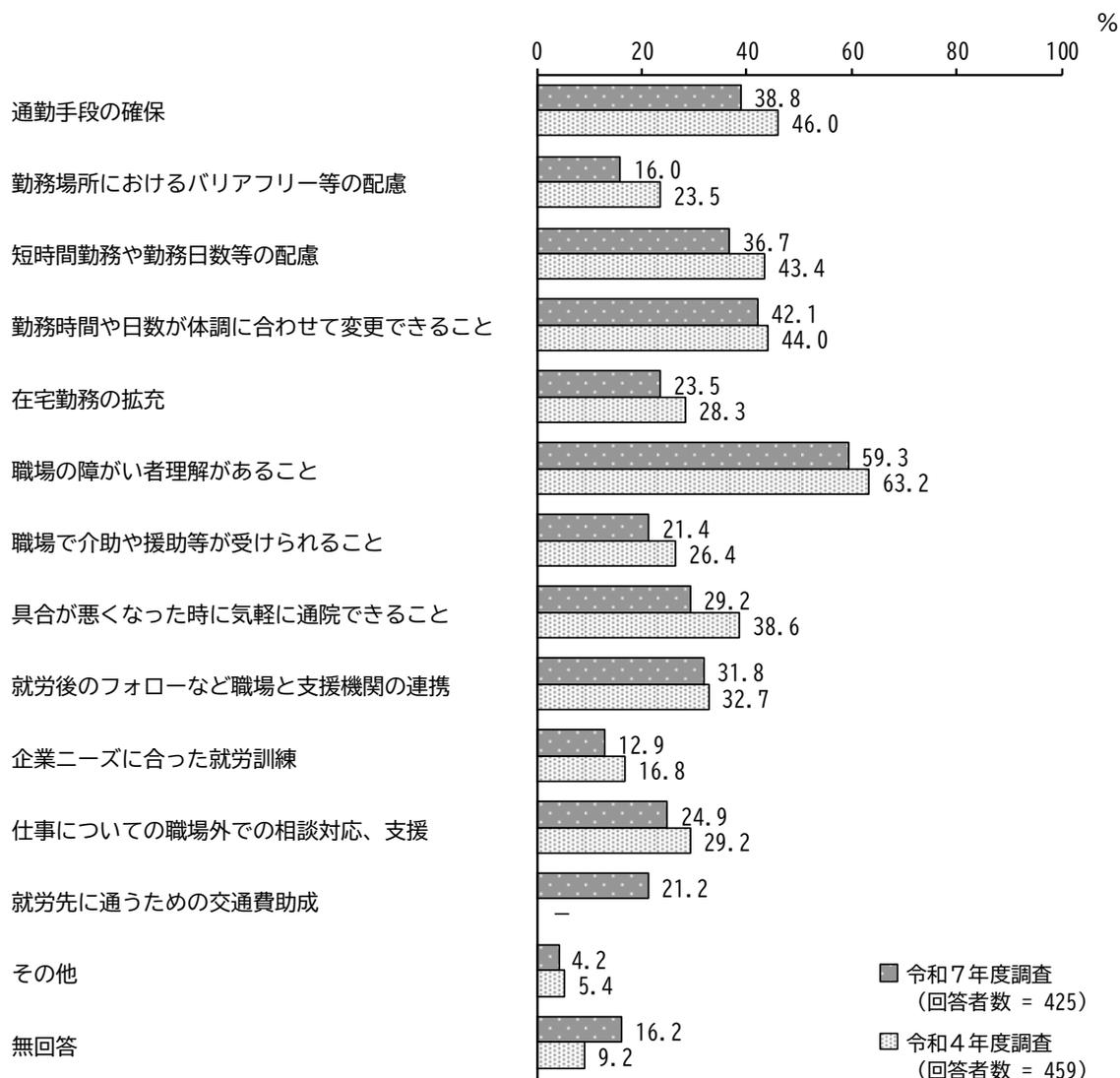
障がい種別にみると、身体障がい者で「大学や専門学校へ進学したい」「会社などで正職員として働きたい」の割合が高く、知的障がい者で「会社などでパート、アルバイト、臨時雇用や契約社員として働きたい」「就労継続支援事業所（A型・B型）で働きたい」の割合が高くなっています。

- 大学や専門学校へ進学したい
- 会社などで正職員として働きたい
- 会社などでパート、アルバイト、臨時雇用や契約社員として働きたい
- 自営業を営みたい
- 就労継続支援事業所（A型・B型）で働きたい
- その他
- 迷っている・わからない
- 無回答



問 32 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「職場の障がい者理解があること」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること」の割合が 42.1%、「通勤手段の確保」の割合が 38.8%となっています。



※令和4年度調査では、「就労先に通うための交通費助成」がありませんでした。

【障がい種別】

障がい種別にみると、知的障がい者で「職場の障がい者理解があること」「職場で介助や援助等が受けられること」「就労後のフォローなど職場と支援機関の連携」、精神障がい者で「具合が悪くなった時に気軽に通院できること」「仕事についての職場外での相談対応、支援」の割合が高くなっています。

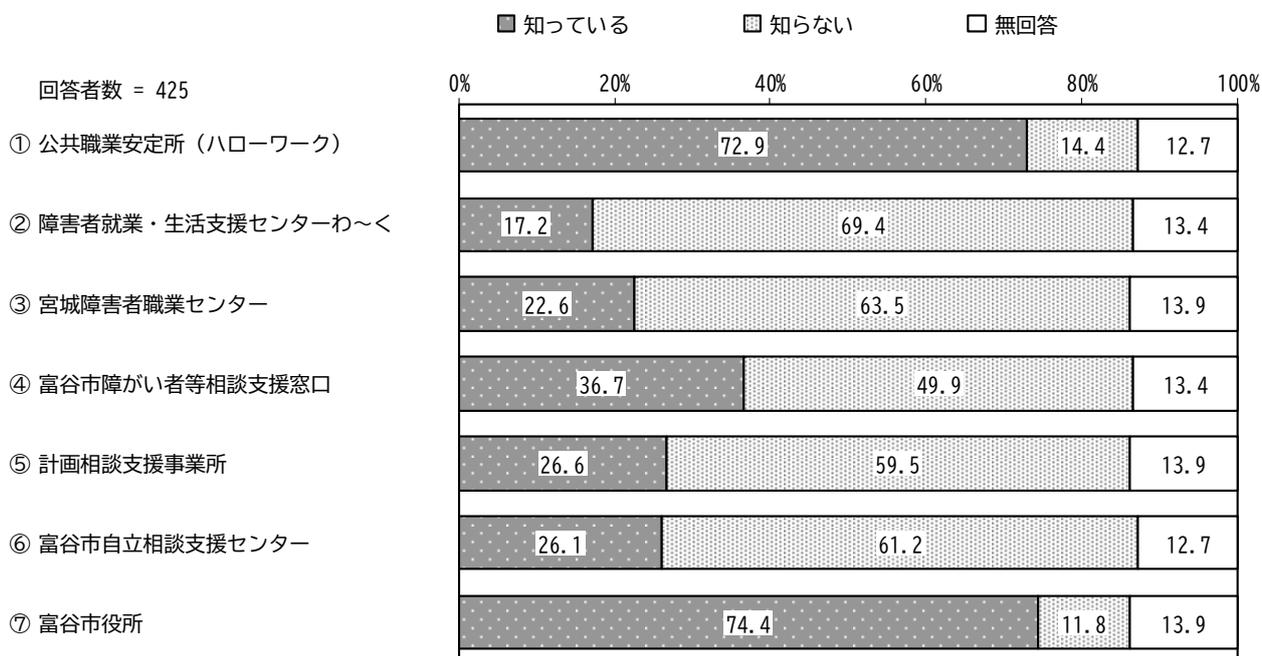
単位：％

区分	回答者数(件)	通勤手段の確保	勤務場所における バリアフリー等の 配慮	短時間勤務や勤務 日数等の配慮	勤務時間や日数が 体調に合わせて変 更できること	在宅勤務の拡充	職場の障がい者理 解があること	職場で介助や援助 と等が受けられるこ と
全体	425	38.8	16.0	36.7	42.1	23.5	59.3	21.4
身体障がい者	182	33.0	24.7	32.4	40.7	30.2	53.8	17.0
知的障がい者	138	44.9	13.8	32.6	33.3	12.3	69.6	37.0
精神障がい者	138	42.8	10.1	46.4	51.4	27.5	60.1	17.4

区分	具合が悪くなった 時に気軽に通院で きること	就労後のフォロー など職場と支援機 関の連携	企業ニーズに合っ た就労訓練	仕事についての職 場外での相談対応、 支援	就労先に通うため の交通費助成	その他	無回答
全体	29.2	31.8	12.9	24.9	21.2	4.2	16.2
身体障がい者	27.5	20.9	9.3	13.7	19.2	2.7	19.8
知的障がい者	19.6	50.0	19.6	32.6	21.7	3.6	15.2
精神障がい者	41.3	31.2	14.5	36.2	26.1	7.2	12.3

問 33 以下の就労を支援する関係機関を知っていますか。(あてはまる答えにそれぞれ1つずつ○をつけてください。)

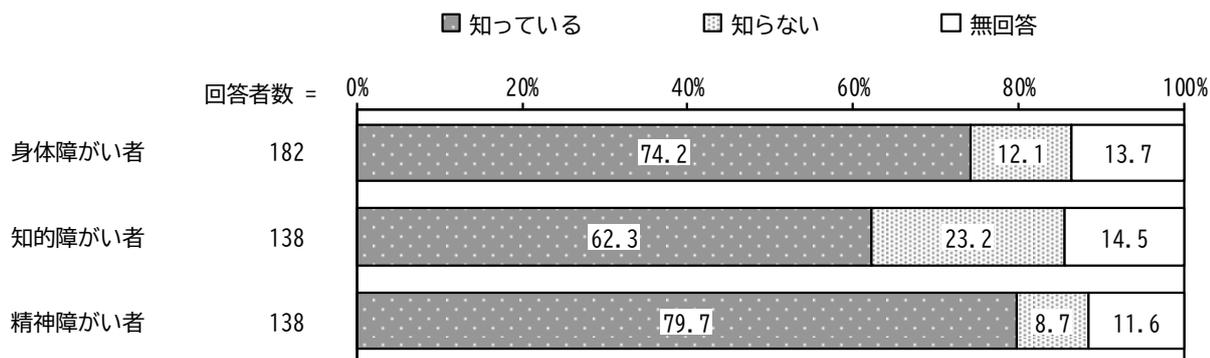
『⑦富谷市役所』で「知っている」が、『②障害者就業・生活支援センターわ〜く』で「知らない」が高くなっています。



①公共職業安定所 (ハローワーク)

【障がい種別】

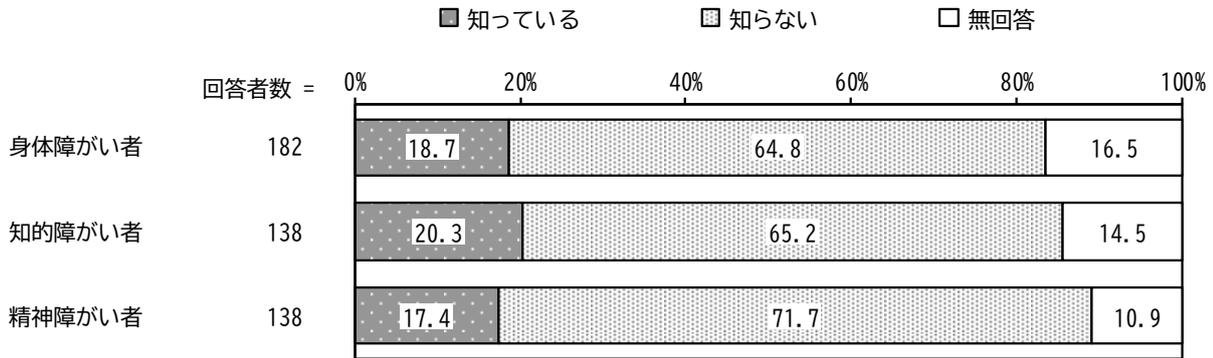
障がい種別にみると、知的障がい者で「知っている」の割合が低くなっています。



②障害者就業・生活支援センターわ～く

【障がい種別】

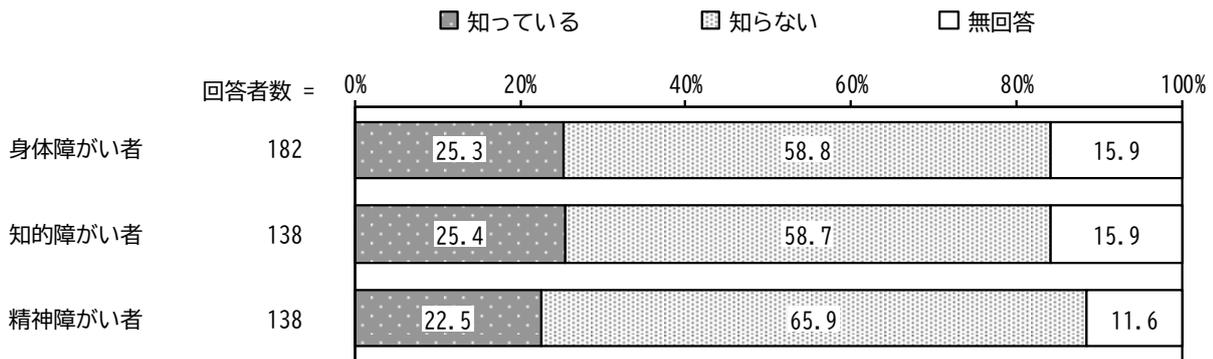
障がい種別にみると、大きな差はみられません。



③宮城障害者職業センター

【障がい種別】

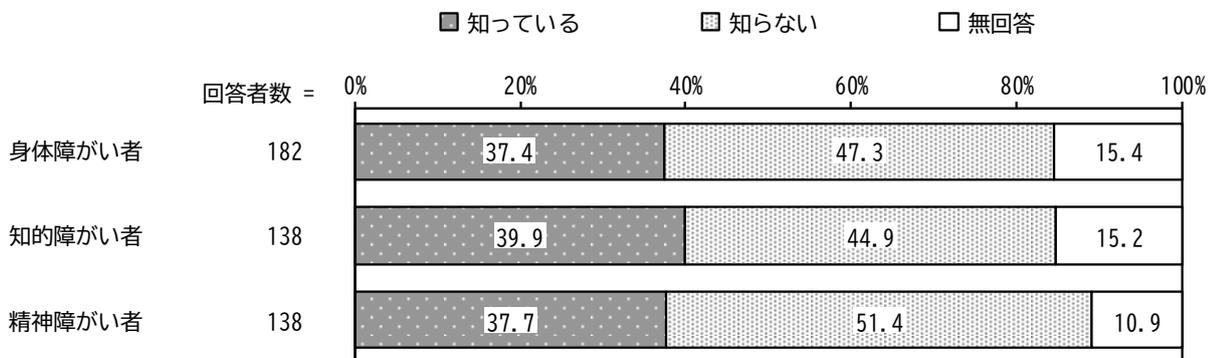
障がい種別にみると、大きな差はみられません。



④富谷市障がい者等相談支援窓口

【障がい種別】

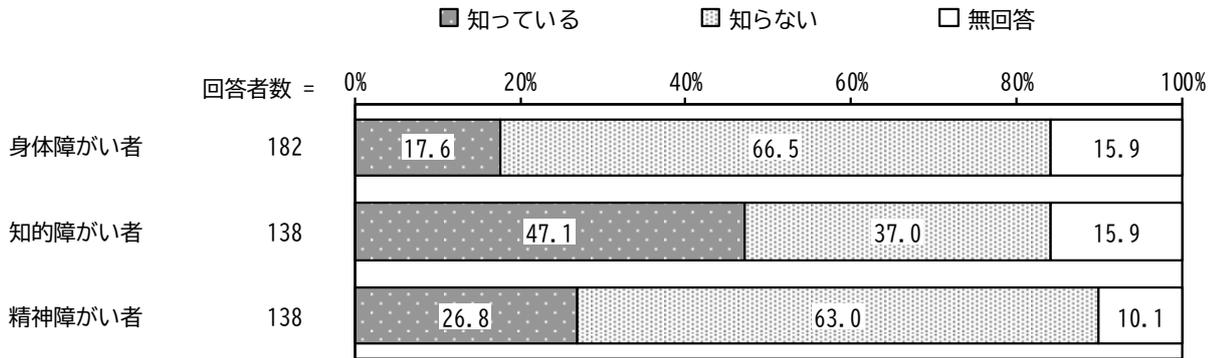
障がい種別にみると、知的障がい者で「知らない」の割合が低くなっています。



⑤計画相談支援事業所

【障がい種別】

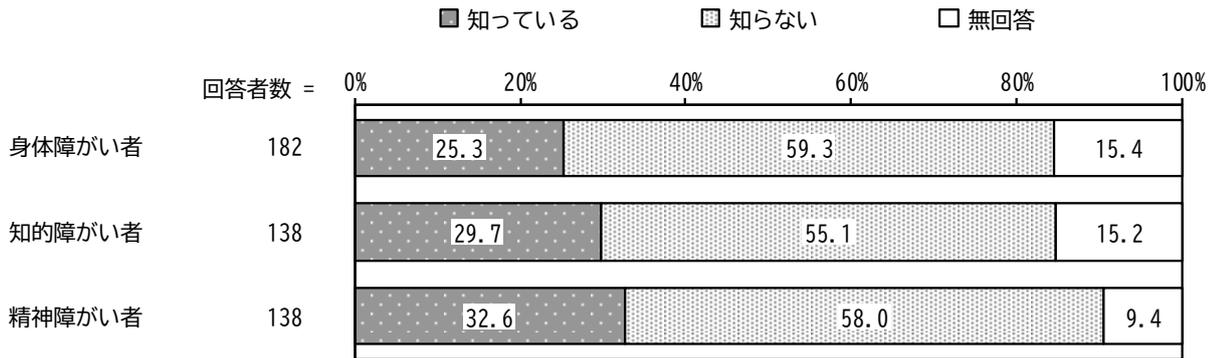
障がい種別にみると、知的障がい者で「知っている」の割合が高くなっています。



⑥富谷市自立相談支援センター

【障がい種別】

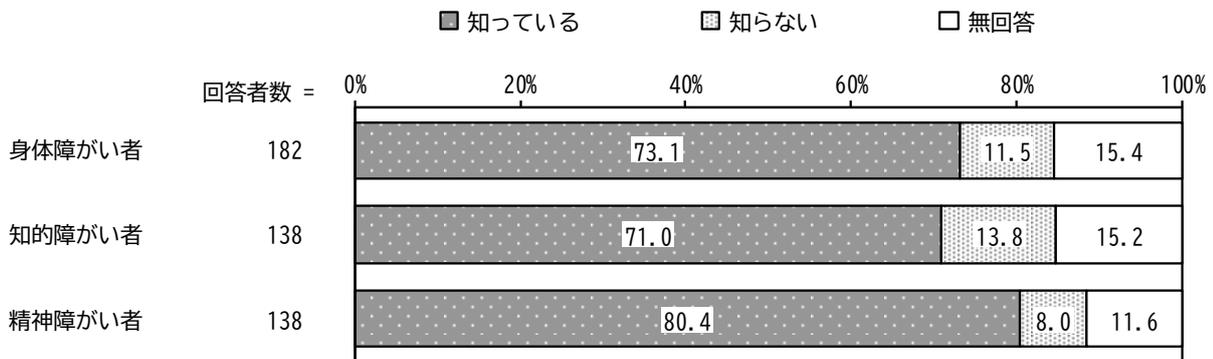
障がい種別にみると、精神障がい者で「知っている」の割合が高くなっています。



⑦富谷市役所

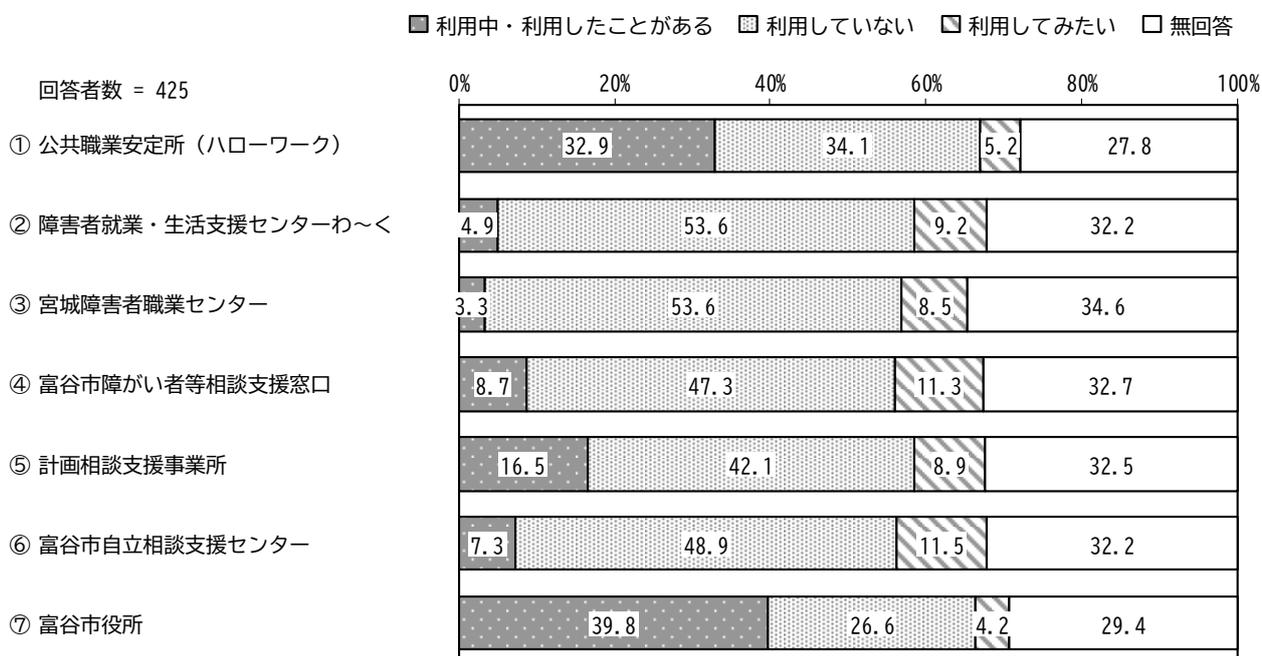
【障がい種別】

障がい種別にみると、精神障がい者で「知っている」の割合が高くなっています。



利用してみたいと思いますか。(あてはまる答えにそれぞれ1つずつ○をつけてください。)

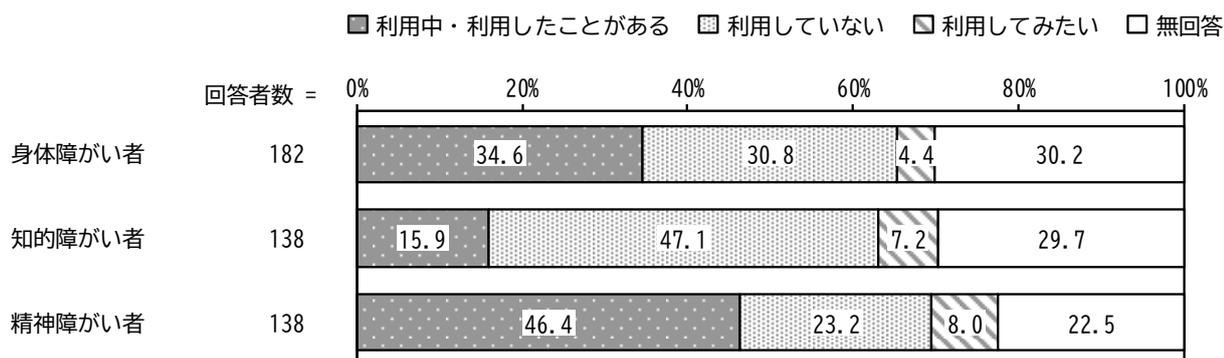
『⑦富谷市役所』で「利用中・利用したことがある」が、『②障害者就業・生活支援センターわ〜く』『③宮城障害者職業センター』で「利用していない」が、『⑥富谷市自立相談支援センター』で「利用してみたい」が高くなっています。



①公共職業安定所 (ハローワーク)

【障がい種別】

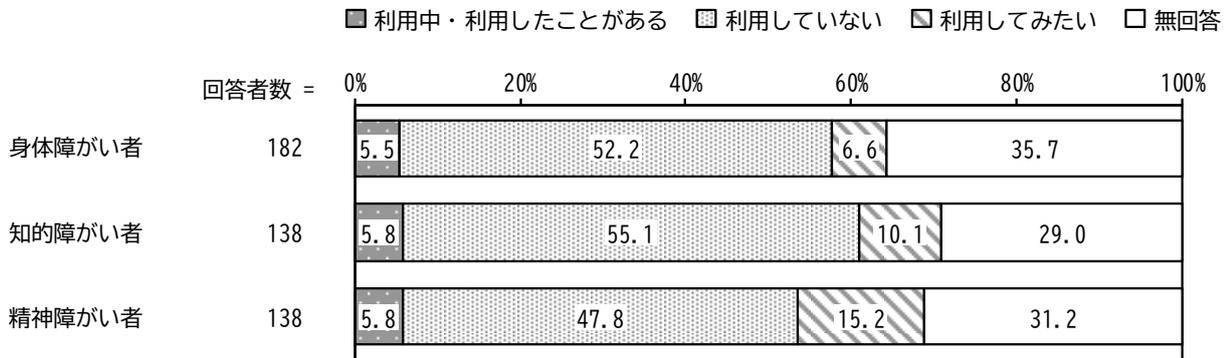
障がい種別にみると、精神障がい者で「利用中・利用したことがある」、知的障がい者で「利用していない」の割合が高くなっています。



②障害者就業・生活支援センターわ〜く

【障がい種別】

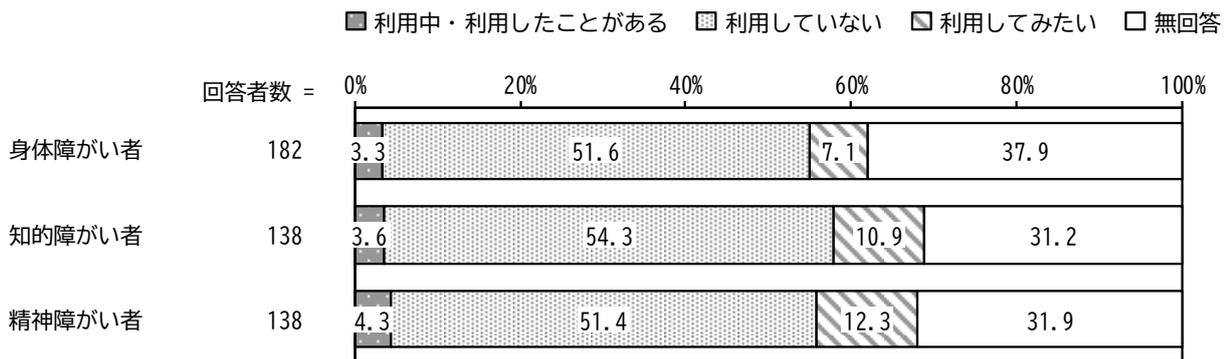
障がい種別にみると、精神障がい者で「利用してみたい」の割合が高く、「利用していない」の割合が低くなっています。



③宮城障害者職業センター

【障がい種別】

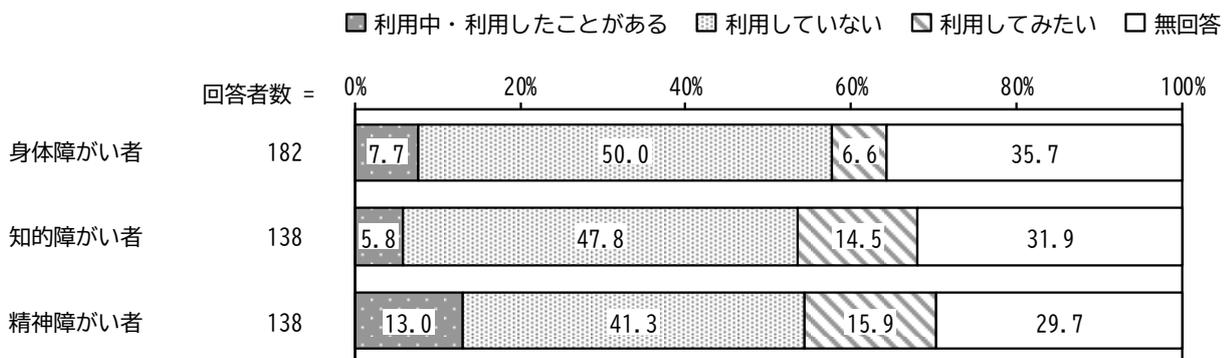
障がい種別にみると、大きな差はみられません。



④富谷市障がい者等相談支援窓口

【障がい種別】

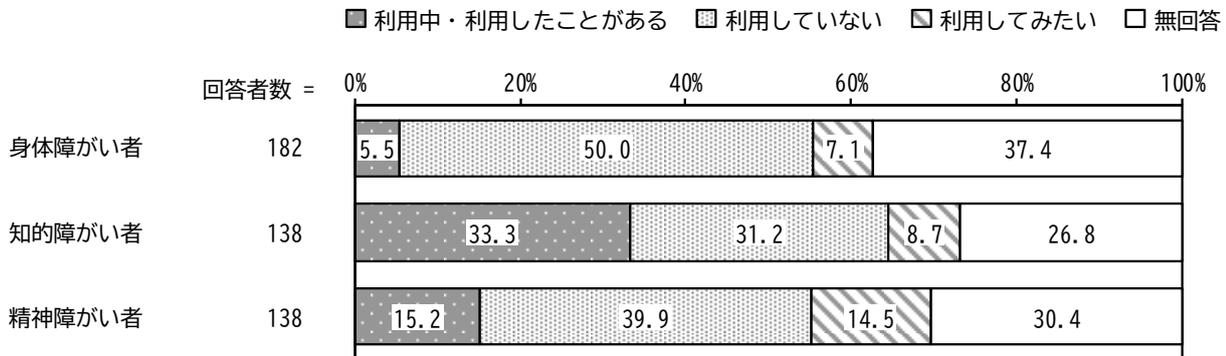
障がい種別にみると、精神障がい者で「利用していない」の割合が低くなっています。



⑤計画相談支援事業所

【障がい種別】

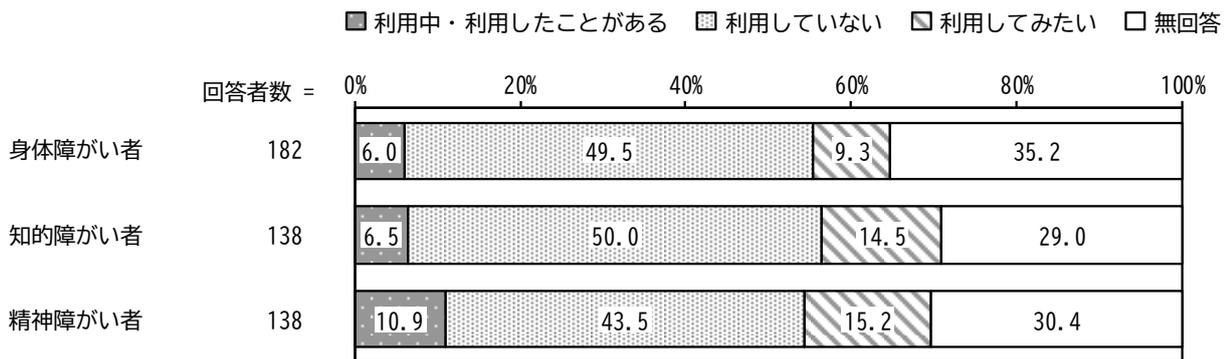
障がい種別にみると、知的障がい者で「利用中・利用したことがある」の割合が高く、「利用していない」の割合が低くなっています。



⑥富谷市自立相談支援センター

【障がい種別】

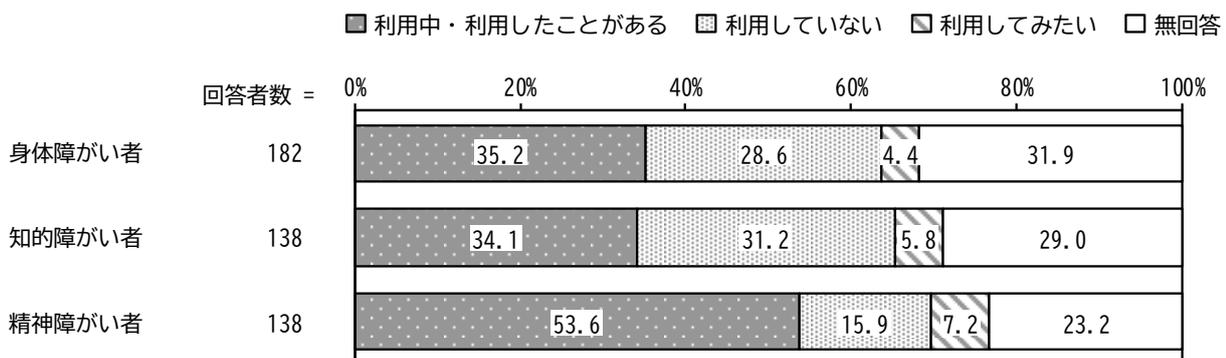
障がい種別にみると、精神障がい者で「利用していない」の割合が低くなっています。



⑦富谷市役所

【障がい種別】

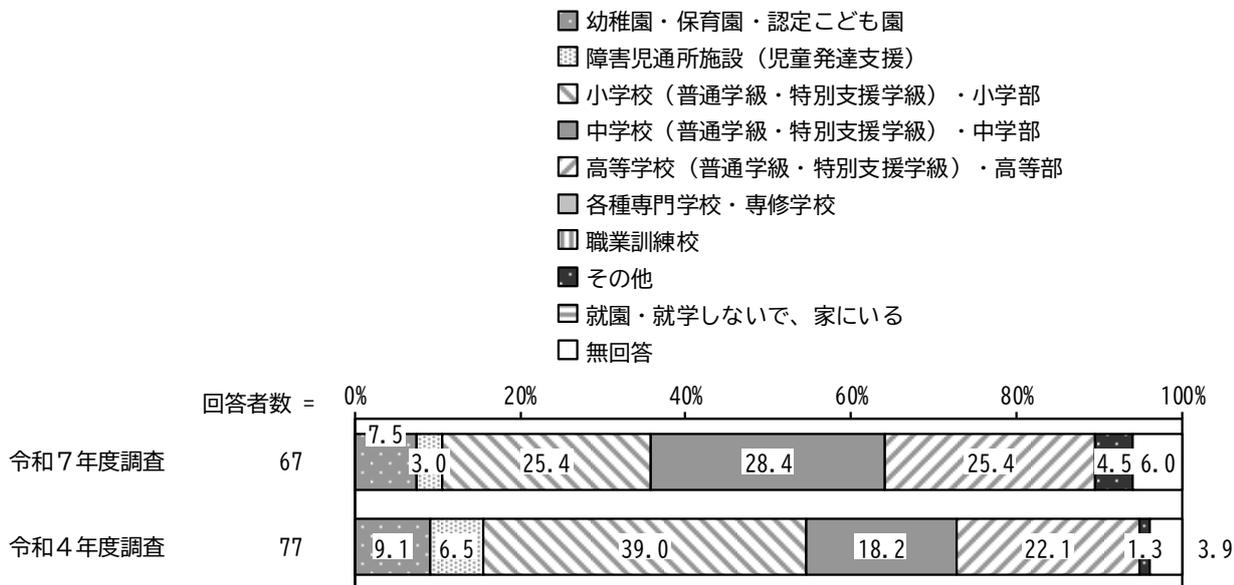
障がい種別にみると、精神障がい者で「利用中・利用したことがある」の割合が高く、「利用していない」の割合が低くなっています。



ここからは18歳未満の方にお伺いします。(お子さんと相談しながらお書きください)

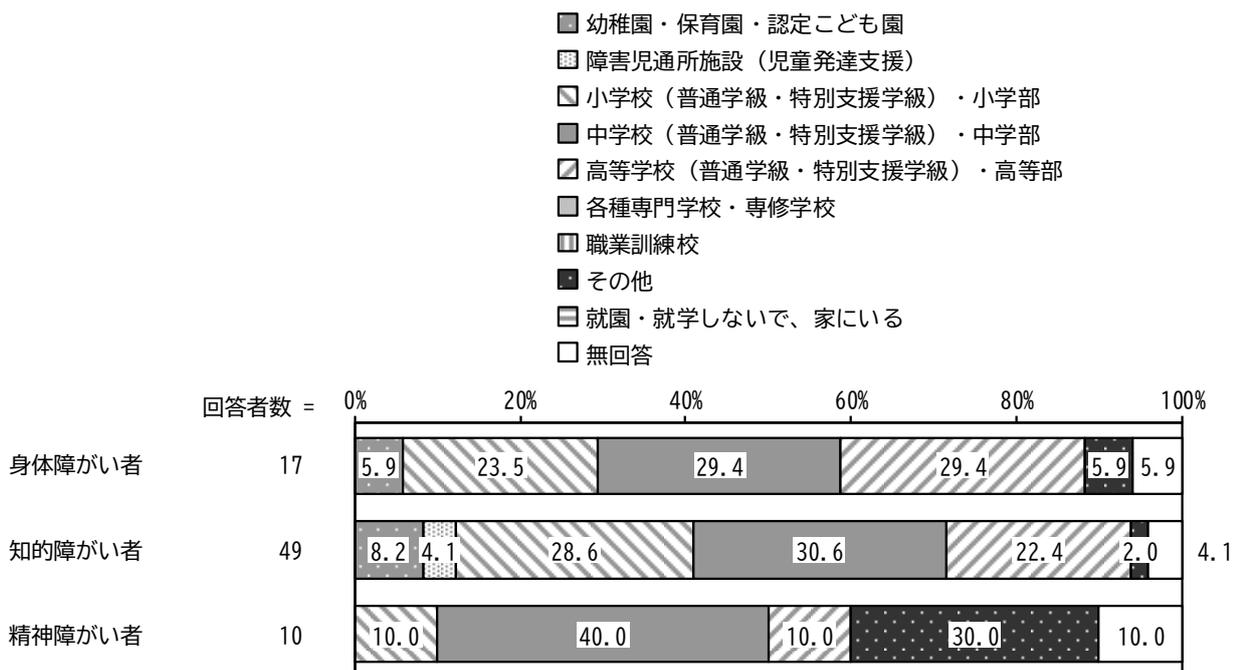
問34 現在、通園・通学をしていますか。(○は1つだけ。複数該当する場合は、一番頻度が高いものに○をつけてください。)

「中学校(普通学級・特別支援学級)・中学部」の割合が28.4%と最も高く、次いで「小学校(普通学級・特別支援学級)・小学部」、「高等学校(普通学級・特別支援学級)・高等部」の割合が25.4%となっています。



【障がい種別】

障がい種別にみると、精神障がい者で「中学校(普通学級・特別支援学級)・中学部」の割合が高く、「小学校(普通学級・特別支援学級)・小学部」「高等学校(普通学級・特別支援学級)・高等部」の割合が低くなっています。



問 34 で「就園・就学しないで、家にいる」を選択した方にお伺いします。

問 35 就園・就学していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

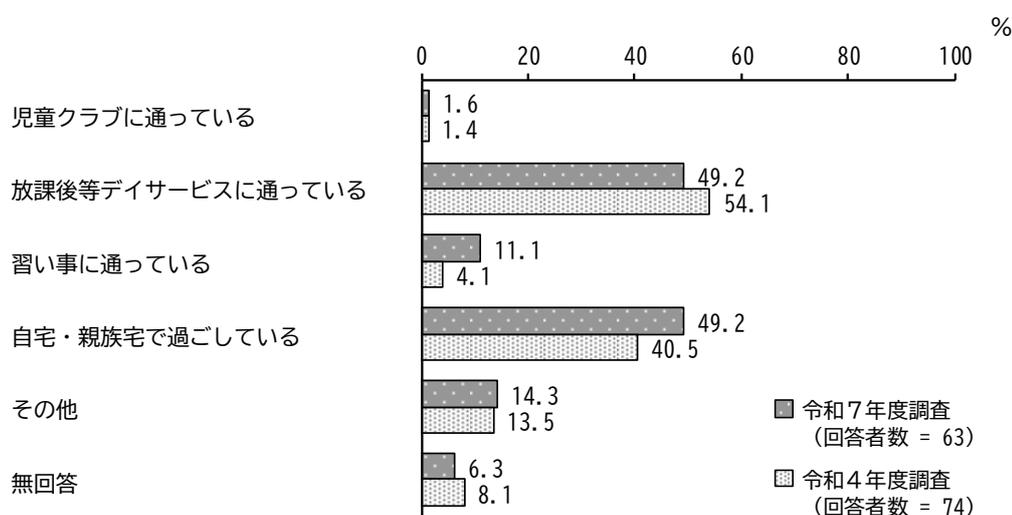
有効回答者がいませんでした。

問 34 で「就園・就学しないで、家にいる」以外を選択した方にお伺いします。

問 36 就学している方へ、放課後はどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「放課後等デイサービスに通っている」、「自宅・親族宅で過ごしている」の割合が 49.2%と最も高く、次いで「習い事に通っている」の割合が 11.1%となっています。

令和 4 年度調査と比較すると、「習い事に通っている」「自宅・親族宅で過ごしている」の割合が増加しています。



【障がい種別】

障がい種別にみると、身体障がい者で「自宅・親族宅で過ごしている」の割合が高く、知的障がい者で「放課後等デイサービスに通っている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	児童クラブに通っている	放課後等デイサービスに通っている	習い事に通っている	自宅・親族宅で過ごしている	その他	無回答
全体	63	1.6	49.2	11.1	49.2	14.3	6.3
身体障がい者	16	0.0	37.5	12.5	62.5	18.8	6.3
知的障がい者	47	2.1	59.6	12.8	44.7	12.8	6.4
精神障がい者	9	0.0	33.3	11.1	44.4	11.1	11.1

【通園・通学状況別】

有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。

単位：％

区分	回答者数(件)	児童クラブに通っている	放課後等デイサービスに通っている	習い事に通っている	自宅・親族宅で過ごしている	その他	無回答
全体	16	0.0	37.5	12.5	62.5	18.8	6.3
小学校（普通学級・特別支援学級）・小学部	4	0.0	75.0	50.0	50.0	0.0	0.0
中学校（普通学級・特別支援学級）・中学部	5	0.0	40.0	0.0	80.0	0.0	0.0
高等学校（普通学級・特別支援学級）・高等部	5	0.0	20.0	0.0	60.0	60.0	0.0

【通園・通学状況別】

通園・通学状況別にみると、小学校（普通学級・特別支援学級）・小学部で「児童クラブに通っている」「放課後等デイサービスに通っている」、高等学校（普通学級・特別支援学級）・高等部で「習い事に通っている」、中学校（普通学級・特別支援学級）・中学部で「自宅・親族宅で過ごしている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	児童クラブに通っている	放課後等デイサービスに通っている	習い事に通っている	自宅・親族宅で過ごしている	その他	無回答
全体	47	2.1	59.6	12.8	44.7	12.8	6.4
小学校（普通学級・特別支援学級）・小学部	14	7.1	92.9	14.3	35.7	0.0	0.0
中学校（普通学級・特別支援学級）・中学部	15	0.0	53.3	13.3	53.3	20.0	0.0
高等学校（普通学級・特別支援学級）・高等部	11	0.0	63.6	18.2	36.4	27.3	0.0

【通園・通学状況別】

有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。

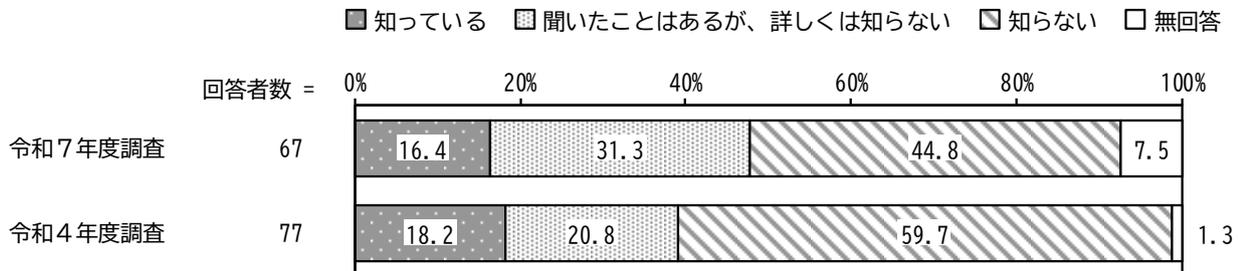
単位：％

区分	回答者数(件)	児童クラブに通っている	放課後等デイサービスに通っている	習い事に通っている	自宅・親族宅で過ごしている	その他	無回答
全体	9	0.0	33.3	11.1	44.4	11.1	11.1
小学校（普通学級・特別支援学級）・小学部	1	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
中学校（普通学級・特別支援学級）・中学部	4	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0
高等学校（普通学級・特別支援学級）・高等部	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 37 日中一時支援事業を知っていますか。(1つ○をつけてください。)

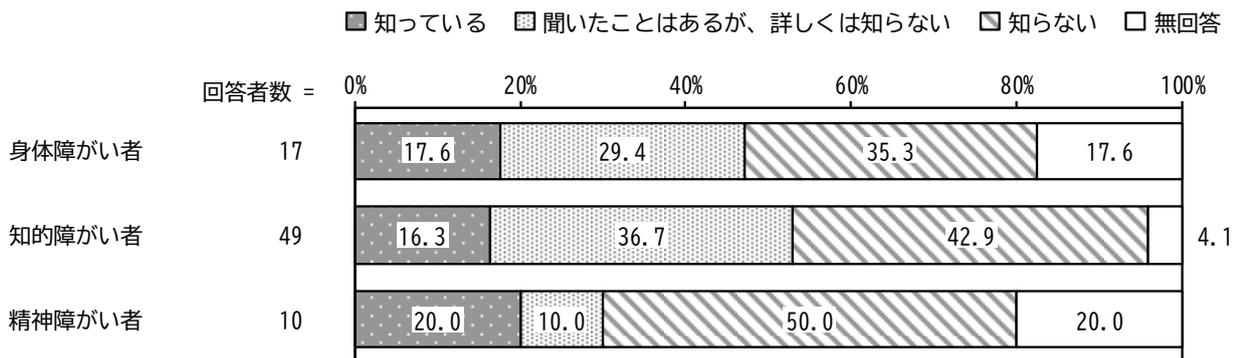
「知っている」の割合が16.4%、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」の割合が31.3%、「知らない」の割合が44.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」の割合が増加しています。一方、「知らない」の割合が減少しています。



【障がい種別】

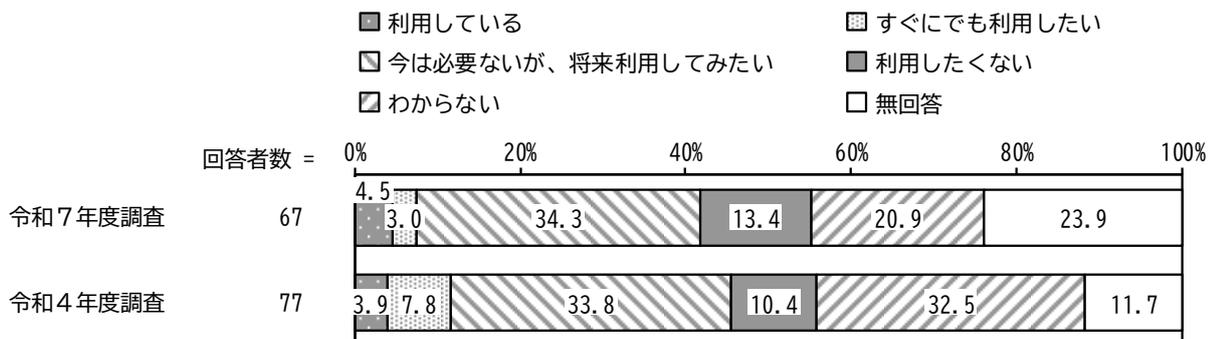
障がい種別にみると、知的障がい者で「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」、精神障がい者で「知らない」の割合が高くなっています。



利用してみたいと思いますか。(1つ○をつけてください。)

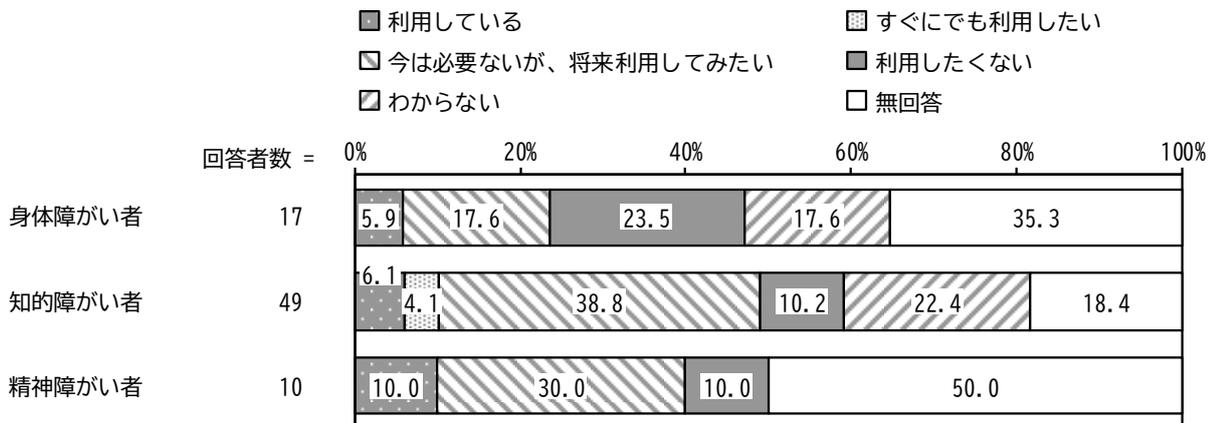
「今は必要ないが、将来利用してみたい」の割合が34.3%と最も高く、次いで「利用したくない」の割合が13.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【障がい種別】

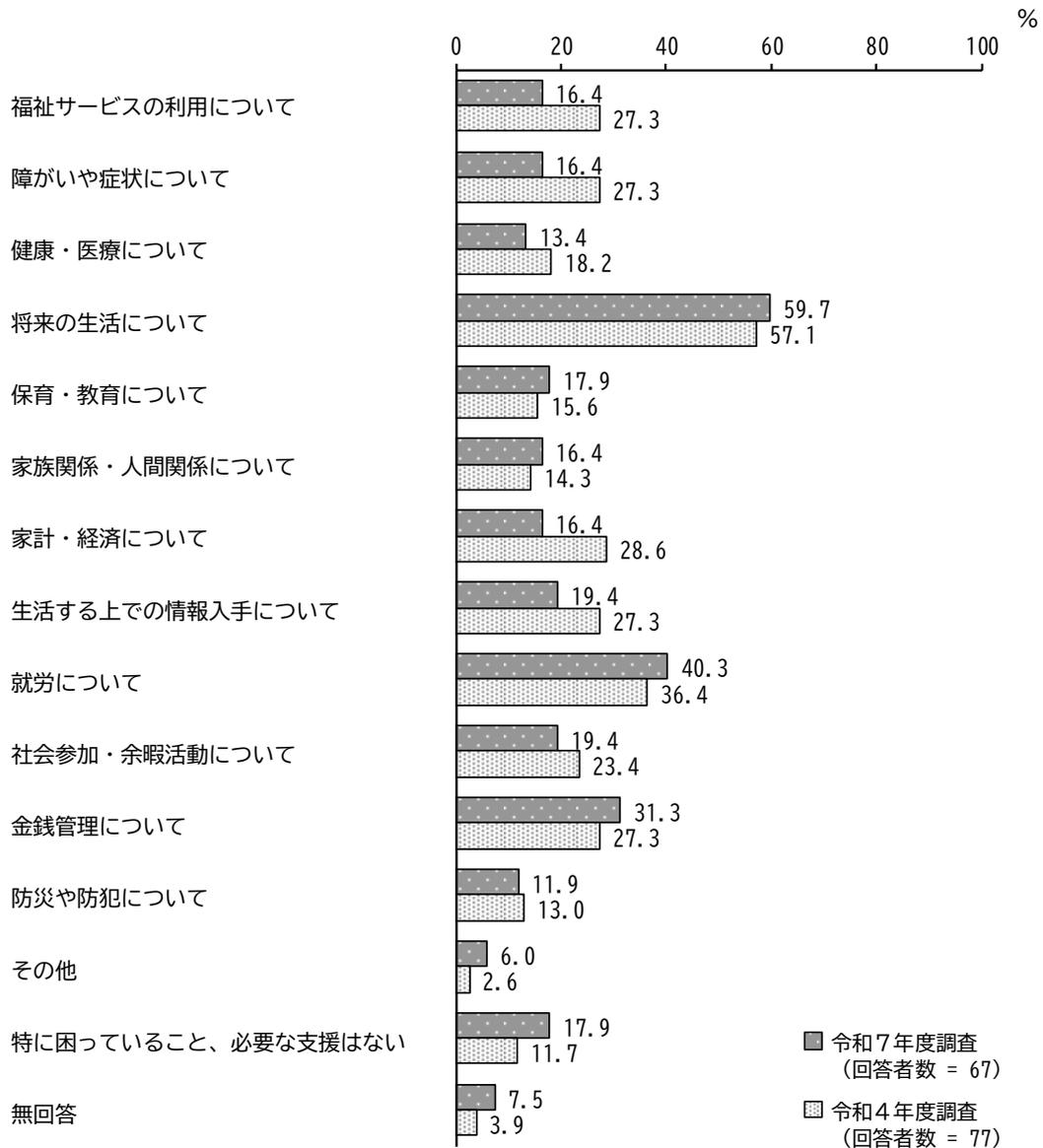
障がい種別にみると、身体障がい者で「利用したくない」の割合が高く、「今は必要ないが、将来利用してみたい」の割合が低くなっています。



問 38 困っていること、必要な支援はありますか。(あてはまるものすべてに○)

「将来の生活について」の割合が 59.7%と最も高く、次いで「就労について」の割合が 40.3%、「金銭管理について」の割合が 31.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「福祉サービスの利用について」「障がいや症状について」「家計・経済について」「生活する上での情報入手について」の割合が減少しています。



【障がい種別】

障がい種別にみると、知的障がい者で「福祉サービスの利用について」「健康・医療について」「家計・経済について」「社会参加・余暇活動について」「金銭管理について」、精神障がい者で「将来の生活について」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	福祉サービスの利用について	障がいや症状について	健康・医療について	将来の生活について	保育・教育について	家族関係・人間関係について	家計・経済について
全体	67	16.4	16.4	13.4	59.7	17.9	16.4	16.4
身体障がい者	17	11.8	11.8	5.9	47.1	11.8	5.9	5.9
知的障がい者	49	22.4	20.4	18.4	65.3	20.4	18.4	22.4
精神障がい者	10	0.0	20.0	0.0	70.0	0.0	10.0	0.0

区分	生活する上で情報入手について	就労について	社会参加・余暇活動について	金銭管理について	防災や防犯について	その他	特に困っていること、必要な支援はない	無回答
全体	19.4	40.3	19.4	31.3	11.9	6.0	17.9	7.5
身体障がい者	11.8	23.5	5.9	17.6	5.9	17.6	35.3	5.9
知的障がい者	22.4	44.9	24.5	36.7	16.3	6.1	8.2	8.2
精神障がい者	20.0	30.0	20.0	20.0	10.0	10.0	0.0	10.0

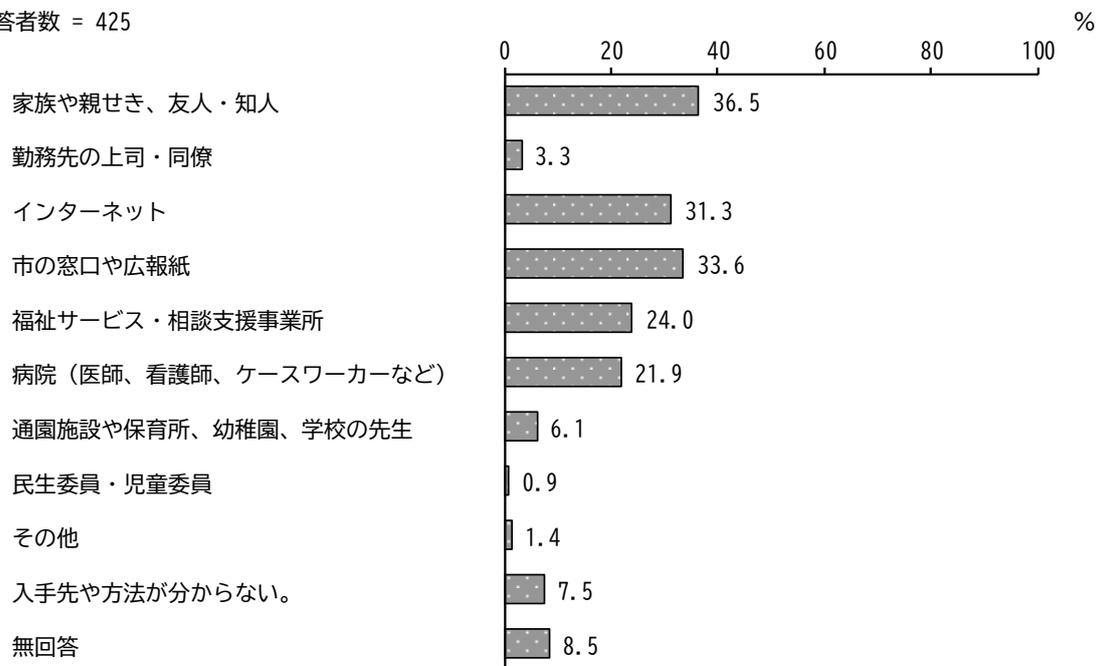
福祉サービス等の利用について

ここからはすべての方にお伺いします。

問 39 あなたは福祉サービスに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

「家族や親せき、友人・知人」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「市の窓口や広報紙」の割合が 33.6%、「インターネット」の割合が 31.3%となっています。

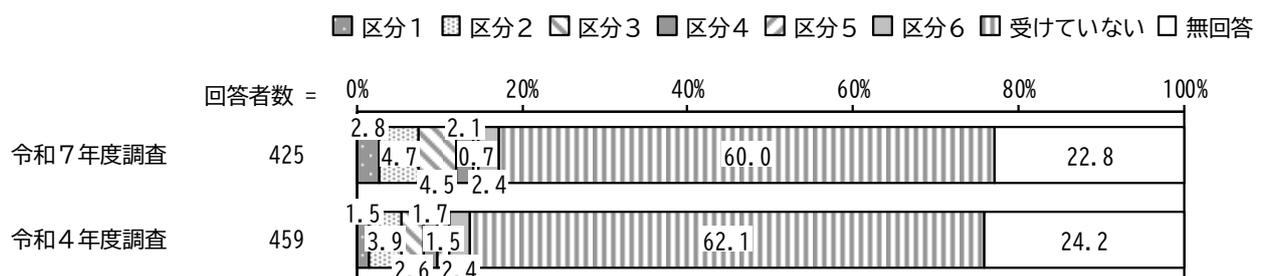
回答者数 = 425



問 40 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

「区分2」の割合が 4.7%と最も高くなっています。

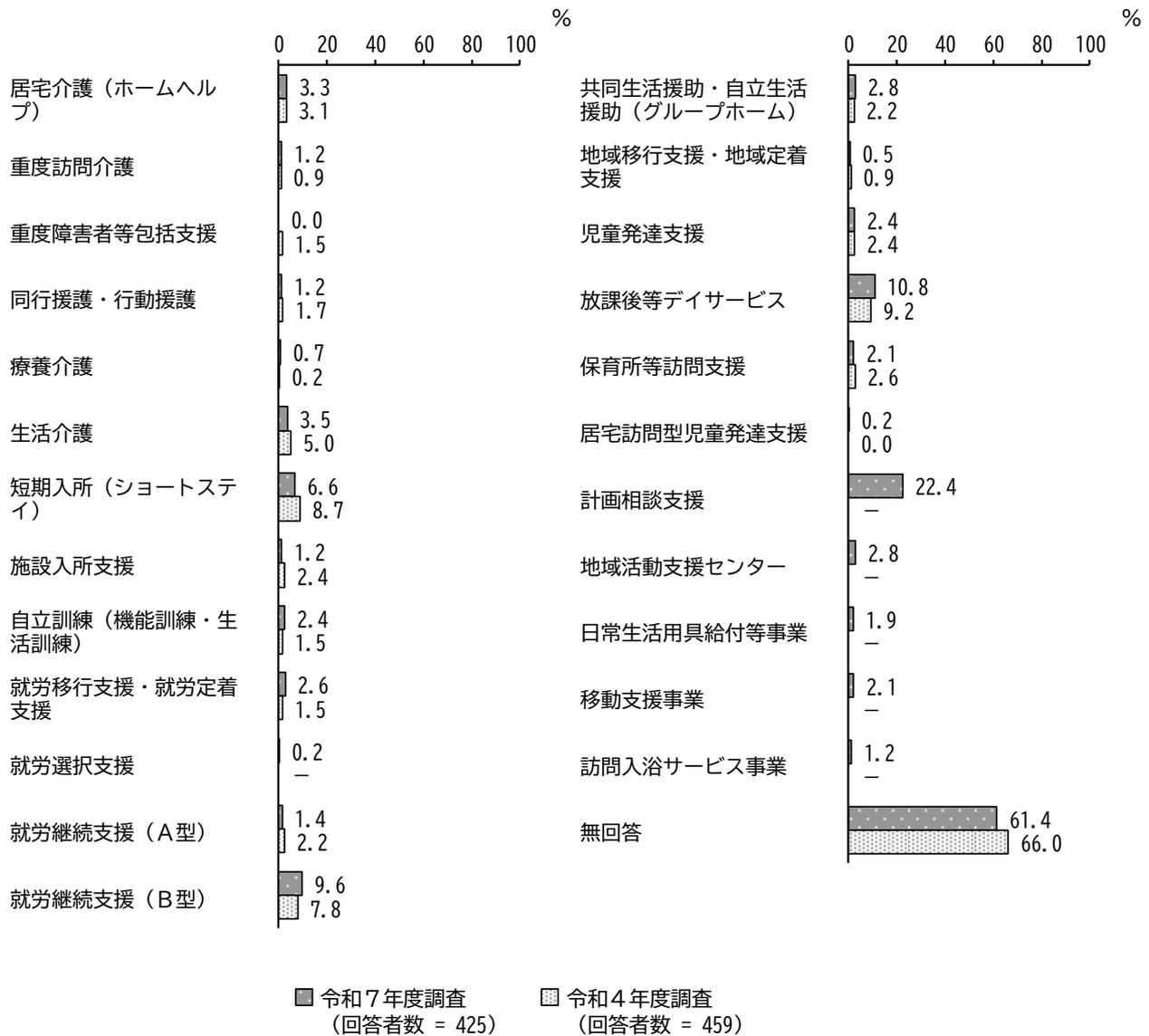
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 41 ①現在利用しているサービスはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「計画相談支援」の割合が 22.4%と最も高く、次いで「放課後等デイサービス」の割合が 10.8%となっています。

令和 4 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※令和 4 年度調査では、「就労選択支援」、「計画相談支援」、「地域活動支援センター」、「日常生活用具給付等事業」、「移動支援事業」、「訪問入浴サービス事業」がありませんでした。

【障がい種別】

障がい種別にみると、知的障がい者で「生活介護」「短期入所（ショートステイ）」「就労継続支援（B型）」「放課後等デイサービス」「計画相談支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	居宅介護（ホームヘルプ）	重度訪問介護	重度障害者等包括支援	同行援護・行動援護	療養介護	生活介護	短期入所（ショートステイ）	施設入所支援	自立訓練（機能訓練・生活訓練）	就労移行支援・就労定着支援	就労選択支援	就労継続支援（A型）
全 体	425	3.3	1.2	0.0	1.2	0.7	3.5	6.6	1.2	2.4	2.6	0.2	1.4
身体障がい者	182	3.8	2.7	0.0	1.1	1.6	3.3	3.3	1.1	3.3	0.0	0.0	0.5
知的障がい者	138	3.6	0.7	0.0	2.2	1.4	9.4	13.0	2.2	0.7	0.7	0.0	0.7
精神障がい者	138	4.3	1.4	0.0	0.7	2.2	2.2	2.9	2.2	5.1	7.2	0.0	2.9

区分	就労継続支援（B型）	共同生活援助・自立生活援助（グループホーム）	地域移行支援・地域定着支援	児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	居宅訪問型児童発達支援	計画相談支援	地域活動支援センター	日常生活用具給付等事業	移動支援事業	訪問入浴サービス事業	無回答
全 体	9.6	2.8	0.5	2.4	10.8	2.1	0.2	22.4	2.8	1.9	2.1	1.2	61.4
身体障がい者	3.3	2.2	0.5	0.5	6.0	1.1	0.0	11.0	2.2	4.4	2.2	2.7	72.5
知的障がい者	16.7	6.5	0.7	6.5	29.0	6.5	0.7	47.8	3.6	1.4	5.1	0.7	31.9
精神障がい者	10.9	2.2	1.4	0.0	5.1	0.7	0.0	20.3	3.6	0.7	2.2	1.4	61.6

②今後3年以内のサービス利用について、お答えください。(あてはまるものすべてに○)

障害福祉サービス

『計画相談支援』で「現在と同じ程度に利用したい」「利用するつもりはない、またはわからない」が、『短期入所（ショートステイ）』で「現在より利用を増やしたい、新規に利用したい」が高くなっています。

- 現在と同じ程度に利用したい
- ▨ 現在より利用を増やしたい、新規に利用したい
- 利用するつもりはない、またはわからない
- 無回答

回答者数 = 425

居宅介護（ホームヘルプ）

重度訪問介護

重度障害者等包括支援

同行援護・行動援護

療養介護

生活介護

短期入所（ショートステイ）

施設入所支援

自立訓練（機能訓練・生活訓練）

就労移行支援・就労定着支援

就労選択支援

就労継続支援（A型）

就労継続支援（B型）

共同生活援助・自立生活援助
（グループホーム）

地域移行支援・地域定着支援

障害児通所支援 児童発達支援

放課後等デイサービス

保育所等訪問支援

居宅訪問型児童発達支援

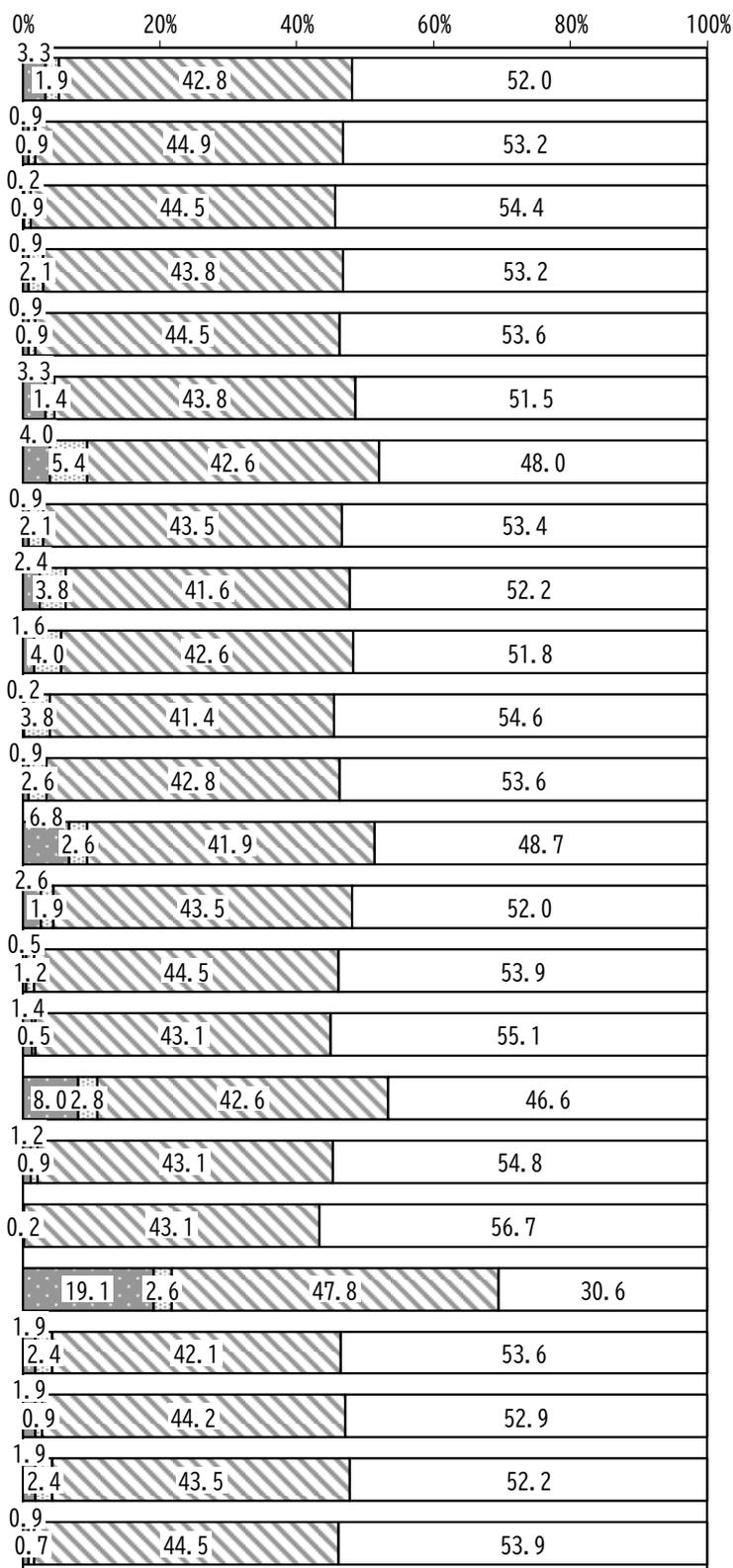
計画相談支援

地域活動支援センター

日常生活用具給付等事業

移動支援事業

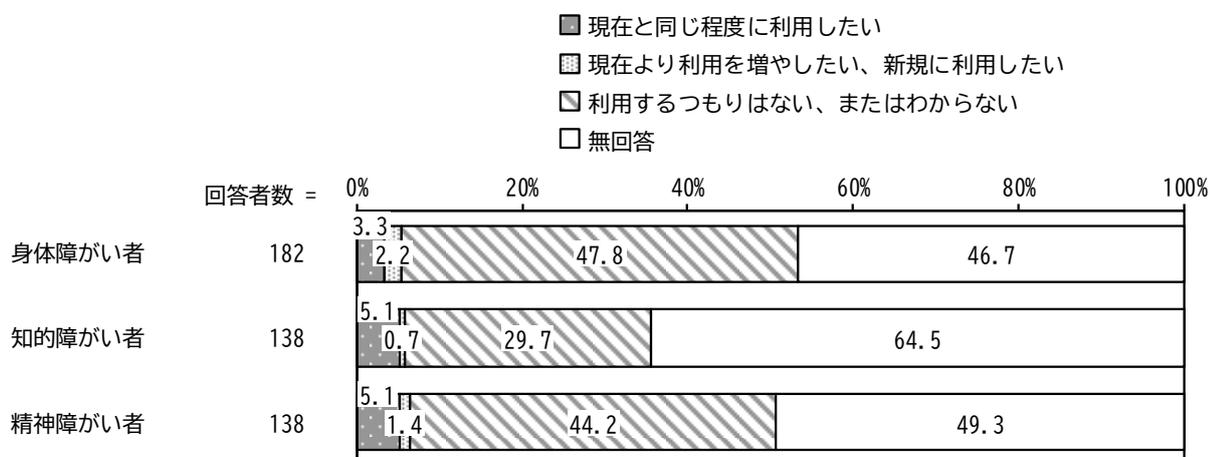
訪問入浴サービス事業



居宅介護（ホームヘルプ）

【障がい種別】

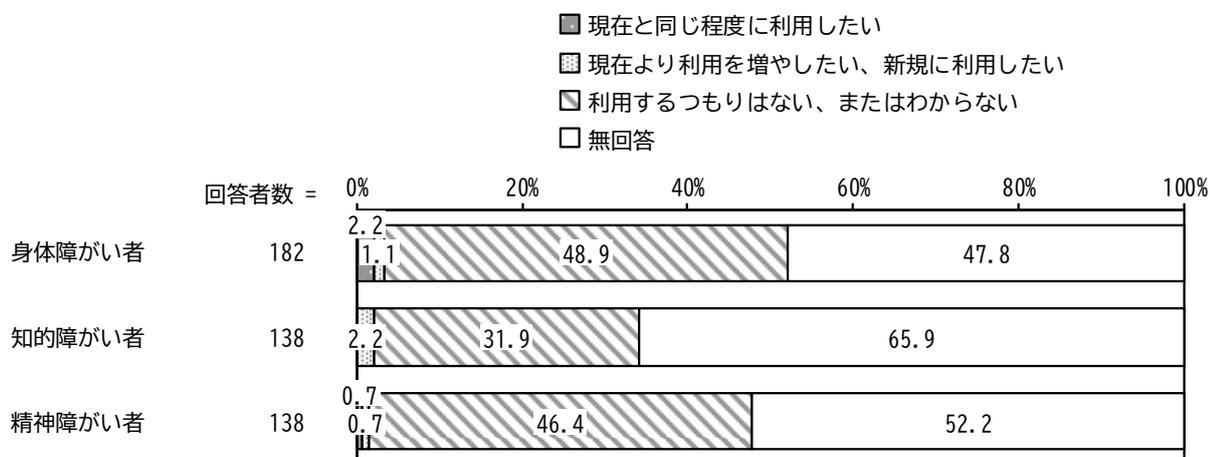
障がい種別にみると、身体障がい者で「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が高くなっています。



重度訪問介護

【障がい種別】

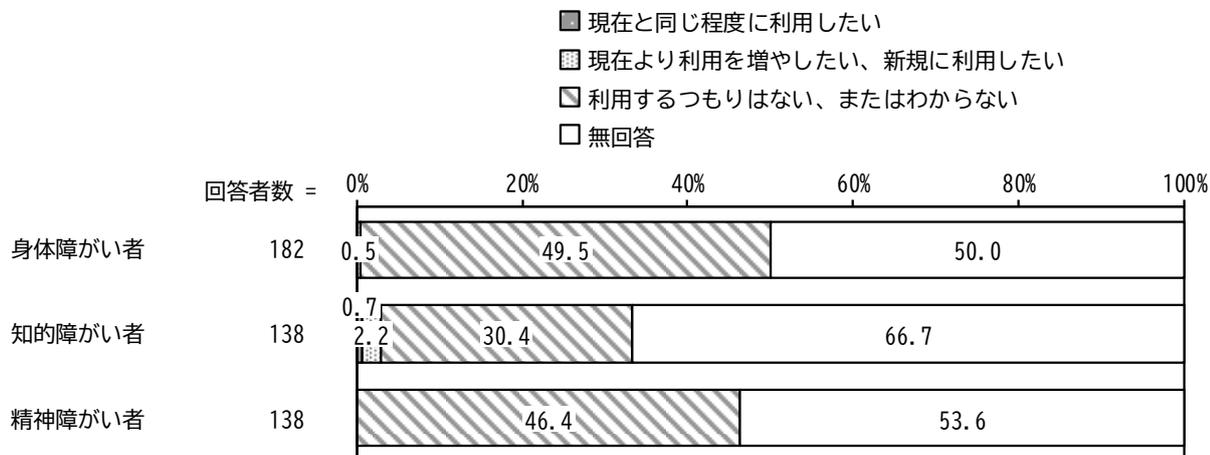
障がい種別にみると、知的障がい者で「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が低くなっています。



重度障害者等包括支援

【障がい種別】

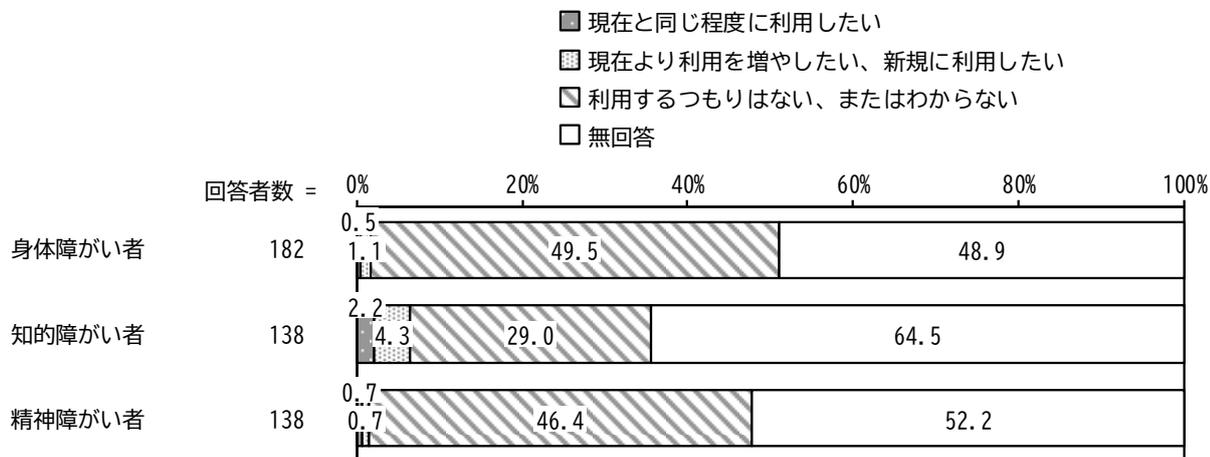
障がい種別にみると、身体障がい者で「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が高くなっています。



同行援護・行動援護

【障がい種別】

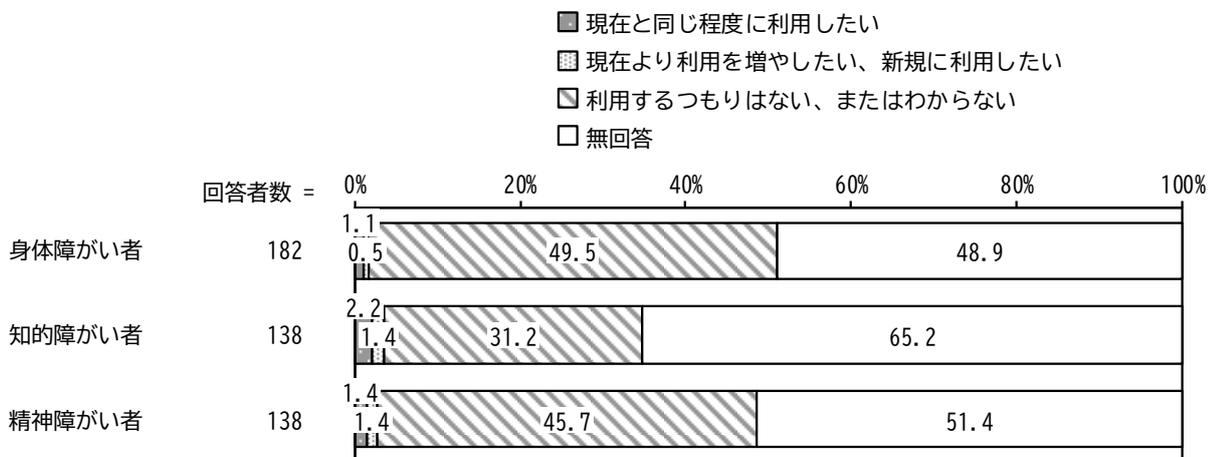
障がい種別にみると、身体障がい者で「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が高くなっています。



療養介護

【障がい種別】

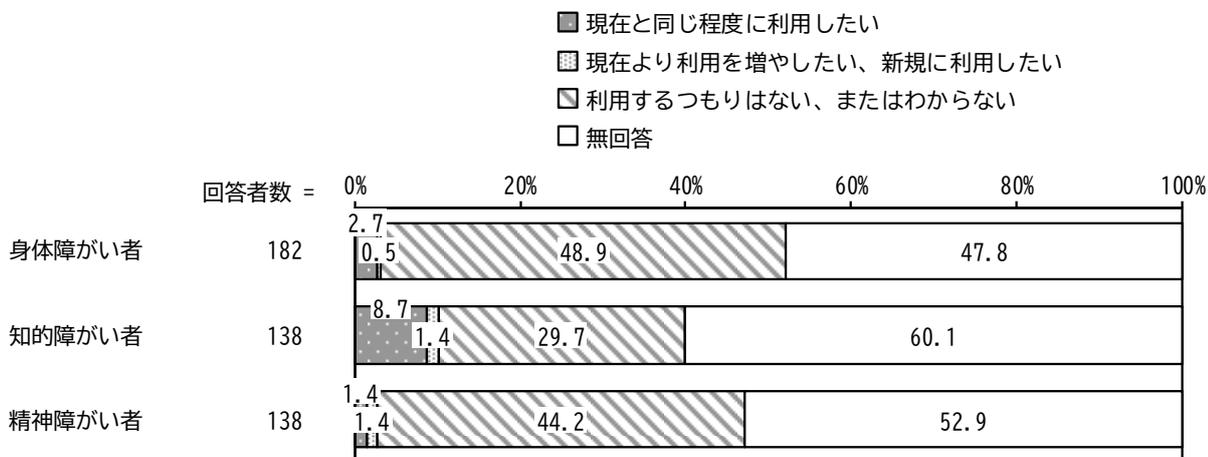
障がい種別にみると、身体障がい者で「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が高くなっています。



生活介護

【障がい種別】

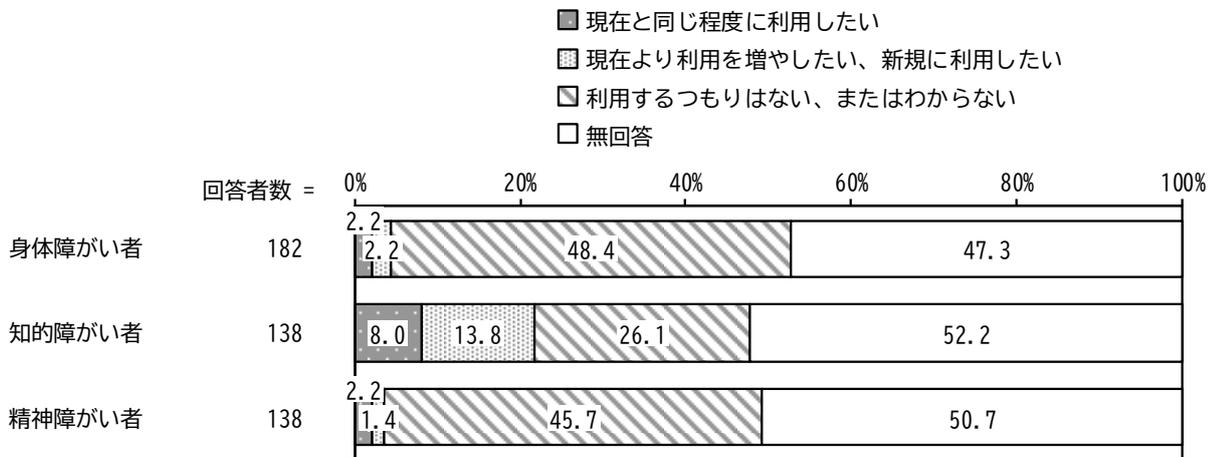
障がい種別にみると、知的障がい者で「現在と同じ程度に利用したい」、身体障がい者で「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が高くなっています。



短期入所（ショートステイ）

【障がい種別】

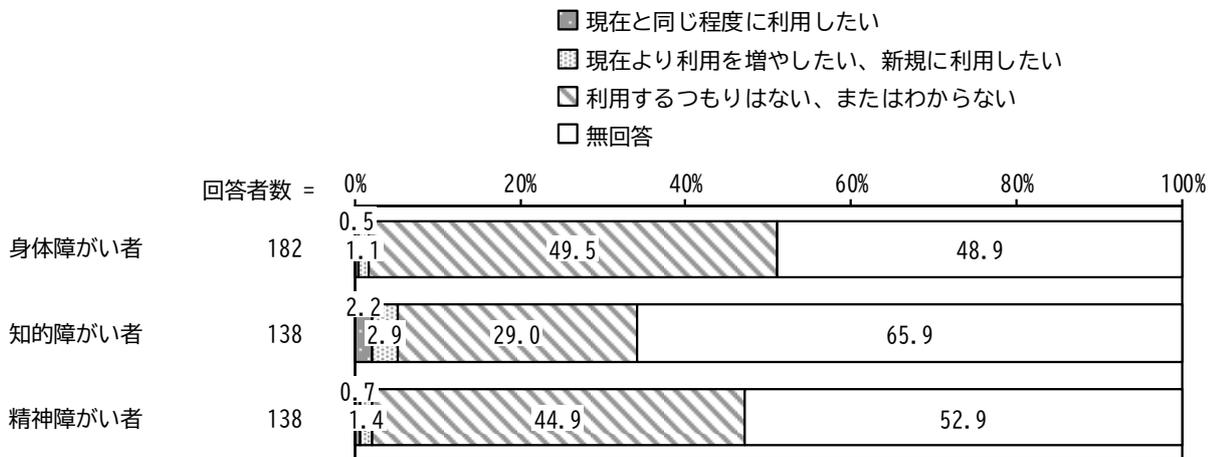
障がい種別にみると、知的障がい者で「現在より利用を増やしたい、新規に利用したい」、身体障がい者で「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が高くなっています。



施設入所支援

【障がい種別】

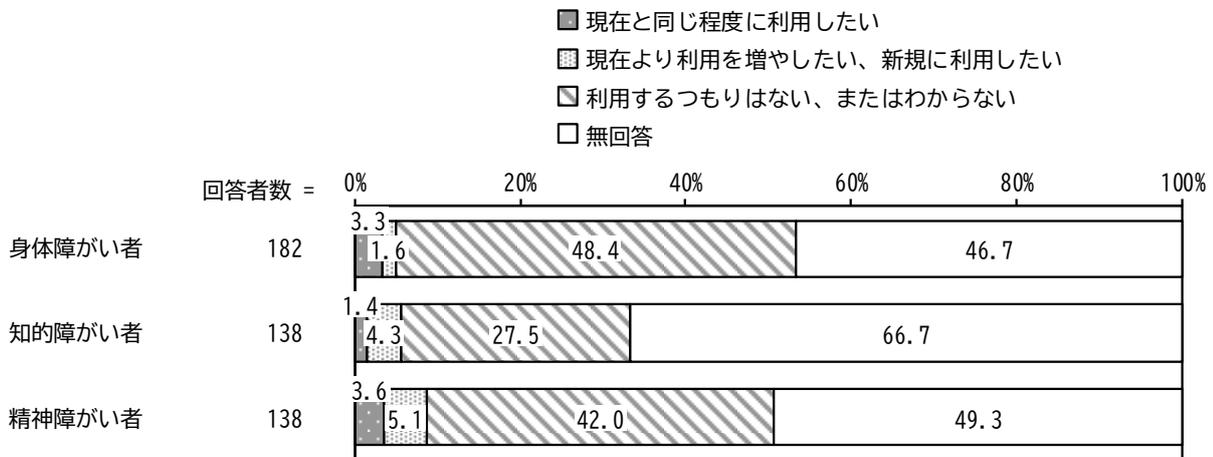
障がい種別にみると、身体障がい者で「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が高くなっています。



自立訓練（機能訓練・生活訓練）

【障がい種別】

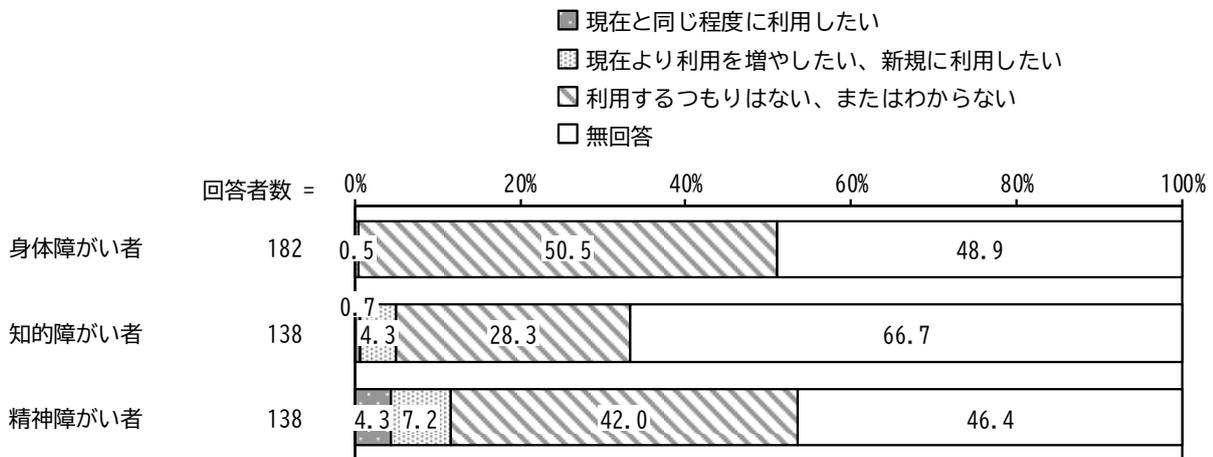
障がい種別にみると、身体障がい者で「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が高くなっています。



就労移行支援・就労定着支援

【障がい種別】

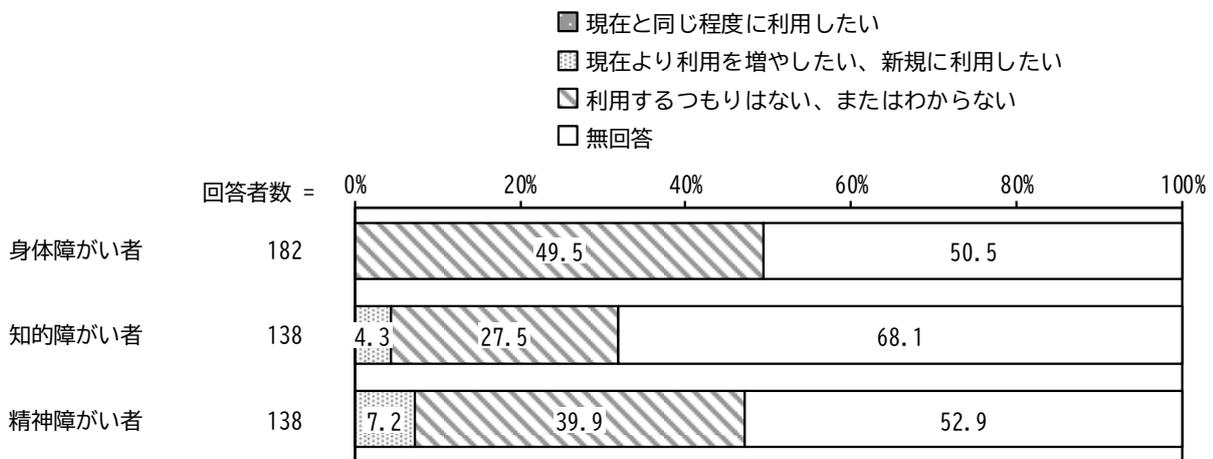
障がい種別にみると、身体障がい者で「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が高くなっています。



就労選択支援

【障がい種別】

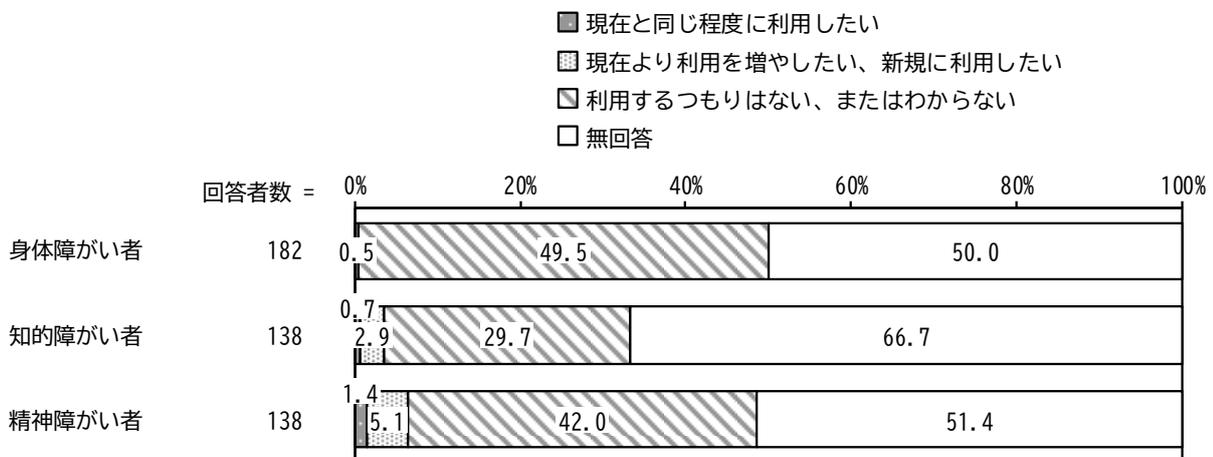
障がい種別にみると、身体障がい者で「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が高くなっています。



就労継続支援（A型）

【障がい種別】

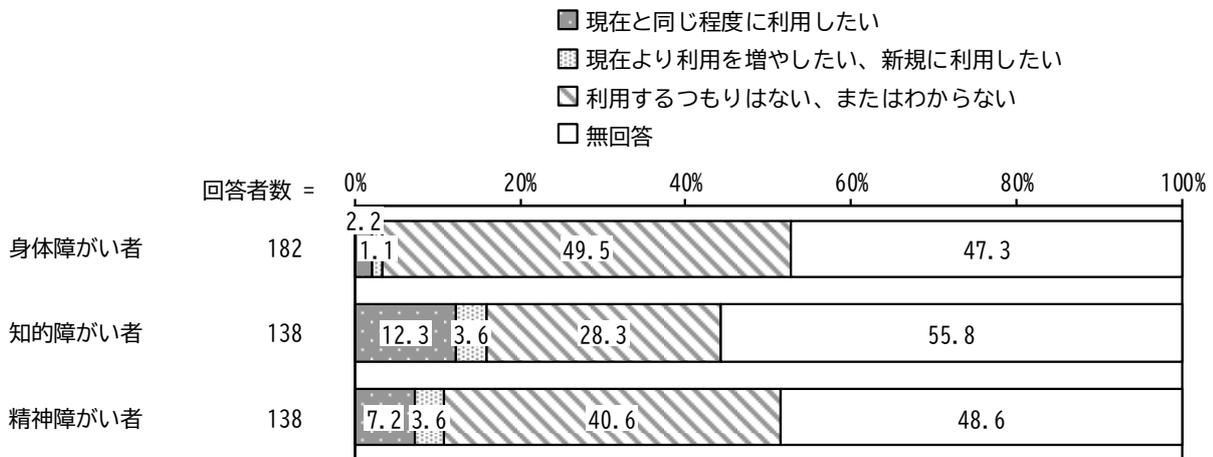
障がい種別にみると、身体障がい者で「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が高くなっています。



就労継続支援（B型）

【障がい種別】

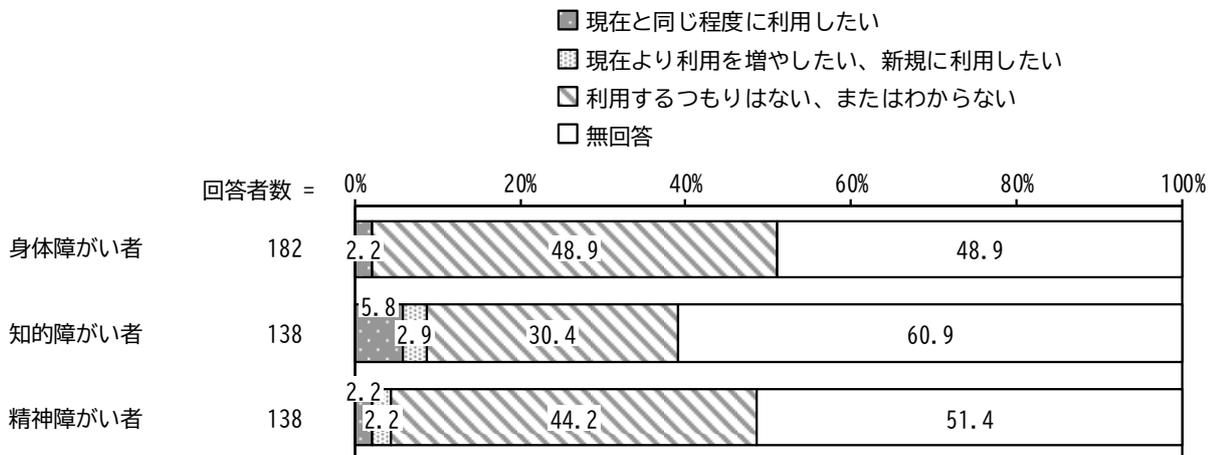
障がい種別にみると、知的障がい者で「現在と同じ程度に利用したい」、身体障がい者で「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が高くなっています。



共同生活援助・自立生活援助（グループホーム）

【障がい種別】

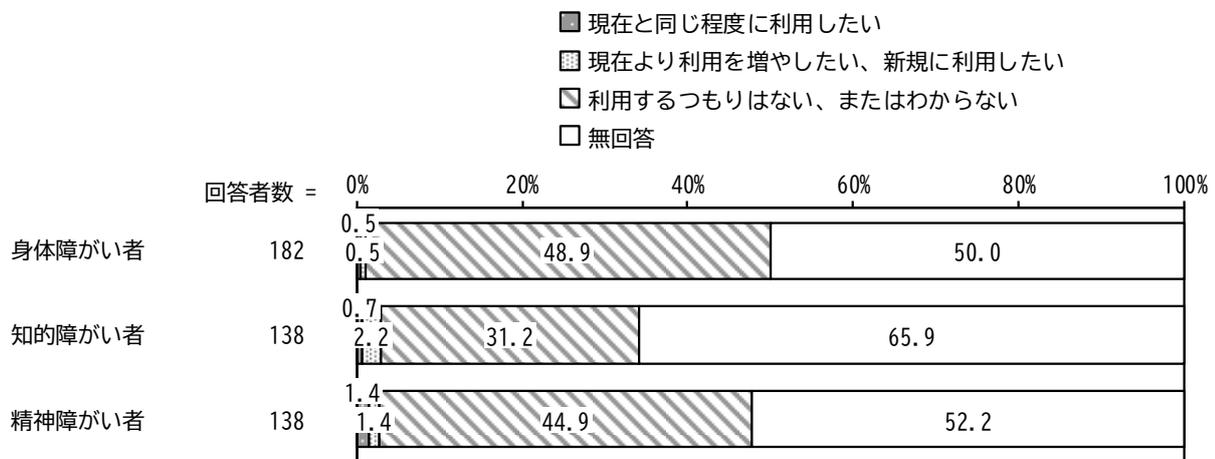
障がい種別にみると、身体障がい者で「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が高くなっています。



地域移行支援・地域定着支援

【障がい種別】

障がい種別にみると、知的障がい者で「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が低くなっています。

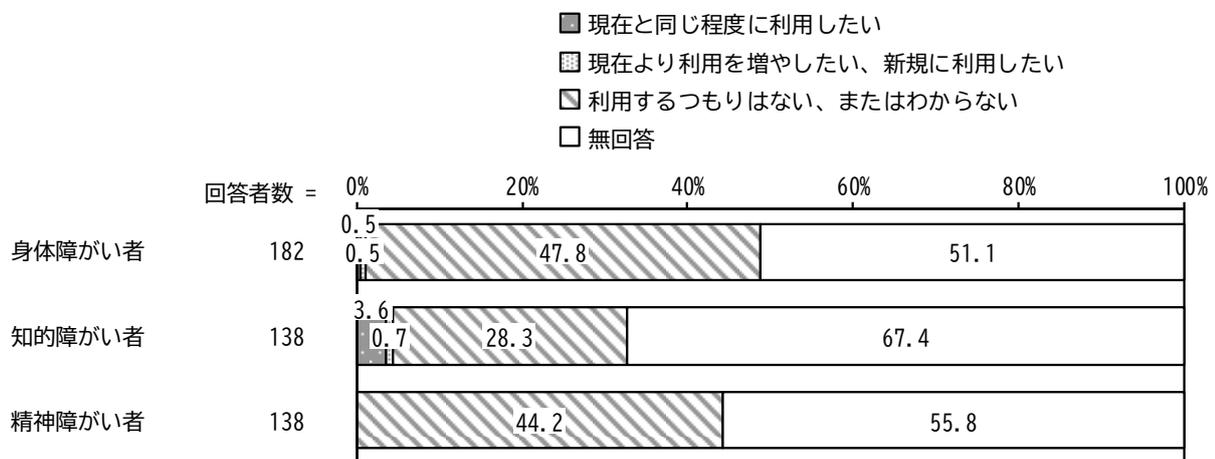


障害児通所支援

児童発達支援

【障がい種別】

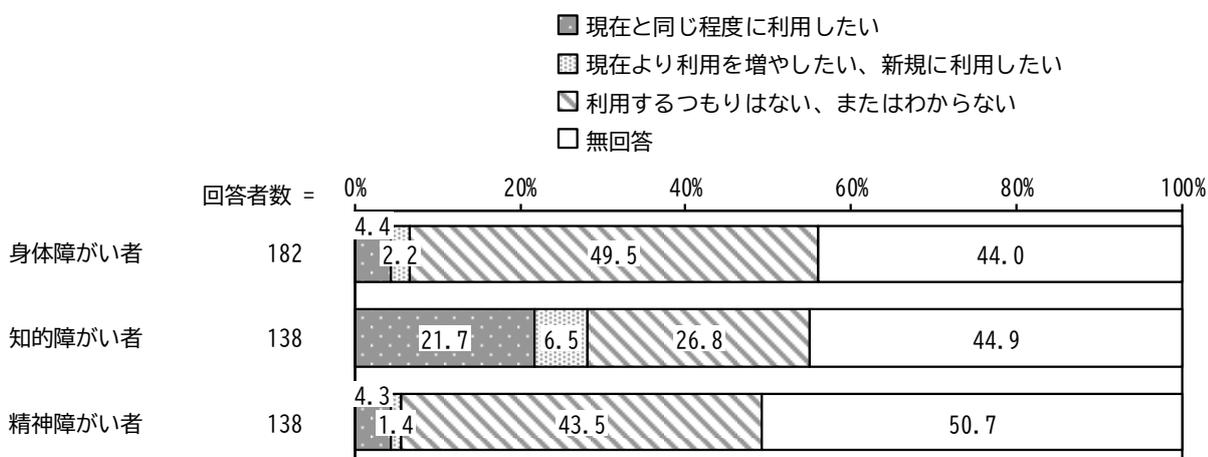
障がい種別にみると、知的障がい者で「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が低くなっています。



放課後等デイサービス

【障がい種別】

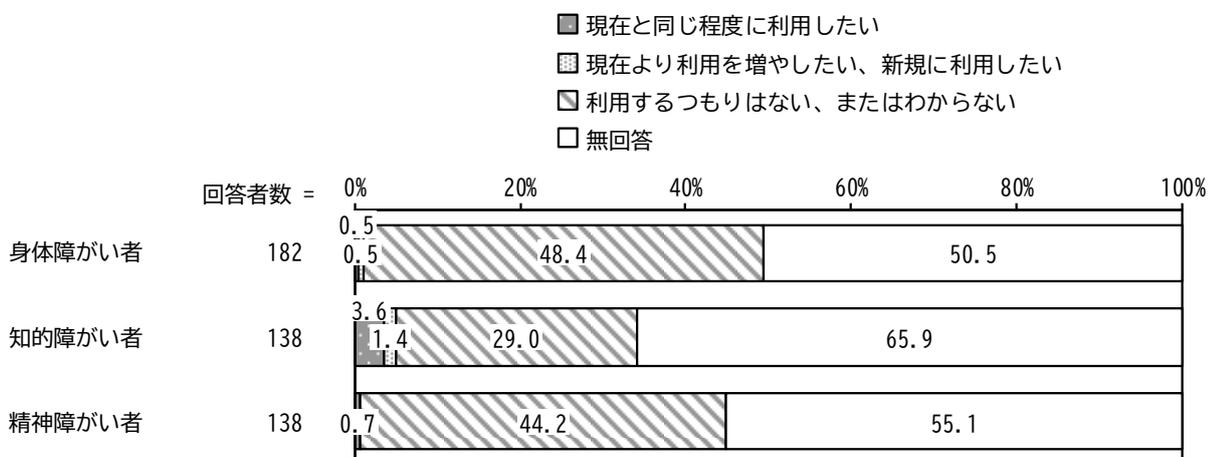
障がい種別にみると、知的障がい者で「現在と同じ程度に利用したい」の割合が高く、「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が低くなっています。



保育所等訪問支援

【障がい種別】

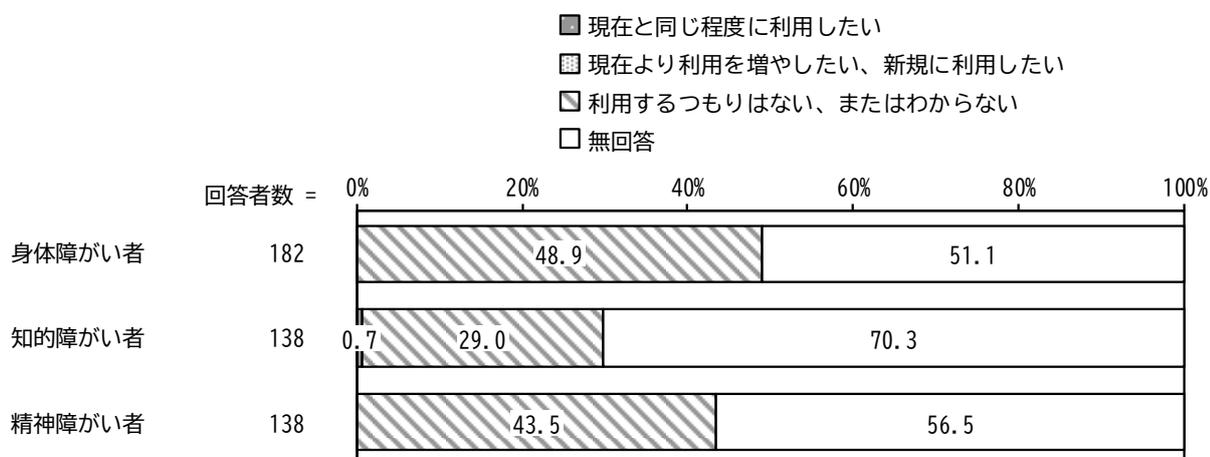
障がい種別にみると、身体障がい者で「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が高くなっています。



居宅訪問型児童発達支援

【障がい種別】

障がい種別にみると、身体障がい者で「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が高くなっています。

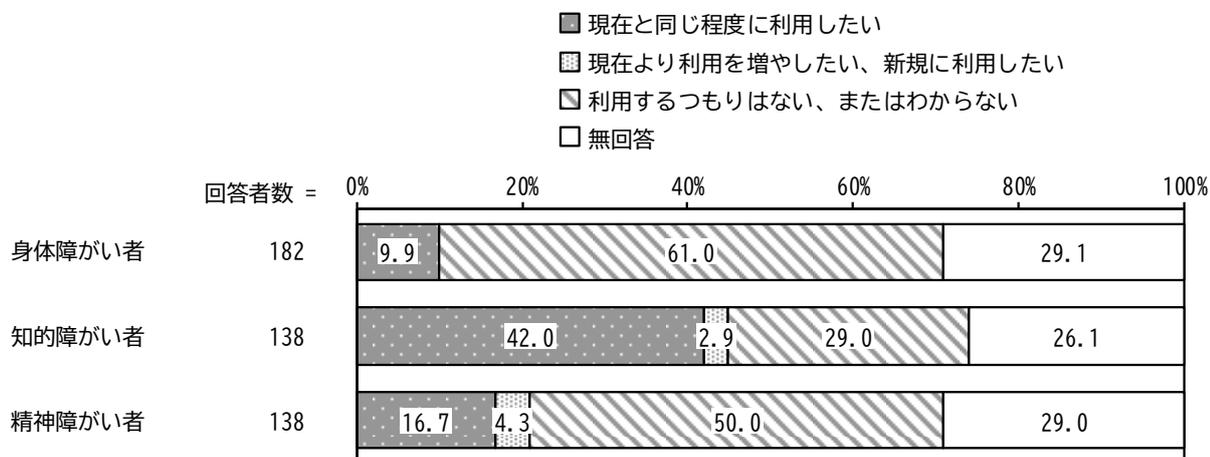


相談支援

計画相談支援

【障がい種別】

障がい種別にみると、知的障がい者で「現在と同じ程度に利用したい」、身体障がい者で「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が高くなっています。

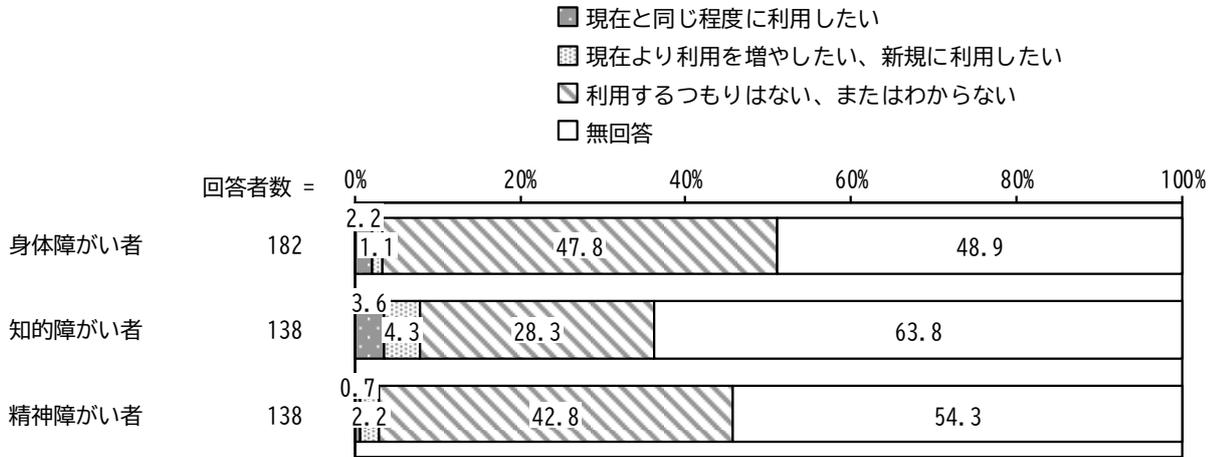


その他

地域活動支援センター

【障がい種別】

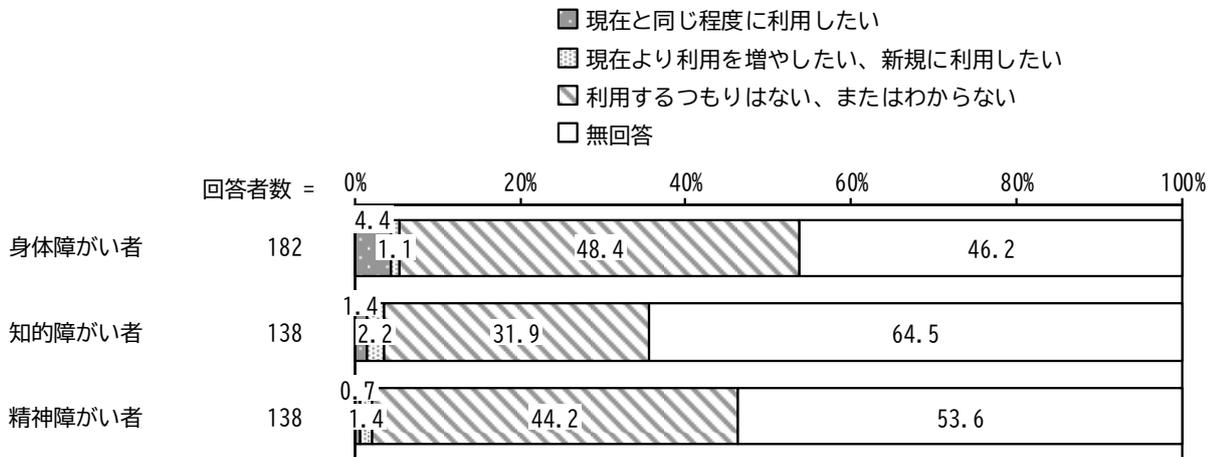
障がい種別にみると、身体障がい者で「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が高くなっています。



日常生活用具給付等事業

【障がい種別】

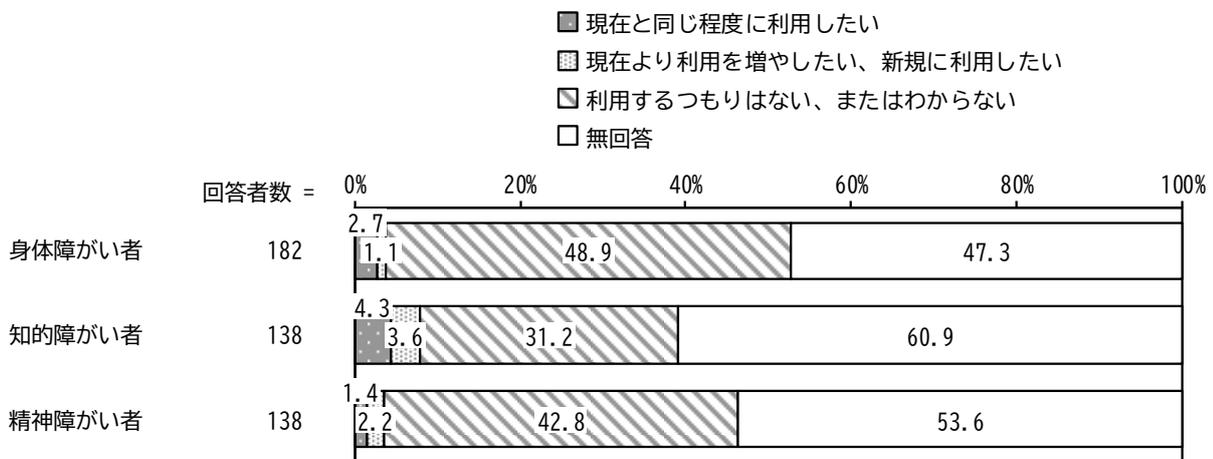
障がい種別にみると、知的障がい者で「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が低くなっています。



移動支援事業

【障がい種別】

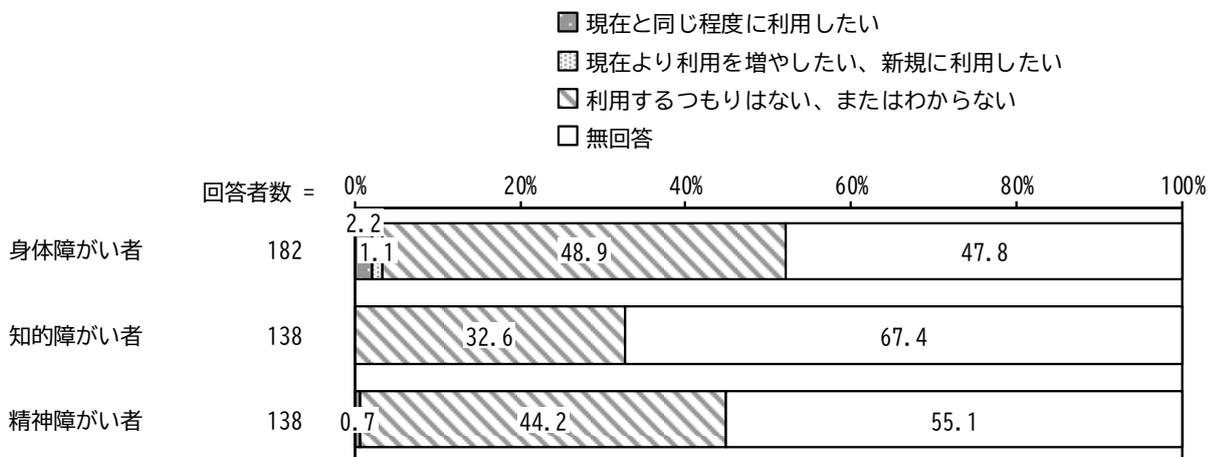
障がい種別にみると、身体障がい者で「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が高くなっています。



訪問入浴サービス事業

【障がい種別】

障がい種別にみると、知的障がい者で「利用するつもりはない、またはわからない」の割合が低くなっています。

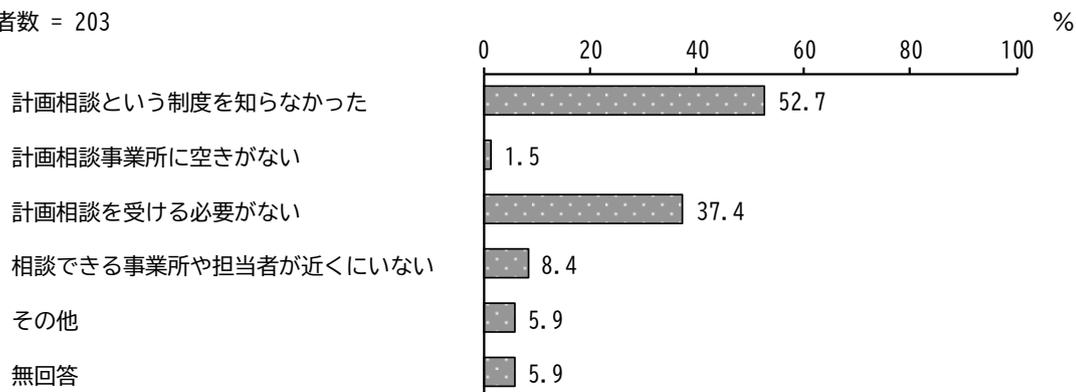


問 41②で「計画相談支援」を「利用するつもりはない、またはわからない」と選択した方にお伺いします。

問 42 計画相談支援を利用しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「計画相談という制度を知らなかった」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「計画相談を受ける必要がない」の割合が 37.4%となっています。

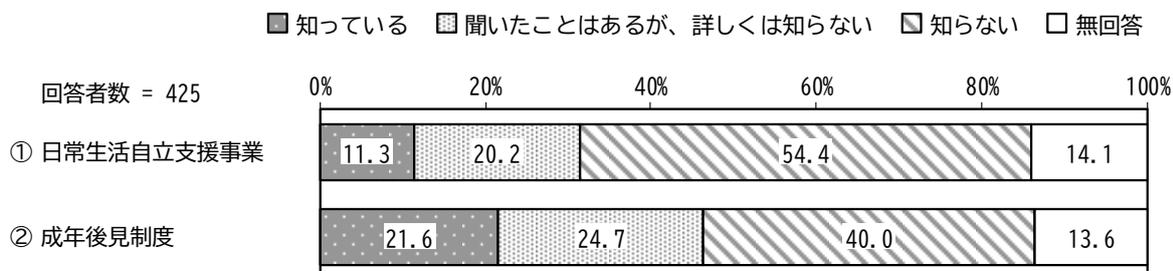
回答者数 = 203



権利擁護について

問 43 福祉サービスの利用手続きや生活費・財産管理のお手伝い等をする制度として、「日常生活自立支援事業」や「成年後見制度」があります。このような制度や事業を知っていますか。(あてはまる答えにそれぞれ1つずつ○をつけてください。)

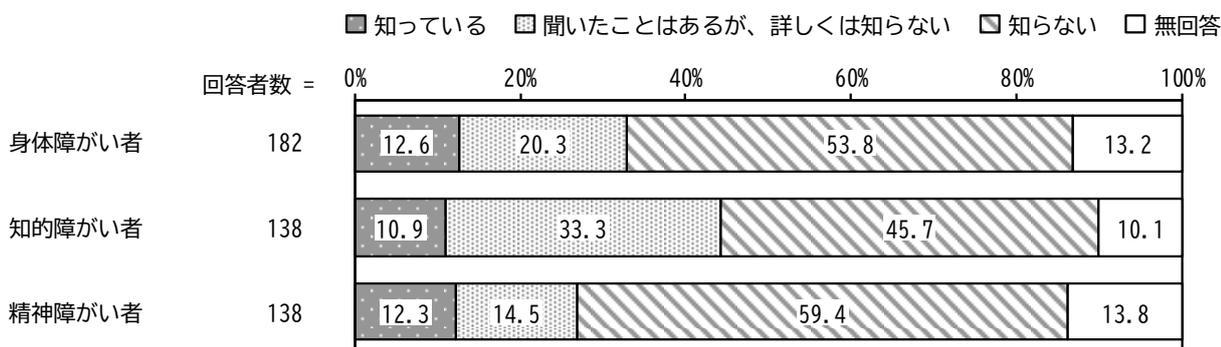
『②成年後見制度』で「知っている」「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が、『①日常生活自立支援事業』で「知らない」が高くなっています。



①日常生活自立支援事業

【障がい種別】

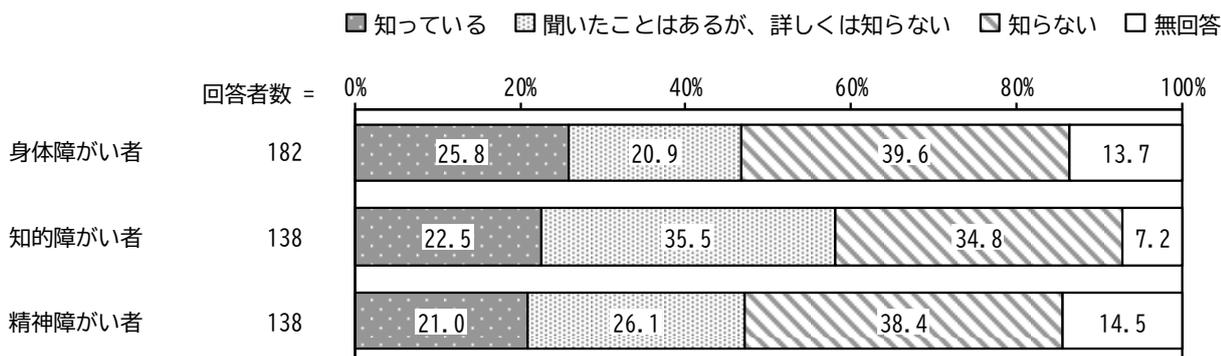
障がい種別にみると、知的障がい者で「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」、精神障がい者で「知らない」の割合が高くなっています。



②成年後見制度

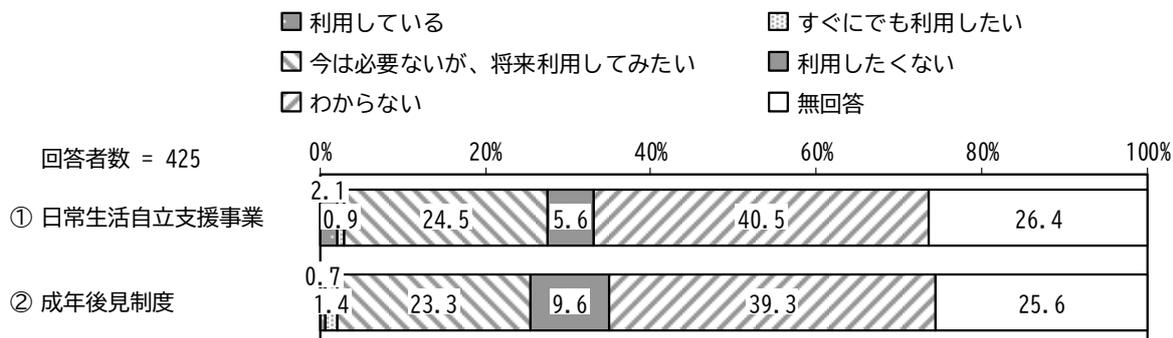
【障がい種別】

障がい種別にみると、知的障がい者で「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」の割合が高くなっています。



利用してみたいと思いますか。(あてはまる答えにそれぞれ1つずつ○をつけてください。)

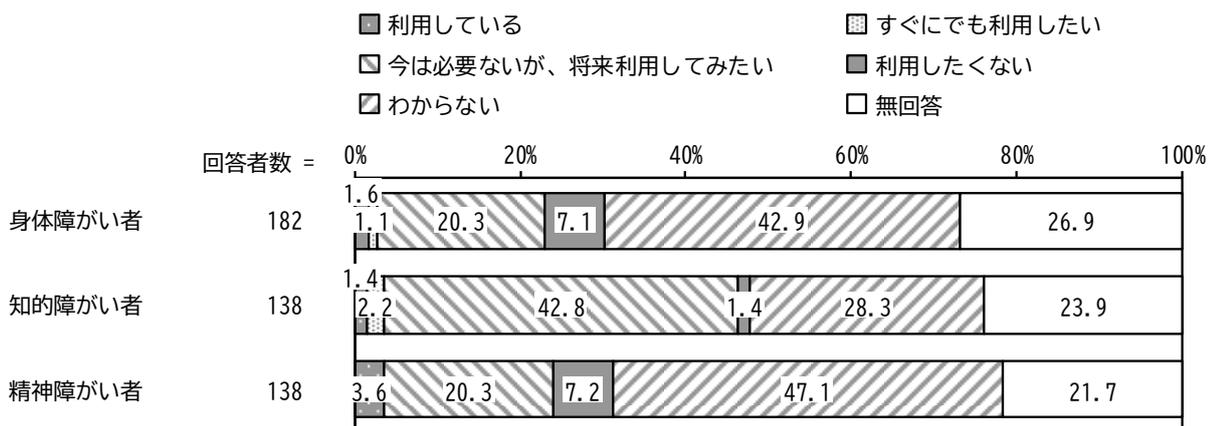
『①日常生活自立支援事業』で「利用している」「今は必要ないが、将来利用してみたい」「わからない」が、『②成年後見制度』で「すぐにでも利用したい」「利用したくない」が高くなっています。



①日常生活自立支援事業

【障がい種別】

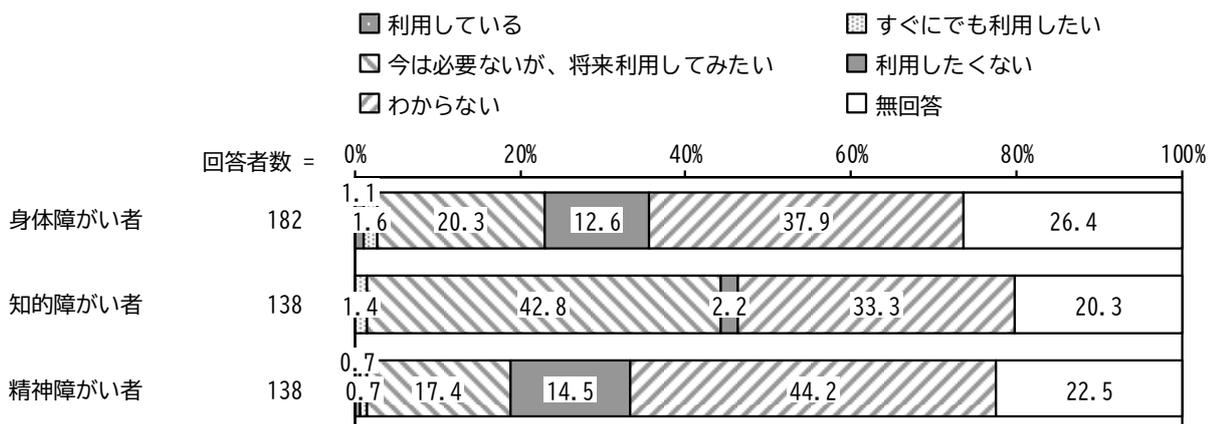
障がい種別にみると、知的障がい者で「今は必要ないが、将来利用してみたい」の割合が高くなっています。



②成年後見制度

【障がい種別】

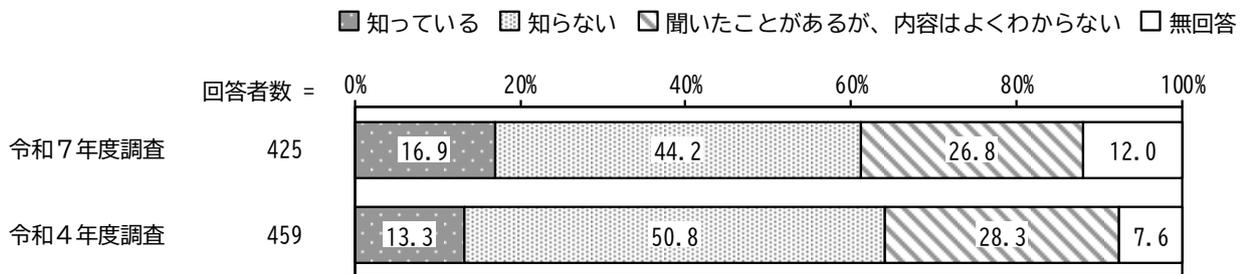
障がい種別にみると、知的障がい者で「今は必要ないが、将来利用してみたい」の割合が高くなっています。



問 44 障がい児・障がい者の虐待通報・相談窓口について知っていますか。(○は1つだけ)

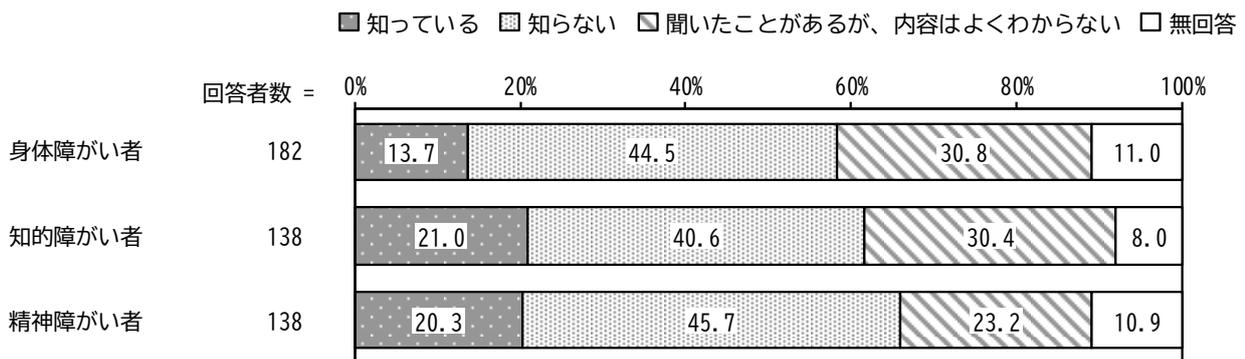
「知っている」の割合が16.9%、「知らない」の割合が44.2%、「聞いたことがあるが、内容はよくわからない」の割合が26.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「知らない」の割合が減少しています。



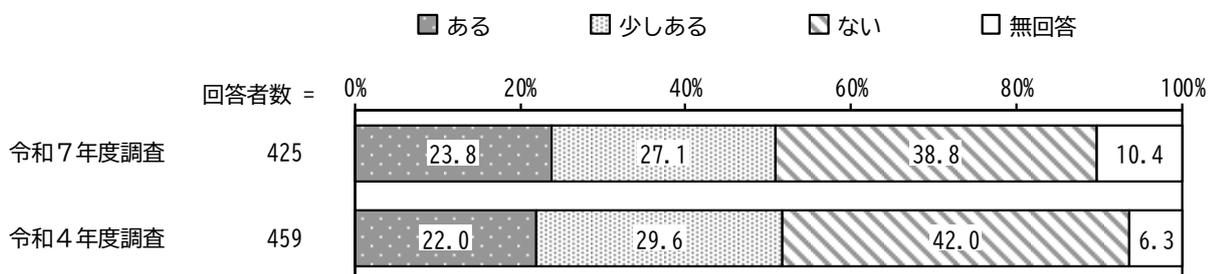
【障がい種別】

障がい種別にみると、大きな差はみられません。



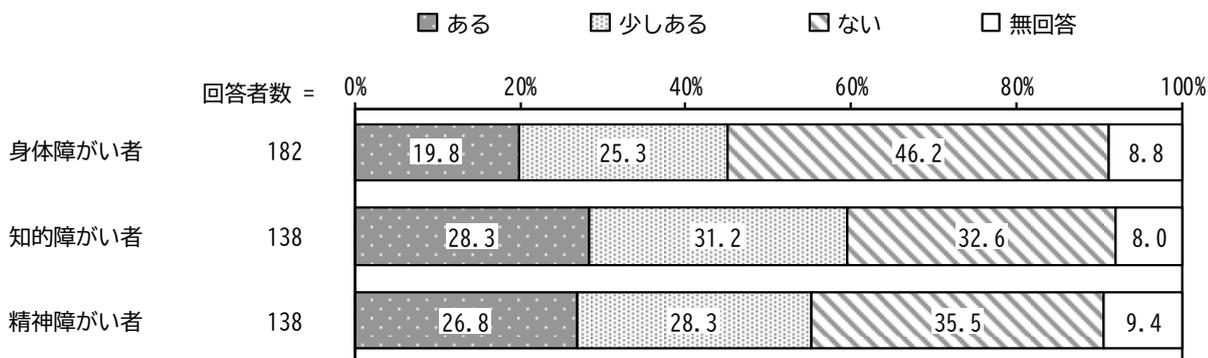
問 45 あなたは、障がいがあることで差別を受けたり、嫌な思いをする（した）ことがありますか。（○は1つだけ）

「ある」の割合が 23.8%、「少しある」の割合が 27.1%、「ない」の割合が 38.8%となっています。令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【障がい種別】

障がい種別にみると、身体障がい者で「ない」の割合が高くなっています。

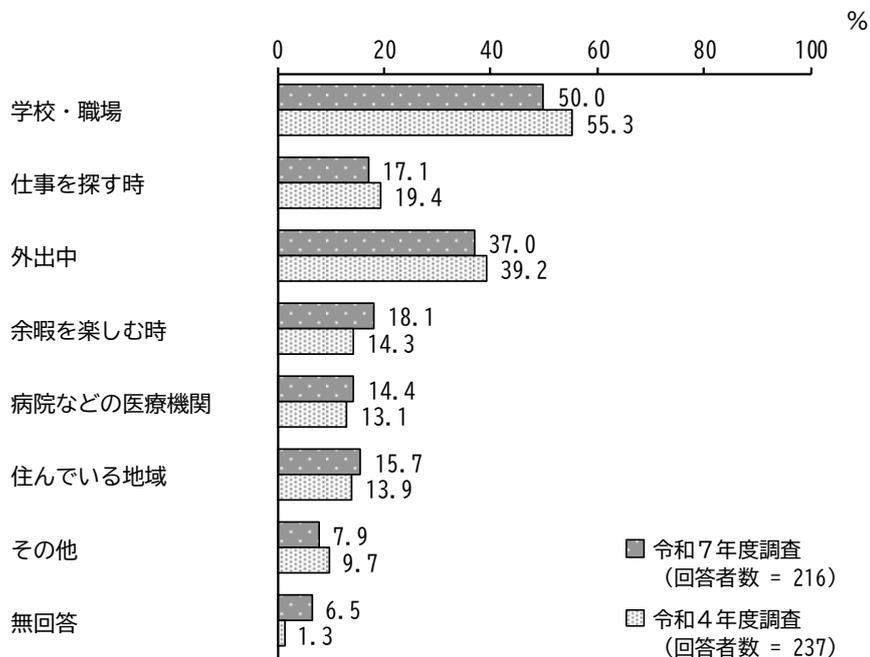


問 45 で「ある」または「少しある」を選択した方にお伺いします。

問 46 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)

「学校・職場」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「外出中」の割合が 37.0%、「余暇を楽しむ時」の割合が 18.1%となっています。

令和 4 年度調査と比較すると、「学校・職場」の割合が減少しています。



【障がい種別】

障がい種別にみると、精神障がい者で「仕事を探す時」の割合が高くなっています。

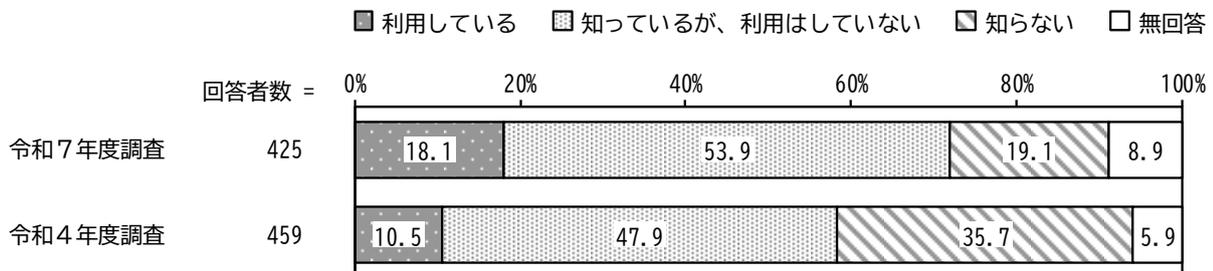
単位：%

区分	回答者数 (件)	学校・職場	仕事を探す時	外出中	余暇を楽しむ時	病院などの医療機関	住んでいる地域	その他	無回答
全体	216	50.0	17.1	37.0	18.1	14.4	15.7	7.9	6.5
身体障がい者	82	40.2	13.4	40.2	11.0	13.4	12.2	7.3	4.9
知的障がい者	82	53.7	3.7	41.5	20.7	14.6	18.3	4.9	4.9
精神障がい者	76	52.6	27.6	25.0	18.4	14.5	18.4	13.2	9.2

問 47 ヘルプマークを利用していますか。(○は1つだけ)

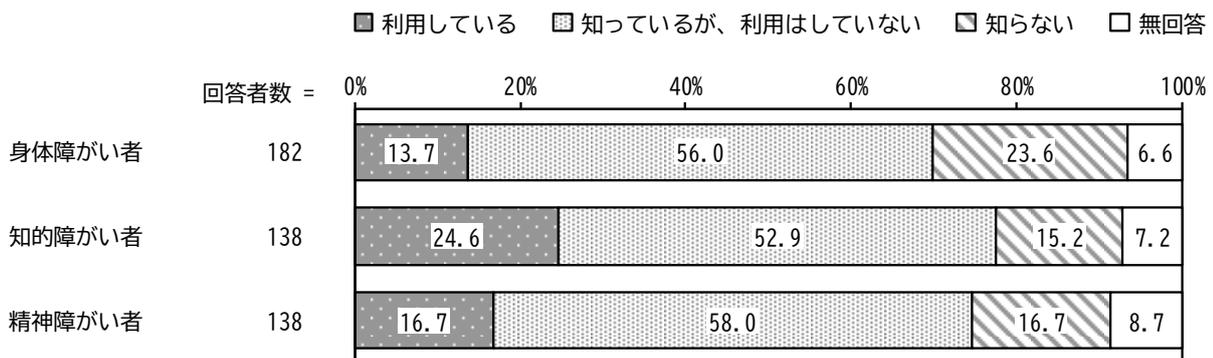
「利用している」の割合が18.1%、「知っているが、利用はしていない」の割合が53.9%、「知らない」の割合が19.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「利用している」「知っているが、利用はしていない」の割合が増加しています。一方、「知らない」の割合が減少しています。



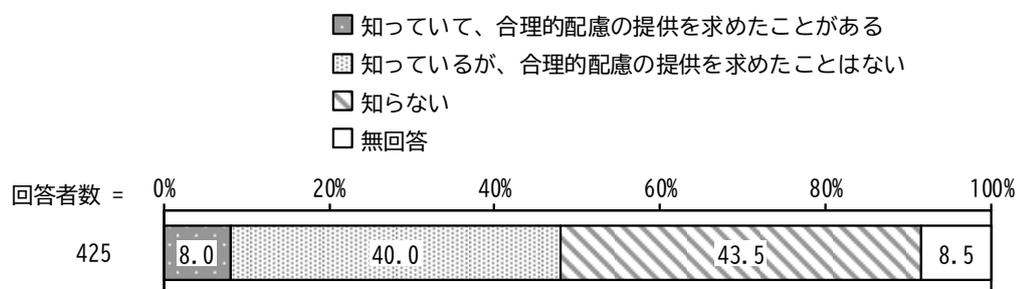
【障がい種別】

障がい種別にみると、知的障がい者で「利用している」の割合が高くなっています。



問 48 あなたは、合理的配慮の提供について知っていますか。(○は1つだけ)

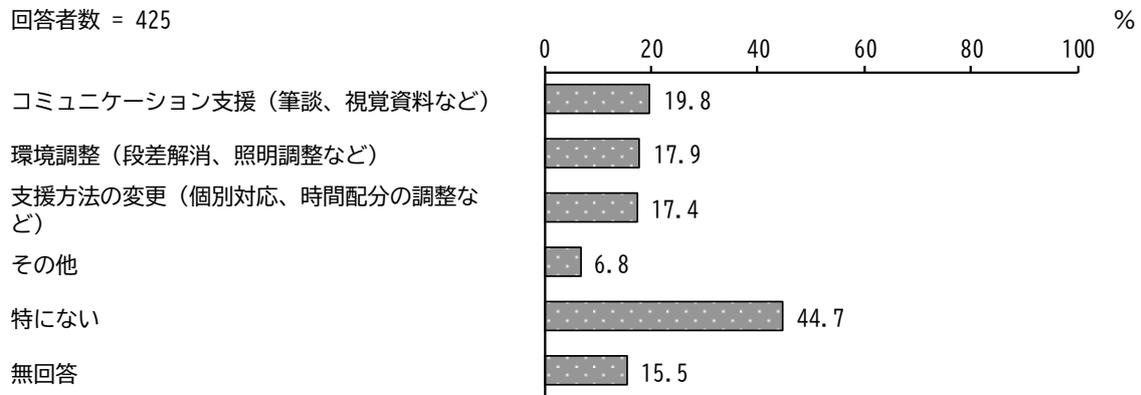
「知っていて、合理的配慮の提供を求めたことがある」の割合が8.0%、「知っているが、合理的配慮の提供を求めたことはない」の割合が40.0%、「知らない」の割合が43.5%となっています。



問 49 あなたは、どのような合理的配慮の提供が必要だと感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

「コミュニケーション支援（筆談、視覚資料など）」の割合が 19.8%、「環境調整（段差解消、照明調整など）」の割合が 17.9%、「支援方法の変更（個別対応、時間配分の調整など）」の割合が 17.4%となっています。

回答者数 = 425

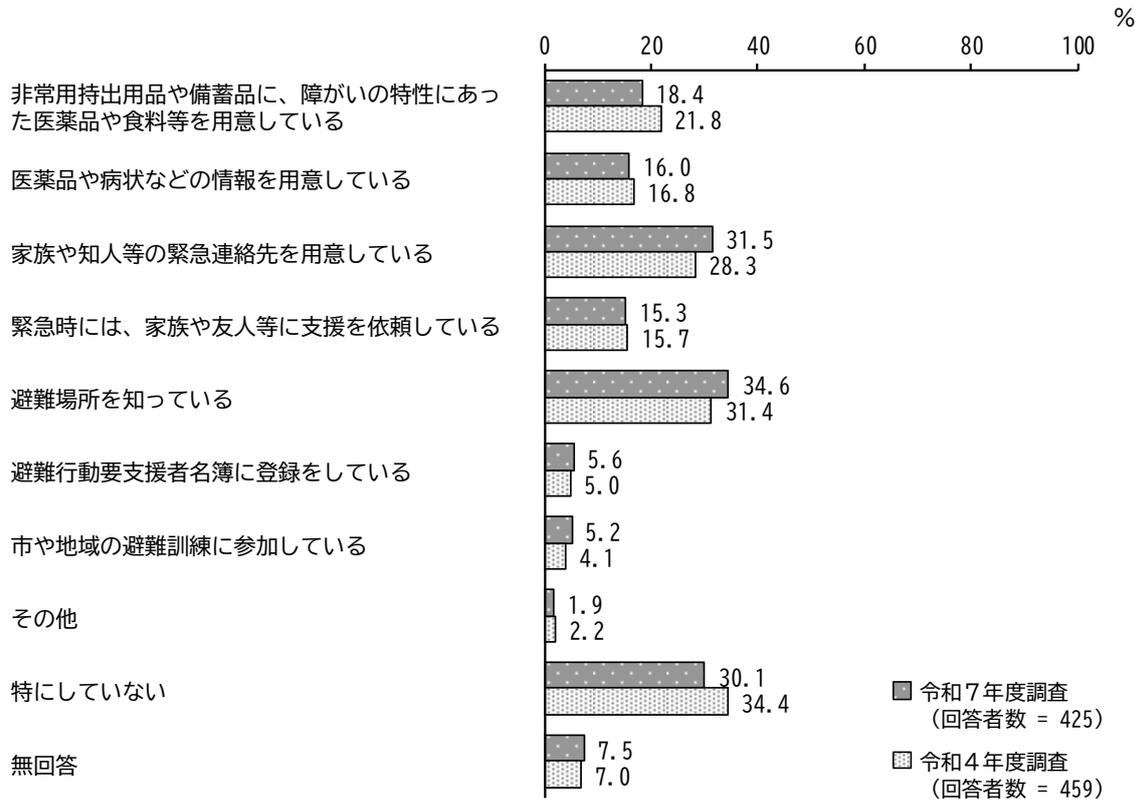


災害時の避難等について

問 50 災害に対して、どのような準備をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「避難場所を知っている」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「家族や知人等の緊急連絡先を用意している」の割合が 31.5%、「非常用持出用品や備蓄品に、障がいの特性にあった医薬品や食料等を用意している」の割合が 18.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【障がい種別】

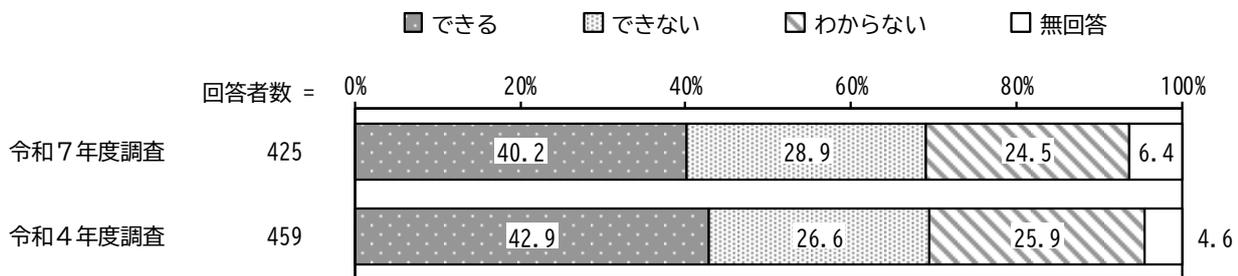
障がい種別にみると、精神障がい者で「医薬品や病状などの情報を用意している」「家族や知人等の緊急連絡先を用意している」「避難場所を知っている」、知的障がい者で「緊急時には、家族や友人等に支援を依頼している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	非常用持出用品や備蓄品に、障がいの特性にあった医薬品や食料等を用意している	医薬品や病状などの情報を用意している	家族や知人等の緊急連絡先を用意している	緊急時には、家族や友人等に支援を依頼している	避難場所を知っている	避難行動要支援者名簿に登録をしている	市や地域の避難訓練に参加している	その他	特にしていない	無回答
全体	425	18.4	16.0	31.5	15.3	34.6	5.6	5.2	1.9	30.1	7.5
身体障がい者	182	20.3	17.6	29.7	14.3	30.8	9.9	7.1	1.1	33.5	4.4
知的障がい者	138	19.6	12.3	28.3	21.7	33.3	8.0	2.9	2.9	26.1	5.1
精神障がい者	138	21.0	21.7	37.0	13.0	41.3	2.2	5.8	1.4	29.7	8.0

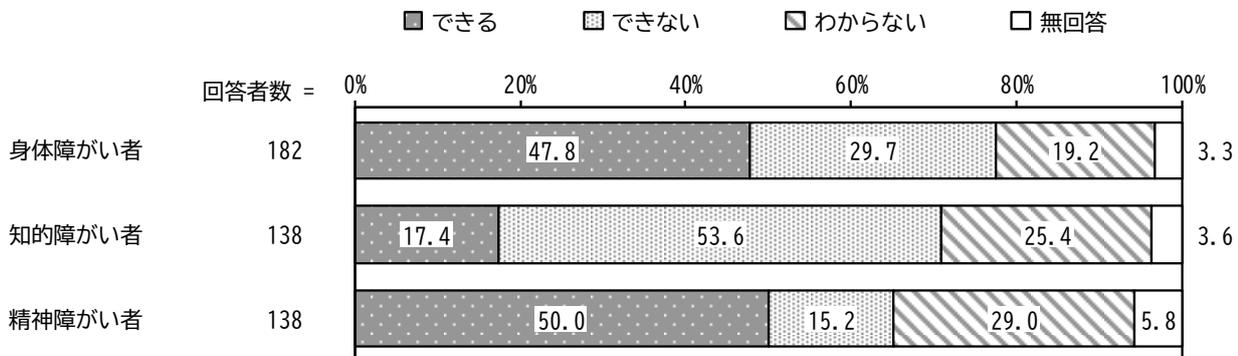
問 51 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(○は1つだけ)

「できる」の割合が40.2%、「できない」の割合が28.9%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



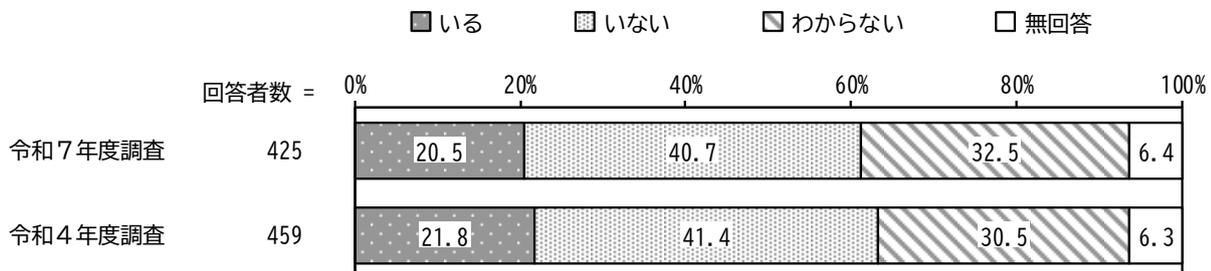
【障がい種別】

障がい種別にみると、知的障がい者で「できない」の割合が高くなっています。



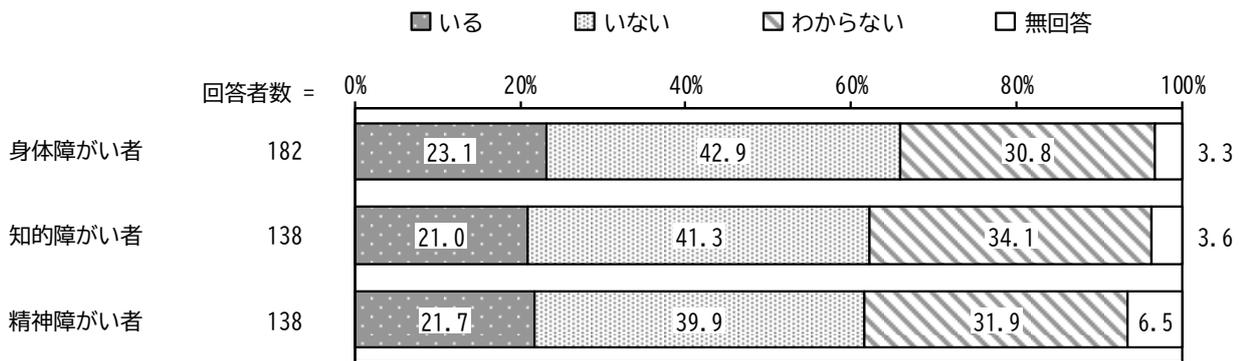
問 52 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(○は1つだけ)

「いる」の割合が20.5%、「いない」の割合が40.7%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【障がい種別】

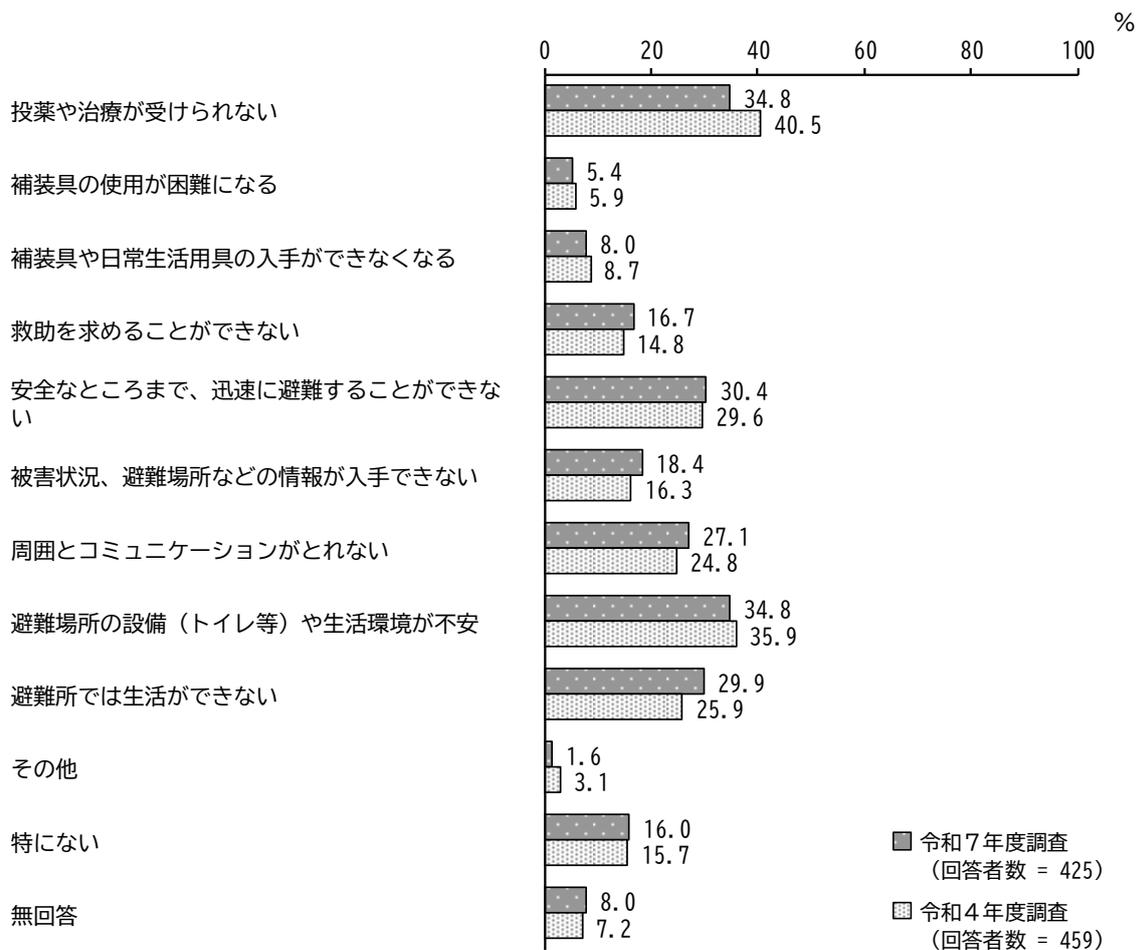
障がい種別にみると、大きな差はみられません。



問 53 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「投薬や治療が受けられない」、「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」の割合が 34.8% と最も高く、次いで「安全なところまで、迅速に避難することができない」の割合が 30.4% となっています。

令和4年度調査と比較すると、「投薬や治療が受けられない」の割合が減少しています。



【障がい種別】

障がい種別にみると、精神障がい者で「投薬や治療が受けられない」、知的障がい者で「救助を求めることができない」「安全なところまで、迅速に避難することができない」「被害状況、避難場所などの情報が入手できない」「周囲とコミュニケーションがとれない」の割合が高くなっています。

単位：％

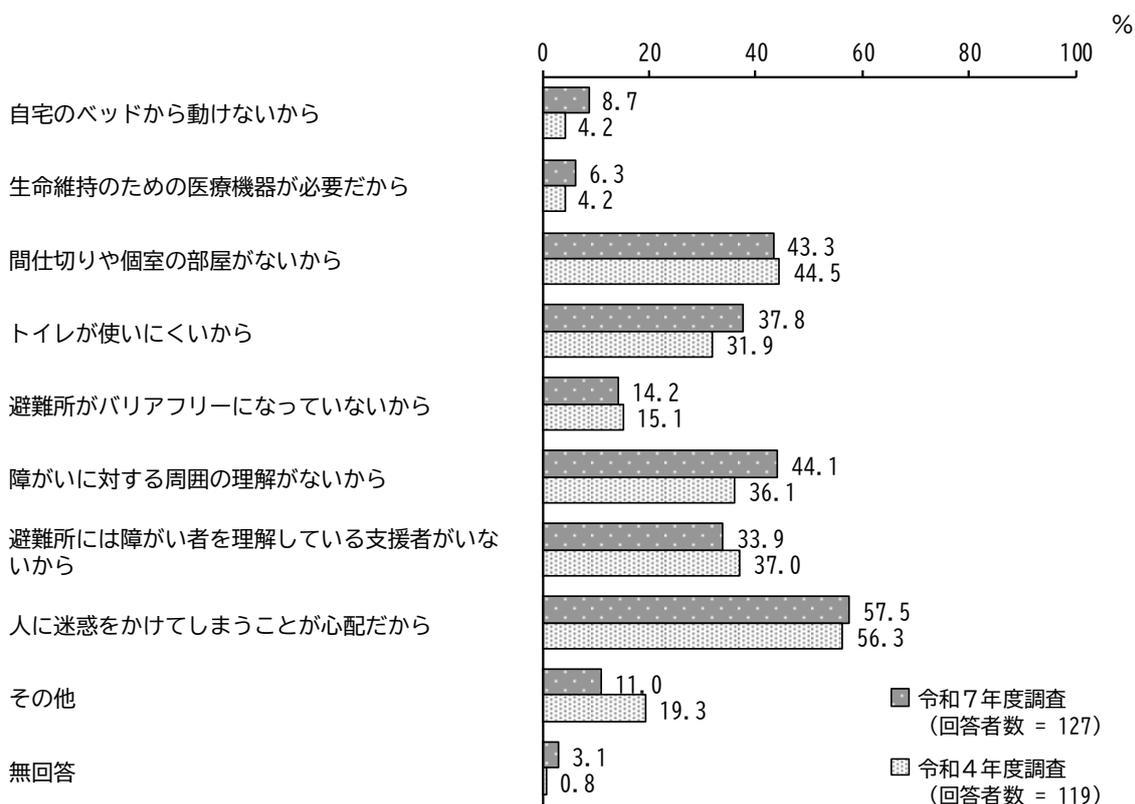
区分	回答者数(件)	い投薬や治療が受けられない	補装具の使用が困難になる	補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	救助を求めることができない	安全なところまで、迅速に避難することができない	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	周囲とコミュニケーションがとれない	避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安	避難所では生活ができない	その他	特にな	無回答
全体	425	34.8	5.4	8.0	16.7	30.4	18.4	27.1	34.8	29.9	1.6	16.0	8.0
身体障がい者	182	35.7	9.3	10.4	11.0	31.3	13.7	15.4	38.5	32.4	1.6	18.1	4.9
知的障がい者	138	20.3	7.2	8.7	34.8	50.7	34.1	47.8	40.6	37.0	1.4	16.7	3.6
精神障がい者	138	50.7	2.9	4.3	13.0	13.8	13.0	25.4	33.3	27.5	2.2	15.2	7.2

問 53 で「避難所では生活ができない」を選択した方にお伺いします。

問 54 避難所では生活できない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「人に迷惑をかけてしまうことが心配だから」の割合が 57.5%と最も高く、次いで「障がいに対する周囲の理解がないから」の割合が 44.1%、「間仕切りや個室の部屋がないから」の割合が 43.3%となっています。

令和 4 年度調査と比較すると、「トイレが使いにくいから」「障がいに対する周囲の理解がないから」の割合が増加しています。



【障がい種別】

障がい種別にみると、身体障がい者で「トイレが使いにくいから」「避難所がバリアフリーになっていないから」、知的障がい者で「障がいに対する周囲の理解がないから」「人に迷惑をかけてしまうことが心配だから」の割合が高くなっています。

単位：％

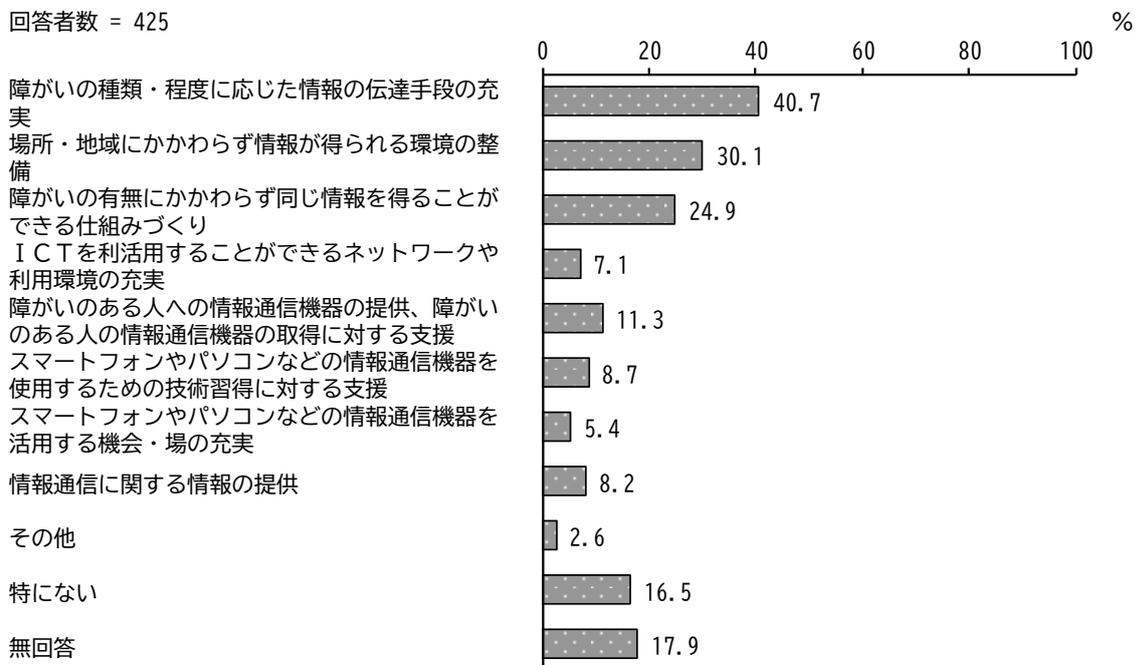
区分	回答者数(件)	自宅のベッドから動けないから	生命維持のための医療機器が必要だから	間仕切りや個室の部屋がないから	トイレが使いにくいから	避難所がバリアフリーになっていないから	障がいに対する周囲の理解がないから	避難所には障がい者を理解している支援者がいないから	人に迷惑をかけてしまうことが心配だから	その他	無回答
全体	127	8.7	6.3	43.3	37.8	14.2	44.1	33.9	57.5	11.0	3.1
身体障がい者	59	16.9	13.6	44.1	49.2	27.1	30.5	25.4	50.8	11.9	3.4
知的障がい者	51	3.9	3.9	47.1	27.5	11.8	60.8	35.3	78.4	9.8	2.0
精神障がい者	38	2.6	0.0	36.8	23.7	2.6	31.6	36.8	52.6	13.2	10.5

暮らしやすくなるために

問 55 あなたは、障がいのある人の情報の取得利用や意思疎通において、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

「障がいの種類・程度に応じた情報の伝達手段の充実」の割合が40.7%と最も高く、次いで「場所・地域にかかわらず情報が得られる環境の整備」の割合が30.1%、「障がいの有無にかかわらず同じ情報を得ることができる仕組みづくり」の割合が24.9%となっています。

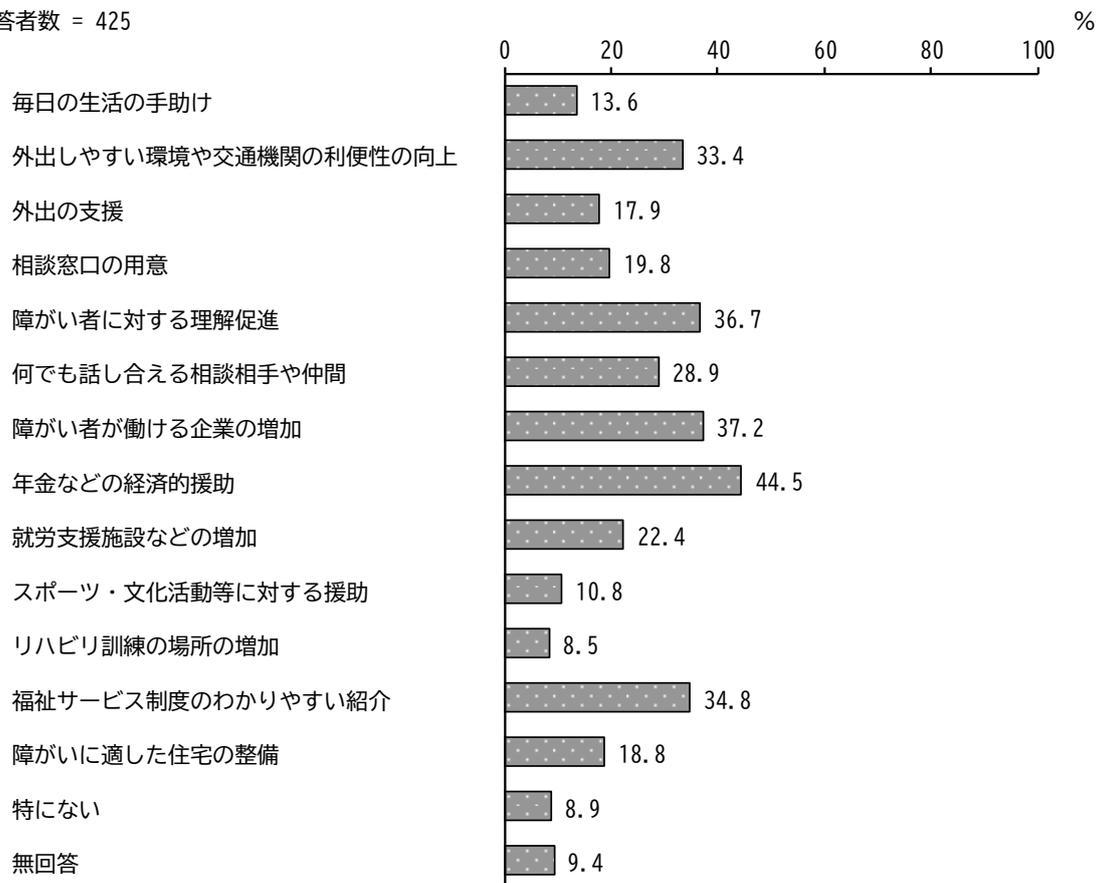
回答者数 = 425



問 56 あなたが、暮らしやすくなるために、特にしてほしいことはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

「年金などの経済的援助」の割合が 44.5%と最も高く、次いで「障がい者が働ける企業の増加」の割合が 37.2%、「障がい者に対する理解促進」の割合が 36.7%となっています。

回答者数 = 425



【障がい種別】

障がい種別にみると、知的障がい者で「毎日の生活の手助け」「相談窓口の用意」「障がい者に対する理解促進」「何でも話し合える相談相手や仲間」「就労支援施設などの増加」「スポーツ・文化活動等に対する援助」「福祉サービス制度のわかりやすい紹介」「障がいに適した住宅の整備」、知的障がい者、精神障がい者で「障がい者が働ける企業の増加」、精神障がい者で「年金などの経済的援助」、身体障がい者で「リハビリ訓練の場所の増加」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	毎日の生活の手助け	外出しやす い環境 や交通機 関の利便 性の向上	外出の支援	相談窓口の用意	障がい者に対する理解促進	何でも話し合える相談相手や仲間	障がい者が働ける企業の増加
全体	425	13.6	33.4	17.9	19.8	36.7	28.9	37.2
身体障がい者	182	9.3	33.5	13.2	15.9	29.7	18.1	26.4
知的障がい者	138	23.2	35.5	22.5	26.1	47.1	39.1	44.9
精神障がい者	138	13.0	37.7	18.1	21.0	39.9	33.3	43.5

区分	年金などの経済的援助	就労支援施設などの増加	スポーツ・文化活動等に対する援助	リハビリ訓練の場所の増加	福祉サービス制度のわかりやすい紹介	障がいに適した住宅の整備	特になし	無回答
全体	44.5	22.4	10.8	8.5	34.8	18.8	8.9	9.4
身体障がい者	40.1	12.1	7.7	14.8	31.9	18.1	11.0	8.2
知的障がい者	41.3	39.1	15.9	7.2	44.2	26.8	5.8	5.8
精神障がい者	53.6	23.9	7.2	4.3	33.3	15.9	5.1	8.0

問 57 障がい福祉に関してご意見があれば、ご自由にお書きください。

障がい福祉に関してご意見・ご要望を自由に記述していただき、以下の分類項目で該当する意見の件数を整理したところ、次の通りとなりました。

分類項目	件数
自立した生活の支援について	18
経済的自立の支援について	15
雇用・就業について	12
保健・医療について	11
行政等における配慮について	11
差別の解消・権利擁護について	10
情報アクセシビリティについて	10
教育について	9
安心・安全な生活環境について	9
意思疎通支援について	7
意思決定支援について	5
文化芸術活動・スポーツ等について	2
その他	13

富谷市第2期障がい者計画（中間評価）・
第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画
策定に向けた実態把握調査結果報告書
発行年月：令和8年3月
発 行：富谷市 保健福祉部地域福祉課
宮城県富谷市富谷坂松田 30 番地
電 話：022-358-3294